平成３年４月15日印刷　平成３年４月20日発行　日本シーリング工業会

シーリング 28

●90年代の建材産業
●関シ協、中部シ協両理事長に聞く

VOL.24.NO.28
APRIL '91

日本シーリング工業会

TORAY
DOW CORNING
SILICONE

東レ・ダウコーニング・シリコーンの

建築用シリコーンシーラント

信頼と実績でお客さまのニーズにお応えします。

東レ・ダウ コーニング・シリコーンのシリコーンシーラントは、耐候性・耐熱性・耐寒性・耐久性・ゴム弾力性などの多くの優れた高機能をもち、ほとんどの建築部材をつなぐ接着・シーリング材として、高層ビル・一般住宅などの現代建築に欠かせない材料となっております。

東レ・ダウ コーニング・シリコーンでは、より完成度の高い建築物をめざすニーズにお応えするため、信頼と実績にうらづけされた高品質な製品を取り揃えています。

※資料をご用意しておりますので、ご請求ください。

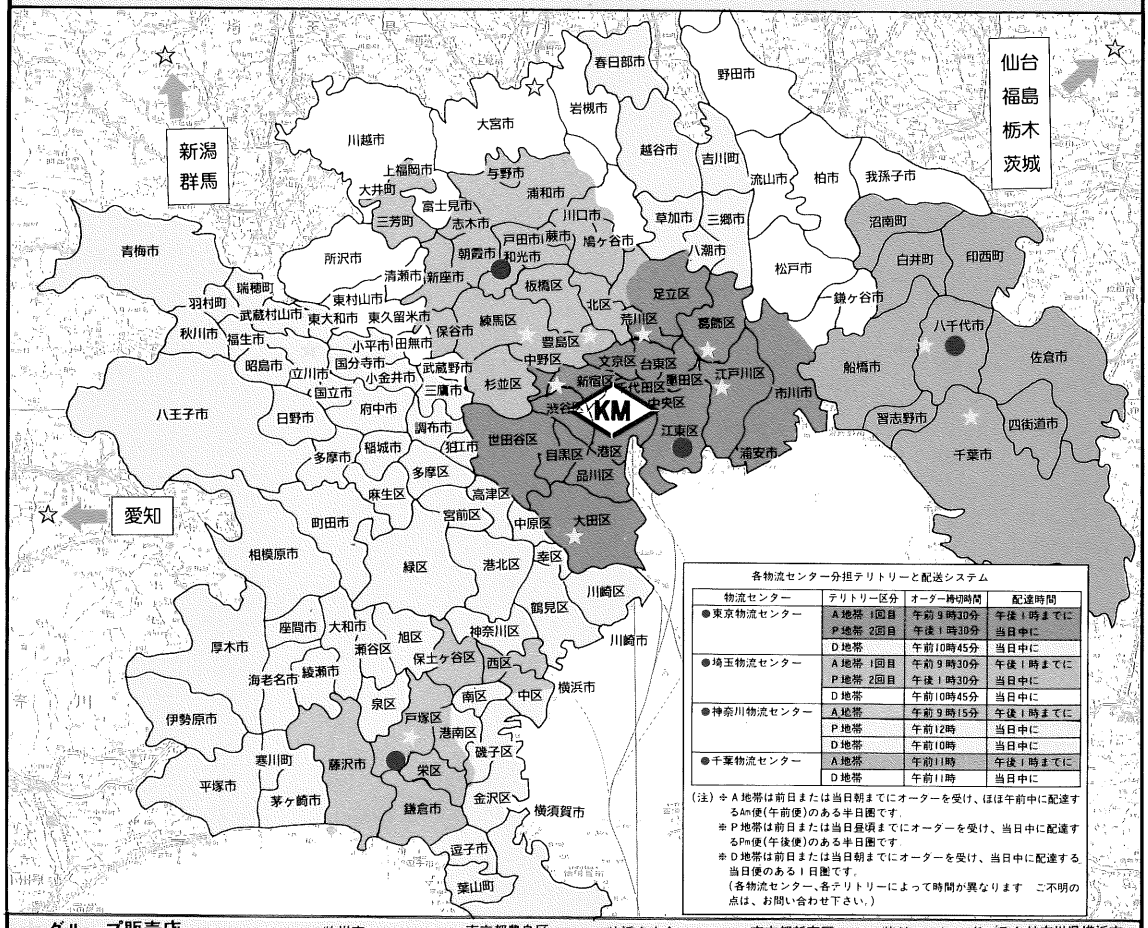
シリコーンと先進技術で世界を結ぶ
東レ・ダウコーニング・シリコーン株式会社
本店・営業本部/東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館)〒103TEL03(3246)1641代表

大阪営業部 TEL 06(376)1251代表
名古屋営業部 TEL052(563)3951代表
九州営業所 TEL092(712)6158代表
広島営業所 TEL082(249)7811代表
北陸営業所 TEL0762(23)1585代表
南関東営業所 TEL0462(22)1595代表
北関東営業所 TEL0485(26)3972代表
東関東営業所 TEL0436(22)5743代表
仙台営業所 TEL022(227)9528代表
北海道営業所 TEL011(231)5281代表

工期短縮に貢献する一歩進んだ流通をめざして

KM 化研マテリアルグループ

首都圏物流ネットワーク完成



各物流センター分担テリトリーと配送システム

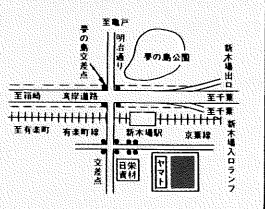
物流センター	テリトリー区分	オーダー締切時間	配達時間
●東京物流センター	A地帯 1回目	午前9時30分	午後1時までに
	P地帯 2回目	午後1時30分	当日中に
	D地帯	午前10時45分	当日中に
●埼玉物流センター	A地帯 1回目	午前9時30分	午後1時までに
	P地帯 2回目	午後1時30分	当日中に
	D地帯	午前10時45分	当日中に
●神奈川物流センター	A地帯	午前9時15分	午後1時までに
	P地帯	午前12時	当日中に
	D地帯	午前10時	当日中に
●千葉物流センター	A地帯	午前11時	午後1時までに
	D地帯	午前11時	当日中に

(注) ※A地帯は前日または当日朝までにオーダーを受け、ほぼ午前中に配達するAm便(午前便)のある半日圏です。
※P地帯は前日または当日昼頃までにオーダーを受け、当日中に配達するPm便(午後便)のある半日圏です。
※D地帯は前日または当日朝までにオーダーを受け、当日中に配達する当日便のある1日圏です。
(各物流センター、各テリトリーによって時間が異なります　ご不明の点は、お問い合わせ下さい。)

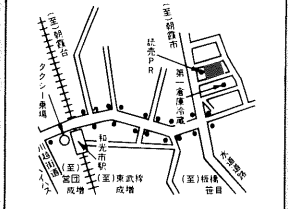
グループ販売店

東日化研産業㈱	宮城県仙台市	㈱川商	東京都豊島区	㈱浜名商会	東京都新宿区	㈱ジェー・シー・サプライ	神奈川県横浜市
ビルド産業㈱	福島県郡山市	㈱酒田	東京都江戸川区	多摩化研㈱	東京都立川市	誠研工業㈱	群馬県太田市
水戸化研㈱	茨城県水戸市	城東化研㈱	東京都葛飾区	クラタ産業㈱	千葉県千葉市	新潟タイト販売㈱	新潟県長岡市
梓産業㈱	東京都大田区	城北化研㈱	東京都荒川区	㈱シービーエム	千葉県八千代市	ベスト化研㈱	栃木県宇都宮市
		日商マテリアル㈱	東京都練馬区	埼玉化研㈱	埼玉県大宮市	中央化研㈱	愛知県名古屋市

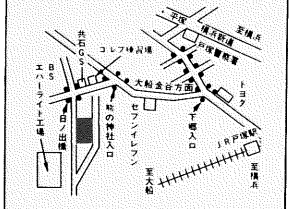
東京物流センター
江東区新木場1の17の6　TEL.03(3521)7439



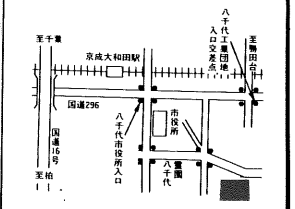
埼玉物流センター
和光市松ノ木島町5－5　TEL.0484(67)1691



神奈川物流センター
横浜市戸塚区戸塚町1032の1　TEL.045(881)4921



千葉物流センター
八千代市萱田町536の3　TEL.0474(83)5558



建材商社　KM　化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.

〒105 東京都港区西新橋3－8－1(第2鈴丸ビル)
営業一部　一課 03(3436)3011　二課 03(3436)3012　三課 03(3436)3013
営業二部　一課 03(3436)2391　二課 03(3436)3010　三課 03(3436)1966
営業三部　03(3436)3014

21世紀の未来都市を想定した新技術開発

シーリング　リニューアル　フロアーコーティング&フリーアクセス

株式会社 マサル

MASARU

■本社
〒135 東京都江東区佐賀１丁目９番14号
TEL.03（3643）５９１１(代表)
FAX.03（3630）３２７９

■シーリング事業部
〒135 東京都江東区佐賀１丁目９番14号
TEL.03(3643)5911（代表）
FAX.03(3630)3279

■リニューアル事業部
〒103 東京都中央区日本橋箱崎３番12号
（５セントラルビル２・３Ｆ）
TEL.03(3662)0586（代表）
FAX.03(3662)0590

■横浜営業所
〒221 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町１丁目7-21
（第一杉田ビル２Ｆ）
TEL.045(322)5651（代表）
FAX.045(322)5107

■西東京営業所
〒190 東京都立川市高松町２丁目27番27号
（TBK第２高松ビル203号室）
TEL.0425(29)1385（代表）
FAX.0425(29)1325

SERVICE ENERGY & CREATION SECAICHO

施工品質で貢献

セカイチョー建築用2成分形シーリング材

セカイチョーシーラー

TH（ポリサルファイド）

MS（変成シリコーン）

PU-213（ポリウレタン）

世界長株式会社

本　社／〒663 兵庫県西宮市津門大箇所8-39 Phone(0798)26-5724(化成品事業部)
営業所／名古屋(052)722-3301　広　島(082)295-0371　福　岡(092)474-5582
東　京(03) 462-5161　前　橋(0272)23-5675　仙　台(022)295-7051
札幌連絡所(011)221-2102

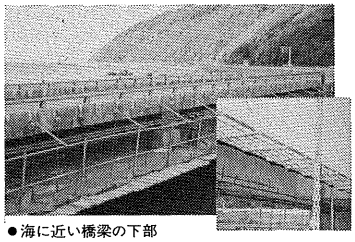
コニシボンド BESTEM

ベステムはボンド工法の
新しいシンボルです。

シラン系の浸透性吸水防止材

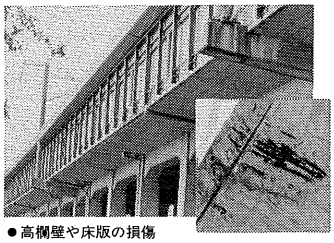
ボンド水・ストップ

塩害による損傷



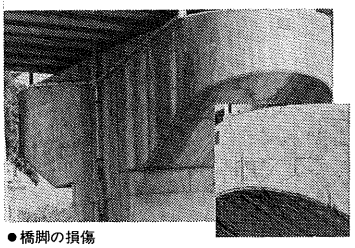
●海に近い橋梁の下部

中性化による損傷



●高欄壁や床版の損傷

アルカリ骨材反応による損傷



●橋脚の損傷

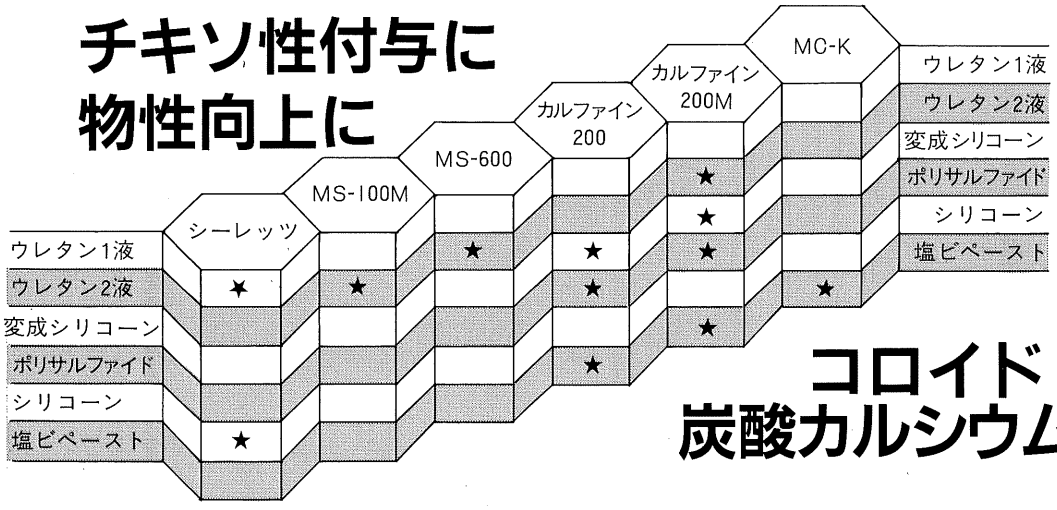
コニシ株式会社 ボンド建設部

本社/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541 TEL06-228-2963 FAX06-228-2927 名古屋支店 TEL052-262-8173
東京支店/東京都台東区台東4-28-11(第一勧銀渋沢ビル) 〒110 TEL03-5688-2281 FAX03-5688-2299 福岡支店 TEL092-551-1761

札幌支店 TEL011-612-0211 金沢営業所 TEL0762-23-1565 静岡営業所 TEL054-255-5131 岡山営業所 TEL0862-25-1961
仙台支店 TEL022-235-3178 北関東支店 TEL0273-24-3002 高松営業所 TEL0878-35-2020 中・四国支店 TEL082-294-8811

各種シーリング材の チキソ性付与に 物性向上に

★は各製品の適合用途を示します。



コロイド炭酸カルシウム

◎ 丸尾カルシウム株式会社

本　社／〒674　兵庫県明石市魚住町西岡1455番地　電話　(078)942-2112(代表)
営業所／東京・大阪・名古屋・神戸・九州

“ノンタック変成シリコーン”

ファインシーラー No.500

無黄変プライマー No.15

優れた品質，優れた施工性，豊富な経験と実績！

変成シリコーン系シーリング材(4ℓセット)
ファインシーラー No.500㊞
JIS A 5758 9030 合格品

ポリサルファイド系シーリング材(4ℓセット)
ファインシーラー No.300㊞
JIS A 5758 9030 合格品

ポリウレタン系シーリング材(6ℓセット)
ファインシーラー No.200㊞
JIS A 5758 8020 合格品

日本添加剤工業株式会社

営　業　部　〒174 東京都板橋区前野町1－21－5　電話 03(3965)5731(代)
大阪支店　〒550 大阪市西区江戸堀1-5-13(日々会館ビル)　電話 06(443)6231(代)
名古屋支店　〒453 名古屋市中村区大閤通2-40(フタバビル)　電話 052(451)8632(代)
本社・工場　〒174 東京都板橋区前野町1－21－5　電話 03(3960)8621(代)
北海道代理店　潮物産㈱　電話 011(261)8271

歴史と実績―それが信頼をつくります

シーリング業界のリーダー

シーリング材の草分けであるエービーシー商会は、JIS商品の製造販売など常に品質重視の姿勢を貫いてまいりました。

ポリサルファイド系シーリング材
チオコーク®
（JIS認定品）

ウレタン系シーリング材
ABC®ウレタン80
（JIS認定品）

ABC®コーキングウレタン カートリッジ
（一成分型）

変成シリコーン系シーリング材
ABC®変成シリコーンM
（JIS認定品）

ABC®シリコーンカートリッヂ
（一成分型）

ABC®変成シリコーンカートリッヂ
（一成分型）

ABC商会では、使用目的に応じて各種シーリング材を用意しております。用途に合わせてお選びください。

ABC shokai
東京都千代田区永田町2―12―14
TEL 03（3507）7111（案内）

ニーズに合せ、種類が豊富

●ポリサルファイド●変成ポリサルファイド●変成シリコーン●ポリウレタン●
●水性アクリル●油性コーキング●

三洋のシーリング

シーリング材の専門メーカー
三洋工業
本社：東京都江東区亀戸6-20-7 ☎03(3685)3452

確かな信用をお届けする

なにわ会

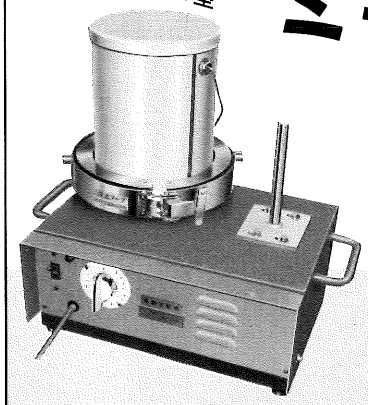
建築用シーリング材・防水材・関連製品のご用命は
信頼に応える当会メンバーにお申しつけ下さい

大阪御国商事㈱	〒567 茨木市横江2－1－12	TEL 0726(34)8214
小川商事㈱	〒604 京都市中京区竹屋町通釜座東入	TEL 075(231)4171
鐘工業㈱	〒534 大阪市都島区高倉町1-11-12	TEL 06(921)4231
岸田資材工業㈱	〒652 神戸市兵庫区中道通5-1-13	TEL 078(575)2953
㈱旭栄	〒530 大阪市北区天神橋1－1－1	TEL 06(354)0356
コニシ技研㈱	〒542 大阪市中央区心斎橋1-8-18	TEL 06(245)8851
㈱ジャビコ大阪支社	〒530 大阪市北区梅田2-4-9(サンケイビル8F)	TEL 06(345)6871
日東工材㈱	〒553 大阪市福島区吉野1－14－2	TEL 06(445)7621
㈱フジキ	〒530 大阪市北区天神橋1－1－1	TEL 06(352)1571
フヨー㈱大阪支店	〒532 大阪市淀川区宮原5－6－10	TEL 06(395)0201
㈱前田精市商店	〒541 大阪市中央区道修町1-4-14	TEL 06(203)4641
㈱宮崎	〒541 大阪市中央区平野町3-4-9	TEL 06(231)5891
モリシタ化学産業㈱	〒543 大阪市天王寺区勝山1-6-7	TEL 06(771)3929
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	〒550 大阪市西区京町堀1-17-16スミトービル7F	TEL 06(446)6701

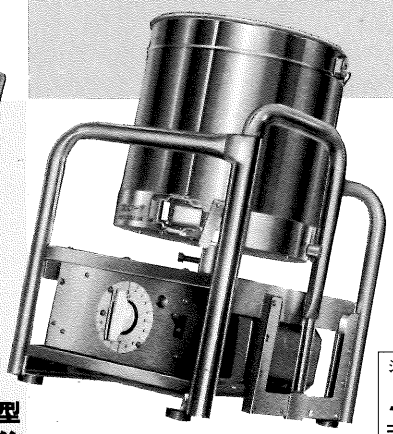
シーリング材の発展と共に歩む31年

ミキスタトリオ

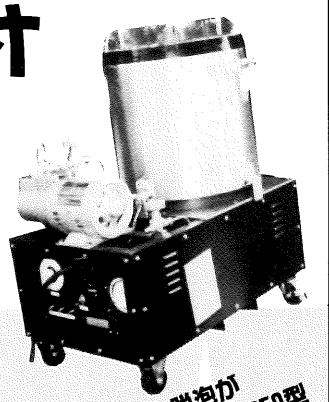
☆ポピュラー商品
耐久性のあるA型



☆目玉商品!!



超軽量の軽量型
重さ11.5kg!!



混合と脱泡が
同時にできる250型

シーリングの発展と共に歩む
ミキスタ工業株式会社
〒103 東京都中央区日本橋蛎殻町1-33-7
電話 03－3669－9471（代）

汚れない、汚さない、ポリサルファイド。

チオコール LP®

きわめて美観、ひたすら景観。

美観を誇る石張建築物：その石材とコンクリートの接着にはアルカリ(エフロレッセンス)を通さないチオコール変性エポキシ樹脂が最適で、石目地を汚さないチオコール・シーラントとともに長年にわたり多くの実績を誇っています。

東京都新庁舎・新宿新都心

撮影：中川敦玲

東レチオコール株式会社

本　社：〒279 千葉県浦安市美浜1-8-1（東レビル5階）☎0473(50)6151(代)

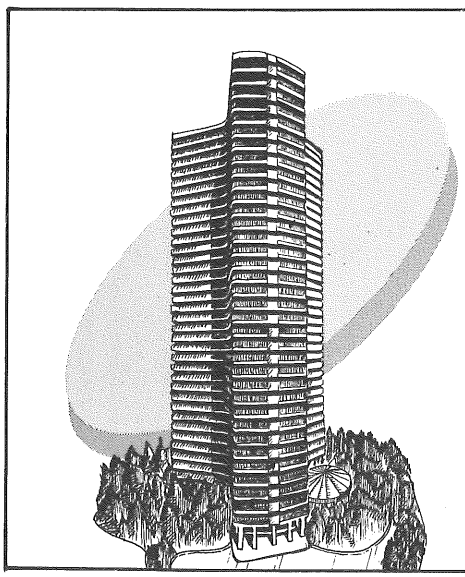
シーリング　第 28 号

目　次

Vol.24　No.28

■会長挨拶 ……(11)
◎21世紀へつなぐ技術の進歩と環境との調和を……大泉洋一
■1991年シーリング産業の展望――関連業界の動向 ……広報委員会……(13)
■技術資料他
・90年代の建材産業 ……長田直俊……(36)
・リレー随筆その７「南国土佐の豪快磊落さの源について」 ……濱田隆人……(42)
・シーリング管理士・技術管理士抱負談 ……(49)
・関シ協・竹田理事長，中部シ協・小川理事長に聞く ……(54)

■委員会報告
◇全力投球の１年間……総務委員会(31)
◇平成２年度技術委員会活動概要の報告
……技術委員会(32)
◇平成２年度調査委員会活動報告書
……調査委員会(33)
◇管理士制度の普及をめざして
……検定委員会(34)
◆平成２年度管理士検定講習会実施……(47)
◆各地からのたより……(61)
◆建築用シーリング材市販製品一覧表……(67)
◆平成３年度日本シーリング工業会機構表……(80)
◆日本シーリング工業会会員名簿……(82)
◆日本シーリング工事業協同組合連合会の歩み
……山本勇(87)
◆日本シーリング工事業協同組合連合会会員名簿
……(88)
◆関連会社，団体一覧……(96)
◆「シーリング技術管理士」に関する規約……(98)
◆「シーリング管理士」に関する規約……(99)
◆シーリング技術管理士・管理士名簿……(105)
◆編集後記……(112)



建築の革新に応える。

三星シーリング材

ポリサルファイド系シーリング材
三星シールPS
ポリウレタン系シーリング材
三星シールAU
水性アクリル系シーリング材
三星シールAC
一液性建築用変成シリコーン
三星シール変成シリコーンZ
ブチルゴム系シーリング材
三星シールブチル
一液性ウレタン系シーリング材
三星シールU1

三星産業株式会社
本　社：〒101　東京都千代田区神田小川町3-28　TEL03(3292)1961(代)FAX(3293)4570
工　場：〒120　東京都足立区宮城1-20-15　TEL03(3912)1261(代)FAX(3913)7840
営業所：札幌TEL011(551)3781(代)FAX(551)5304　盛　岡TEL0196(45)0431FAX(45)0424
仙台TEL022(262)5201(代)FAX(262)3138　北関東TEL0486(52)2181FAX(52)2384
横浜TEL045(261)5411FAX(261)9117　名古屋TEL052(931)3390(代)FAX(932)3977
富山TEL0766(68)1071FAX(68)2754　大　阪TEL06(443)9721(代)FAX(443)9720
広島TEL0829(32)3937FAX(32)3937　福　岡TEL092(781)3361(代)FAX(741)1737
長崎TEL0958(25)3266FAX(27)6825

YOKOHAMA

ハマタイトの銃をもつシーリングマン。

機密が漏れても、気密は守れ。

情報うずまくメガロポリス。そこでは我々の目に見えない場所で、いつも誰かが、何かを、守り続けています。例えば、ハマタイトの機能。ハマタイトは、都会に次々と出現する最先端高層ビルやテクノビルを陰で支える建築用シーリング材として、知る人ぞ知る存在。新宿副都心の高層ビル群、池袋のサンシャイン60、幕張テクノガーデンツインタワーなど数々の日本を代表する先端建築物に採用されてきました。ハマタイトは、カーテンウォール工法のビルの継ぎ目、窓などをしっかりとシールし、温度変化や地震などに柔軟に対応しながら、建物の気密性を守り続けているのです。また、プレハブ工法のモダンな住宅などにも活躍の場を拡げ、適材適所で幅広いニーズに応えています。漏れてはならない都会の気密、それはハマタイトが守ります。

〈ハマタイト〉建築商品

- 2成分形シリコーン〈シリコーン70〉
- 2成分形変成シリコーン〈スーパーII〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SC-500〉
- 2成分形ポリウレタン〈UH-30〉
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワン〉（高モジュラスタイプ）
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワンLM〉（低モジュラスタイプ）
- 1成分形ポリウレタン〈シールエース〉
- 1成分形シリコーン〈SS-310〉
- 1成分形弾性エポキシ〈エポソフト〉
- ウレタン塗膜防水材〈アーバンルーフ〉
- 2成分形エポキシ接着剤〈Y-1700TM〉
- 2成分形ポリサルファイド〈PRC-428〉
- 2成分形ポリサルファイド〈RC-100FT〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SM-101HT〉
- 合成樹脂系塗床材〈スムーニーフロアー〉

実績と信頼のブランド
HAMATITE®

横浜ゴム株式会社ハマタイト事業部
〒254 神奈川県平塚市中原上宿900 TEL.0463(31)3002

21世紀へつなぐ
技術の進歩と環境との調和を

会長　大泉　洋一

平成２年度は物流費の高騰に明け湾岸戦争に終りました。

国内では，引続く景気の好調を反映して，人材不足が慢性化し，どの業界，どの企業でも，人材確保に苦慮しているのが現状です。中でも３Ｋと言われる業界での人材不足は深刻で，企業活動に支障が出ているとのことも聞き及んでおります。

国外では，イラクのクウェート侵攻と言う危機が発生し，急激な石油価格の高騰に一喜一憂いたしましたが，これは一時的な杞憂に終り，また戦争も予想されていたような事態には至らず，早期に結末を迎えました。

このような状況下に，私どもシーリング業界にとって最も問題の大きい物流費の高騰と，更に各種資材のこれに伴う値上りがありましたが，各企業の努力と，御取引き先各位のご理解で解決を見たようであります。

引続く石油価格の問題も産油国の努力で，今のところ事なきを得，平静に推移していることは何よりと喜ばしく思っております。

さて，平成２年度を省ますに，先ず私ごとで誠に恐縮でございますが，５月17日の総会に於て大谷前会長のあとをうけ，私が会長に選任されました。会長就任に際し，私は三つの課題を申し上げました。

その一つは工業会活動の活性化であり，第二はシーリング業界の地位向上であり，第三は材・販・工の協調であります。然し乍らこの一年，いささか力及ばず，充分なる成果を挙げ得なかったと残念に思うと共に皆様に申訳けなかったと反省しております。

さて，工業会活動として特筆すべきことは，昨年10月28日～31日にかけ，米国ワシントンで開催されましたASC国際会議に参加したことであると思います。その内容につきましては，今年の新年会の折の報告講演会にあわせ，「シーリングニュース」41号に掲載の記事にゆずりますが，我が国のシーリング技術は世界的に極めて高い水準にあり，「耐久性推定式」及び「管理士制度」の提案には大きな関心が寄せられたと報告されております。

第二に材・販・工は運命共同体である観点より，昨夏に材・工の幹部会を開催，両者の問題点を討議いたしました。これらについては両委員会で検討し早期に解決することとし，管理士関係事項は当検定委員長の報告にありますように，承知いたしております。

管理士検定講習会は誠に盛況を極め，管理士の受講申込みは69名と過去最高を見ましたことは誠に喜ばしいことでございます。工事業協同組合加盟の会社には必ず１名以上の管理士が在籍するよう，組合員企業の益々のご参加を念願する次第でございます。

いよいよ平成３年度を迎えましたが，今年の方針の前三項目を踏襲し，一層の努力を致したいと思っております。

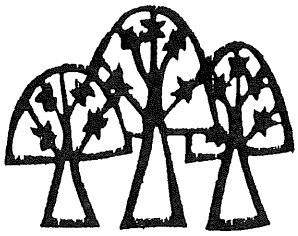
更に1992年（平成４年）５月には京都で上述の国際会議を開催することが決定しております。この会

議は,「21世紀へつなぐ――技術の進歩と環境との調和」が課題となります。今年度はこのテーマにそい準備を完了しなければなりません。担当者の方々にはご苦労をおかけしますが，工業会としましても会員各位および御取引き先各位の積極的な御賛同ならびにご協力を特にお願いいたし，参加者に感動して戴ける国際会議を開催したいと思っております。

また，湾岸戦争後の石油価格の動向も，予断をゆるさず，大きな試練を迎えるやも知れません。一方90年代はグローバル化の時代と言われております。

工業会々員は勿論のこと，関係官公庁・業界の皆様にも一層のご指導とご協力を賜り，新しい時代に向け世界のシーリング工業会として発展を期したいと思っております。

（横浜ゴム㈱　理事）



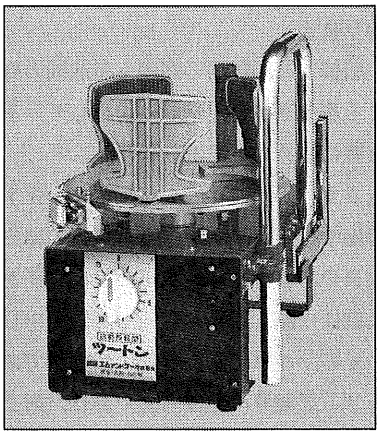
シーリング材専用攪拌機 ●自動反転型 ●正転型

小型軽量 低価格

ツートン

● 正転、逆転の電気回路に各々独立したリレーを組込み、タイマートラブル解消。

● 密閉型AC100V強力モーター装備。



M&Kは、納入後のサービスを、大切にしてまいります。

エムアンドケー株式会社

本社/〒476 愛知県東海市名和町後西19　TEL052(601)2766・FAX052(601)7166
ミキサー製造部/〒459 名古屋市緑区大高町川添51　TEL052(621)3100・FAX052(621)0030
東京営業所/TEL044(556)6522・FAX044(556)6533 ・ 大阪営業所/TEL06(339)0133・FAX06(339)0122

1991年シーリング産業の展望

広報委員会

1. シーリング材の需要動向

■概　況

好調な国内景気に支えられ，昨年も引き続き産業界全般が活気に包まれた。しかしここにきて，企業倒産の増加，新車登録台数の伸び率の鈍化など，偏重の兆しも見え始め，業種によっては予断を許さぬ情勢となっている。

内需拡大の牽引車的役割を果たしてきた建設業は，昭和62年から投資規模が大幅に増加し，その後伸び率こそ低下しているものの近年まれに見る高水準を保っている。

これは，新設住宅がピーク以降も極端な落ち込みを見せず安定していること，企業の設備投資など非居住用建設が好調なこと，都市周辺の地域再開発事業や各種のリゾート開発，プロジェクトなどが継続している一方，欧米諸国に比べ立遅れが目立つ住宅・社会資本ストックへの取り組みも軌道に乗りつつあることなどが要因と言えよう。しかし，先述した抑制要因を背景に，企業の資金調達への不安感から設備投資計画を手控える兆候も見られ，建設投資への影響を不安視する向きも出てきているのが現況である。

建築着工の動きを見ると，まず総床面積では昨年の伸び率は一昨年に続き5.3%増と堅調に推移，このうち防水・シーリングと関連の深い不燃建築着工も一昨年（6.4%増）から微増ながらも7.6%増とまずまずの伸びを見せた。しかしこうした好況の反面，現場では労働事情の悪化が目立ち，工事遅延，公共工事における入札不調，技能工の労賃高騰などが顕著化してきた。中東湾岸紛争による原料高，一昨年来の流通経費の上昇等，石油系製品全般について高値志向も現出している。

シーリング材についても事情は全く同様で，生産量では4年連続の2桁伸び率を見せたが，まだまだ各メーカーとも採算性を極端に悪化させているのが現状である。また人手不足による労務費の高騰も顕著で，施工店経営も施工高の割りには潤っていない。従って，当面は労務費を含めた受注価格の改善に向けて材・販・工が協調し相互信頼を確立させること，慢性化した技能工不足に対しては，現場での労働生産性向上のための技術開発を図ることが大きな課題と言えるだろう。

表－1　建築用シーリング材の生産量の推移　　通産省生活産業局窯業建材課調べ　　(単位：トン)

基材＼年次	1986年	1987年	1988年	1989年					1990年				
					1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
シリコーン系	10,293	11,401	13,002	15,742	3,871	3,567	3,929	4,374	18,494	4,239	4,190	4,544	5,521
1成分形	8,882	9,923	11,352	14,098	3,465	3,172	3,524	3,937	16,923	3,864	3,765	4,151	5,143
2成分形	1,411	1,478	1,650	1,644	406	395	405	438	1,571	375	425	393	378
変成シリコーン系	5,122	7,133	9,574	12,625	2,861	2,965	3,164	3,634	15,172	3,254	3,610	3,999	4,309
1成分形	2,534	3,861	5,155	6,311	1,436	1,561	1,603	1,712	7,198	1,537	1,708	1,866	2,087
2成分形	2,588	3,272	4,418	6,314	1,425	1,405	1,562	1,923	7,974	1,717	1,902	2,133	2,222
ポリサルファイド系	9,604	9,873	11,309	11,696	2,894	2,684	2,912	3.206	12,203	2,858	2,973	3,189	3,183
アクリルウレタン系	610	660	780	770	180	200	240	150	315	100	80	70	65
ポリウレタン系	17,165	20,542	24.513	26.631	6,484	6,718	6,342	7,086	27,914	6,472	6,778	7,051	7,613
1成分形	4,111	4,910	6,036	7,052	1,682	1,807	1,745	1,818	7,192	1,529	1,724	1,775	2,164
2成分形	13,054	15,632	18,477	19,579	4,802	4,911	4,598	5,268	20,722	4,943	5,054	5,276	5,449
アクリル系	12,106	12,694	14.634	15,276	3,627	3,755	3,732	4.162	17,095	4,135	4,180	4,094	4,686
SBR系	60	52	46	39	10	9	9	11	6	6	0	0	0
ブチルゴム系	1,115	1,197	1,324	1,240	317	342	226	355	1,520	351	395	366	408
油性系	1,895	1,670	1,462	1,410	320	375	299	416	1,554	351	390	394	419
合計	57,970	65,223	76.644	85,428	20,565	20,616	20,852	23,395	94,273	21,766	22,596	23,707	26,204

小数点以下は四捨五入。(JIS Z 8401(1984)「数値の丸め方」に準拠)
従って各項目の合計は必ずしも合計値に一致しない。

■シーリング材出荷動向

建築用シーリング材の平成2年の生産量は，通産省窯業建材課調べによると4年連続で2桁伸び率を示し10.4%増の94,273㌧となった。建築着工，特に不燃建築の着工増，ならびにプレハブ化工法の一層の進展に裏付けられた数字であり，昭和63年の伸び率（17.5%増）にはおよばないが，現場事情を考慮すれば施工キャパシティーの限界に近づいているとも言えそうである。

近年の建築用シーリング材，特に2成分形の出荷動向が，不燃建築の着工動向に近似してきたことは再三述べてきたとおりだが，平成2年も平成元年に続きその傾向を示した。これはもちろんシーリング材の主用途である不燃建築への適用が浸透・定着したことが根底にあるが，昨今の建築労務事情から建築工法のプレハブ化，すなわち省力化がますます進展していることが大きく影響していると考えられる。またこれに加えサイディング材や室内用途までさらに底辺需要を拡大している1成分形の好調も見逃せない点である。

各成分別の出荷動向はここ数年の傾向が引き続いている。すなわち，シリコーン系，変成シリコーン系，ポリサルファイド系，ポリウレタン系の弾性系とALC目地を主用途とするアクリル系が好調で1成分形と2成分形（弾性系のみ，ポリサルファイド系，アクリルウレタン系は除く）とでは，やはり1成分形の伸びが高かった点である。弾性系の占有率は，ここ数年70%台で推移，漸増傾向にあり，昨年も78.3%となった。昭和50年時点では50%にも満たなかったことを考えると，ワーキングジョイントを主用途としていた弾性系が用途別には圧倒的なノンワーキングジョイントへも適用されるようになった需要の様変わりがみてとれる。また最近の占有率の安定は，各材料別の適材適所の使われ方が浸透したことを物語っているといえ，この傾向は今後も継続すると考えられる。さらに弾性系の中でも，1成分形の占有率が拡大してきており，弾性系がシーリング全体の過半数を占めるようになった昭和50年代中期に20%程度であったものが昨年実績では42.3%まで上昇している。ただし，変成シリコーン系については，2成分形が1成分形の伸長を上回っており，

着工動向の好調を反映し建物の外壁目地への適用が増大したことを物語っている。

■シーリング技術動向

シーリング産業の充実期にふさわしい旺盛な技術活動は数々の成果を生んでいる。

まず，建設省総合技術開発プロジェクトでのシーリング防水の劣化診断，補修・交換，総合耐久設計各指針の作成，その後，同プロジェクトを継続して行った「シーリング防水改修設計・施工指針（案）」の作成作業があげられる。後者は，建設省建築研究所ならびに当工業会が官民連帯共同研究の１テーマとして取り組んだもので，平成元年秋，建研よりその概要が公表された。今後，改修シーリング材の耐用年数算定式など種々の技術指針の本格運用に向けての普及活動が行われる。

次に，建設省建築工事共通仕様書，同施工監理指針，JIS，JASS などの標準類に関する制定改定作業への継続的な協力・推進があげられる。このうち新ポリマーによる変成ポリサルファイド系１成分形シーリング材の追加規定，国際規格との整合化等が図られた改正規格が来春にもでる予定である。

また，当工業会では昨秋米国で開催された ASC 国際会議に参加，シーリング材の市場・技術に関わる現状と将来予測について，日・米・欧を比較，その相違点を明確にしており，成果が注目されている。また，平成４年５月京都で開催予定の接着剤・シーラント国際会議を日本接着剤工業会と共催するため準備委員を参加させている。

その他，日本乾式防火サイディング協会とのサイディング住宅の適正な目地施工に関する啓蒙活動など，関連団体との協力的な研究作業も広範囲に進められている。

これらに加え，施工技術，管理技術面でのレベルアップも図られており，当工業会が認定するシーリング管理士，同技術管理士制度は益々充実ぶりを見せ，多くの有資格者が誕生している。国家認定のシーリング防水技能検定制度も含め，これら資格制度は，自主管理システムが主流になりつつある建設業界で一層重視され，対外的評価を高めていくことは間違いのないところである。

さて，ユーザーのシーリング材に対する認識の向上は，近年著しいものがあると言えよう。需要層も専門家から DIY 店利用客などのセミプロ，素人まで広範囲にわたっており，シーリング材の位置づけも建築用材料として一般化したといえそうである。

しかし，高機能化，あるいは複合機能化に向けてのユーザーの要求度合の高まりは決してやむものではない。また，底辺需要の広がりは，一方でより簡素化した使い易い材料の出現を求めてくると考えられる。従って，今後も継続的な技術研鑽を加え，ユーザーの期待に応え，シーリング防水への信頼を揺るがぬものとすることがわれわれの使命と考える。

■主成分別製品動向

◆シリコーン系◆

平成元年の21.1%増には及ばないものの，平成２年も17.5%増の18,494ﾄﾝと高い伸びを見せた。特に量的に圧倒している１成分形が20%増と好調で，ガラス，板金，設備関係などルート需要での強さを物語っている。底辺需要も拡大しているが，１件当たりの使用量も増加している模様で，また，従来２成分形で対応していた小規模物件などもその使いやすさから１成分形に移行しているケースもあるようだ。一方２成分形は，１成分形への移行の影響から，昨年は前年比 4.4%減となった。しかし SSG やガラスをふんだんに使用したメタルカーテンウォール系の大中型物件が増加していることもあり，今後も大幅な落ち込みはないと考えられる。現在各地で進められている都市開発は，同時に防災不燃化都市への再編も促進しており，今後難燃性の点でシリコーン系に有利に働くものと期待される。

◆変成シリコーン系◆

平成元年の驚異的な伸び率31.9%増には及ばないものの，20.2%増の15,172ﾄﾝとポリサルファイド系を完全に凌ぐ結果となった。１成分形，２成分形と

もに好調だが，特に２成分形は26.3%増の7,974ﾄﾝと全品目中最高の伸び率を示した。カラーマスター化，ノンタック品の普及などコンクリートカーテンウォールを中心とする適用範囲の拡大を物語っている。１成分形も14.1%増の 7,198ﾄﾝと堅調に推移しており，ルート需要での浸透のほか，近年急増している窯業系サイディング材やプレハブ住宅の目地への低モジュラスタイプの適用が相当進んでいる。

◆ポリサルファイド系◆

平成元年の3.4%増，11,696ﾄﾝに続き，平成２年も4.3%増の12,203ﾄﾝと安定的に推移した。近年，中高層カーテンウォールでは変成シリコーン系，中低層PCではポリウレタン系の影響でやや伸び悩みが見られたが，実績と歴史に裏付けられた汎用シーリング材としてユーザーの支持は根強いものがある。また，今後増加が予測される改修工事では，その優れた接着安定性による需要増も期待されるところである。一方１成分形は，絶対量はまだ少ないものの２成分形のダメ工事やルート需要への進出も見られ，伸び率は順調に推移している。

◆アクリルウレタン系◆

昭和61年の改正JISで初めて規格化されたシーリング材で，供給メーカーが現在２社と少なく，絶対量も少ない。昭和63年は18.2%増の高伸び率であったが，平成元年は1.3%減の770ﾄﾝ，平成２年は59.1%減の315ﾄﾝとなった。外壁仕上げ塗材や塗膜防水剤との馴染みが非常に良いことが実証されており，コンクリート目地を中心に採用されている。近年，ユーザーの外装材に対する美観要求が高まっていることから，その安定性を評価する向きもある。

◆ポリウレタン系◆

物量面では他基材を圧倒するものがあるが，伸び率では一昨年の8.6%増に続き，昨年は4.8%増の27,914ﾄﾝと１桁台となった。原因としては，１成分形が１成分形変成シリコーンに一部置き換わり，伸び率で２%増にとどまった事があげられる。また，２成分形は5.8%増の20,722ﾄﾝと初の２万ﾄﾝ台となったが，量的にも前年比1,000ﾄﾝを越す増加があり，中低層PC，RC建物，油性系の打替え，各種土木構造物目地など広範囲な需要分野への浸透を物語っている。ただし，２成分形は全般的に経済性を優位に置いているきらいがある。

◆アクリル系◆

用途の90%以上がALC板目地という特異な位置づけのシーリング材である。従って，ここ数年はALC板出荷動向の好調さを反映して順調に推移しており，平成２年は11.9%増の17,095ﾄﾝ(ALC板の伸び率推定10%増）と２ケタ台の伸びを見せた。ALC板目地にはポリウレタン系１，２成分形や変成シリコーン系が適用されることもあり，作業性と経済性を生かしたアクリル系主流の中にも用途や建物グレードによって使い分けが進みつつあるようである。

◆その他◆

ブチルゴム系は外壁に用いられるケースが少なく，建築用途としてはサッシの裏打ちや板金関係，シート防水の貼仕舞への使用がほとんどである。近年耐候性上の有利さや，価格的にも格差が少なくなってきたことからポリウレタン系などの弾性材料にとって代わられることが多かったが，昨年は22.6%増の1,520ﾄﾝとなった。**SBR系**は最近は室内目地に用いられることがほとんどで，また価格面でのメリットも少なくなり前年比84.6%減の６ﾄﾝに低下した。歴史も古く根強い支持のある**油性コーキング材**は，昨年は10.2%増の1,554ﾄﾝと増加している。しかし，これら非弾性系材料が弾性系材料へ移行する傾向は今後も続くものと見られる。

このほか，**変成ポリサルファイド系**１成分形シーリング材が上市５年目を迎え現在４社より発売，当工業会でも分科会活動（参加会員６社）が開始されており，改正 JISに組込まれる予定である。

2. 建築業界の動向

2-1 建設投資の動き

平成2年度の建設投資は，政府投資が名目4.4%増，実質（55年度価格，以下同じ）2.3%増，民間投資が名目6.4%増（実質4.0%増）と好調に推移したため，名目では前年度比5.7%増の77兆1,300億円，実質3.4%増の68兆2,400億円と名目，実質ともにこれまでの最高額となる見通しである。このうち建築投資は7.1%増の50兆3,000億円（実質4.6%増，43兆6,400億円）で，うち住宅投資は3.1%増の25兆6,600億円，非住宅投資は11.5%増の24兆6,400億円と見通され，また土木投資は3.4%増の26兆8,300億円（実質1.2%増，24兆6,000億円）で，うち政府投資は4.6%増の21兆4,600億円，民間投資は1.2%減の5兆3,800億円となっている。

建設投資を政府，民間に分けると，政府投資が4.4%増の25兆8,300億円（実質2.3%増，23兆6,300億円），民間投資が6.4%増の51兆3,000億円（実質4.0%増，44兆6,000億円）となっている。ここ数年の動きでは，公共事業のゼロシーリング等もあって，民間主導の傾向にある。昭和55年～平成2年度にかけての年平均上昇率は，民間建設投資5.0%増，政府建設投資2.5%増と民間の伸び率は，政府伸び率の約2倍となっている。

近年の建設投資総額の対GNP比率の傾向は，昭和60年度の15.6%を底に以降漸増しており，2年度は元年度同様18%台となる見通しである。

ちなみに，平成2年（1～12月）の建築着工工事費予定額は，対前年比21.5%増の49兆2,914億円で，構造別ではSRC造が38.32%増の9兆2,599億円，RC造が27.8%増の12兆9,474億円，S造が19.5%増の15兆7,534億円，用途別では商業用が33.8%増の6兆9,180億円，公益事業用が33.5%増の1兆5,535億円，サービス業用が32.6%増の5兆1,102億円，公務・文教用が29.3%増の3兆9,231億円と高い伸びを示している。

表－2　平成2年度建設投資見通し　（単位：億円、%）

項目＼年度		投資額 63年度（実績見込み）	投資額 元年度（見込み）	投資額 元年度（見通し）	増加率 元／63	増加率 2／元
総額		664,100	727,500	771,300	9.5	6.0
（同実質）		638,200	660,100	682,400	(3.4)	(3.4)
建築		418,100	469,800	503,000	12.4	7.1
（同実質）		(395,200)	(417,000)	(436,400)	(5.5)	(4.7)
住宅		229,100	248,800	256,600	8.6	3.1
非住宅		189,000	221,000	246,400	16.9	11.5
土木		245,900	259,600	268,300	5.6	3.4
（同実質）		(243,000)	(243,100)	(246,000)	(－)	(1.2)
政府		190,800	205,200	214,600	7.5	4.6
公共事業		167,400	180,900	189,700	8.1	4.9
その他		23,300	24,300	24,700	4.3	1.6
民間		55,200	54,400	53,800	△1.5	△1.1
再掲	政府	231,300	247,300	258,300	6.9	4.5
	（同実質）	(228,100)	(231,100)	(236,300)	(1.3)	(2.3)
	民間	432,700	482,200	513,000	11.4	6.4
	（同実質）	(410,200)	(429,100)	(446,000)	(4.6)	(4.0)

（注）1．下段（ ）内は実質値（55年度価格）である。
2．四捨五入により100億円単位の値としたため，各項目の合計は必ずしも統計と一致しない。
3．昭和62年度に国鉄が民営化され，政府土木から民間土木に移行した。

2-2 建築着工の動向

我が国の建築着工の動向をみると，平成元年の総床面積で2億6,921万㎡（対前年比5.2%増），同2年は2億8,342万㎡（5.2%増）と，昭和62年の著しい伸び（14.2%増）には及ばないものの，堅調に推移している。これは居住用建築物が7年連続の増加を示したのをはじめ，非居住用建築物も8年連続の増加を示したためである。

用途別では，鉱工業用が伸び率で，昭和63年の39.8%増，平成元年の24.3%増に比較して5.9%増の3,939万㎡と微増で終わったものの，公益事業用が16.2%増の936万㎡，公務・文教用が15.5%増の1,867万㎡，商業用が11.1%増の3,268万㎡といずれも2桁の伸びを示したことが目を引く。

シーリング材と関連の深い不燃建築物の着工は，平成元年が1億8,412万㎡（6.4%増），平成2年が1億9,802万㎡（7.6%増）と伸び率は大幅でないものの，比較的堅調に推移している。

新設の住宅建設戸数は，前年比2.7%増の170万7,109戸と前年の減少から再び増加（元年は1.3%減

の166万2,612戸）し，昭和48年，同47年に次ぐ，史上３位の高水準となった。一方，着工新設住宅の１戸当たり平均床面積は，80.5㎡と前年より0.7㎡下回った。これは，持家，貸家の着工戸数が減少している中で分譲住宅が増加し，その中でも規模の小さい30㎡以下の増加により一戸当たり床面積が減少したと思われる。

政府が進めていた第５期住宅建設５カ年計画（昭和61年度から平成２年度まで）では，適正な規模，構造および機能・設備を備えた住宅の建設戸数を670万戸と見込んでいたが，最終着工戸数は828万戸となった。なお第６期住宅建設５カ年計画（平成３年度から同７年度まで）では730万戸を見込んでおり，公営住宅，公団住宅，住宅金融公庫融資住宅等の公的資金による住宅建設については，370万戸としている。また住宅・都市整備公団では，昭和30年度から平成２年度までに約70万戸の賃貸住宅を供給しており，平成３年度では１万1,000戸の建設計画が進められている。また民営賃貸用特定分譲住宅は平成３年度は7,000戸を計画している。なお63年度からの同分譲住宅については，居住水準向上等を図るため，増築等による住宅の大型化を推進している。

平成３年の住宅建設戸数は減少傾向と予測されるが，住宅投資額では設備等の質的向上から，前年なみの水準で推移するとみられる。貸家については，近年の急激な着工ストックの調整，また建築費の上昇などによる収益性の低下などから，前年同様減少していくと考えられるが，相続税対策等による供給要因や貸家需要層である単身者世帯の増加傾向が引き続いていることから，極端な減少はないとみられる。持家および持家系分譲住宅は，持家取得層の増加や建替需要の存在といった構造的要因は持続するものの，取得価格や新規建設用地の問題等から大幅な増加はないと言える。

分譲住宅は，公庫融資住宅など，公的資金住宅が減少を示しているものの，社宅，寮等の取得など旺盛な民間資金住宅の増加から好調に推移するとみられる。

民間企業建築は，設備投資がピークを越えたため大幅な増加はなく，伸び率はゆるやかなものになると予想される。

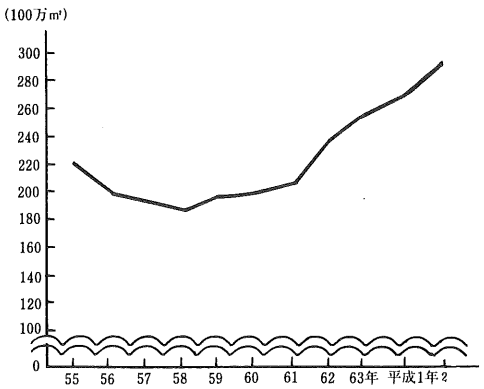
建設省の平成３年度住宅建設計画予算では，戸数で公営住宅５万8,000戸，改良住宅5,000戸，公庫住宅55万戸，公団住宅２万5,000戸，特定賃貸住宅等１万5,000戸など，計66万3,160戸（前年度7,850戸増）が確保される。

以上の観点から，建築着工の伸び率の鈍化は予想されるものの，安定的に推移するものと思われる。

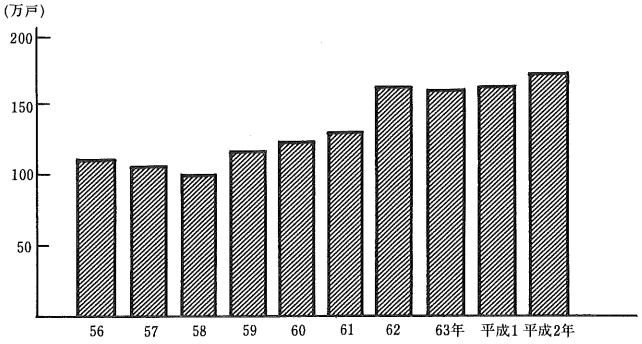
表－３　建築着工統計

※次頁に続く（単位：千㎡）

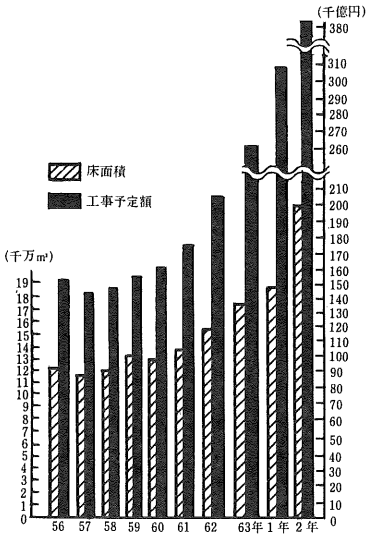
月間 年間	総数 床面積	用途別床面積 居住専用	居住産業併用	農林水産業用	鉱工業用	商業サービス業用	公益事業用	公務文教用	その他
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60 (対前年比)	199,561 (101.7)	95,705 (103.1)	19,138 (100.3)	5,838 (95.6)	25,035 (97.9)	31,617 (101.5)	5,789 (129.3)	16,216 (97.0)	223 (90.7)
61 (対前年比)	207,682 (104.1)	102,858 (107.5)	19,864 (103.8)	5,809 (99.5)	21,248 (84.9)	35,600 (112.6)	5,396 (93.2)	16,736 (103.2)	172 (77.1)
62 (対前年比)	237,226 (114.2)	123,703 (120.3)	23,213 (116.9)	5,763 (99.2)	21,391 (100.7)	40,795 (114.6)	5,814 (107.7)	16,344 (97.7)	203 (118.4)
63 (対前年比)	255,782 (107.8)	127,065 (102.7)	24,217 (104.3)	5,476 (95.0)	29,901 (139.8)	45,405 (111.3)	6,893 (118.6)	16,576 (101.4)	250 (123.2)
1 (対前年比)	269,212 (105.2)	128,687 (101.2)	23,731 (98.0)	5,489 (100.2)	37,189 (124.4)	49,549 (109.1)	8,058 (116.9)	16,167 (97.5)	342 (136.8)
2 (対前年比)	283,421 (105.3)	133,175 (103.5)	22,990 (95.6)	5,227 (95.2)	39,394 (105.9)	54,419 (109.8)	9,368 (116.2)	18,667 (115.5)	482 (140.7)



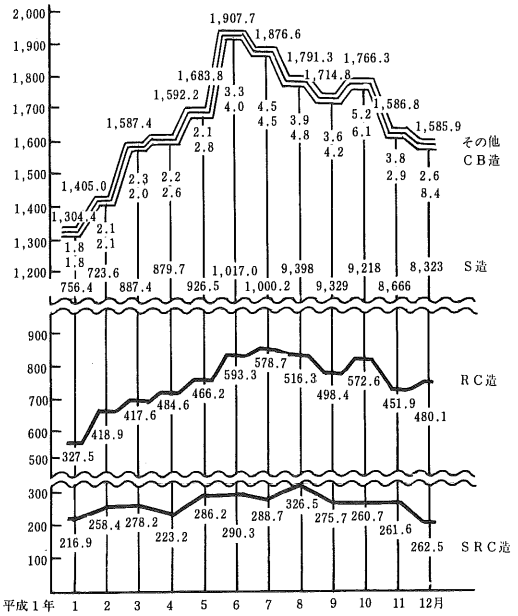
図— 1　建築着工面積（総床面積）



図— 3　新設住宅建設戸数



図— 2　不燃建築着工統計



図— 4　不燃建築着工床面積の増減内訳

建築主別床面積			構造物床面積						
公共	民間		木造	不燃建築物小計	不燃建築物				
	会社・法人	個人			鉄骨・鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	コンクリートブロック造	その他
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.9)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)
20,464 (92.7)	78,192 (104.1)	100,907 (102.0)	70,503 (99.3)	129,060 (103.1)	17,747 (108.8)	42,576 (101.8)	67,918 (102.8)	527 (85.3)	293 (82.5)
20,527 (100.3)	79,606 (101.8)	107,549 (106.6)	73,679 (104.5)	134,003 (103.8)	20,316 (114.5)	44,339 (104.2)	68,520 (100.9)	515 (97.5)	314 (107.2)
21,040 (102.5)	89,768 (112.8)	126,419 (117.5)	85,081 (115.5)	152,146 (113.5)	23,168 (114.0)	52,057 (117.4)	76.087 (111.0)	498 (96.7)	336 (107.1)
21,707 (103.2)	109,472 (121.8)	124,602 (98.6)	82,725 (97.2)	173,062 (113.7)	26,548 (114.6)	55,109 (105.9)	90,580 (119.0)	482 (96.8)	343 (102.4)
21,192 (97.6)	124,216 (113.5)	123,800 (99.4)	85,095 (102.9)	184,118 (106.4)	28,240 (106.4)	52,386 (95.1)	102,642 (113.3)	461 (95.6)	389 (113.4)
23,011 (108.6)	141,096 (113.6)	119,315 (96.4)	85.397 (99.6)	198,024 (107.6)	32,288 (114.3)	58,061 (110.8)	106,841 (104.1)	460 (99.9)	374 (96.3)

2-3 プレハブ住宅建設

プレハブ住宅の需要動向は，平成元年度の販売戸数が対前年度1.9%増の274,219戸となり，63年度の伸び（6.5%増）には及ばないものの，初の27万戸台を達成した。また，全着工新設住宅数に占める割合も16.4%（前年度16.2%）となり，過去最高を示した。平成2年度上半期（4月～9月）については，前年同期比で3.2%増の132,488戸とほぼ横ばいながら，上半期としては過去最高を記録，従って平成2年度の販売総数は，前年度なみの水準か，下半期の伸びいかんでは過去最高も見込まれる。

平成元年度のプレハブ住宅販売戸数を階層別に見てみると，低層一戸建住宅は前年度（11.9%増）には及ばないものの5.3%増と高い伸びを示し，117,385戸と過去最高となった。また，63年度より調査を開始した中層一戸建住宅は3,634戸（前年度比55.9%増）と高い伸びを示した。低層共同住宅は，124,720（同5.0%減）と57年度以来続いた大幅増に終止符がうたれた。しかし中高層共同住宅では，21.9%増の32,114戸と過去最高を記録した。また，着工共同住宅建住宅数に占める割合では，前年には及ばないものの15.9%と高水準で推移した。

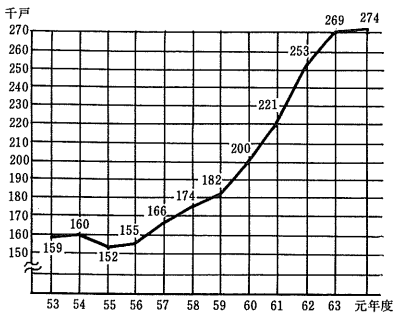
構造別の販売戸数では，木質系住宅が49,567戸（同2.2%増），鉄鋼系190,606戸（同1.7%増）で過去最高となった。なお，木質・鉄鋼系住宅とも低層・中高層とも増加をしめした。また，コンクリート系住宅でも34,046戸（同2.5%増）で過去最高を記録した。

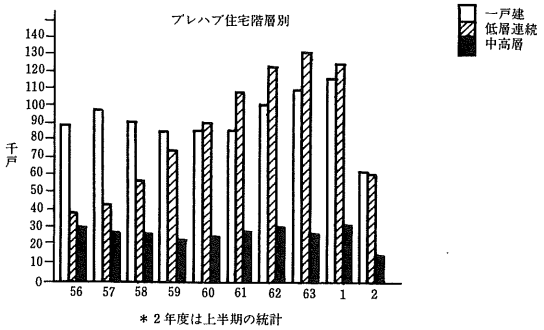
プレハブ住宅に使用されるシーリング材は，全般的に経済性と性能のバランスを基準として，木質系，鉄鋼系一戸建ではポリウレタン系1成分形が，コンクリート形ではポリウレタン系2成分形が多くを占めている。またこのほかでも，変成シリコーン系，ポリサルファイド系などが適材適所で使用されているが，一戸建では1成分形，中高層では2成分形といった使い分けが完全に定着している。

平成3年度の新設住宅着工戸数については，湾岸戦争が終わったとはいえ高金利政策からくる設備投資の手控えなども若干考えられるためプレハブ住宅も多少の影響を受けると思われる。従って，シーリング材の需要にも若干影響が出てくる可能性も考えられる状況である。

表－4　総　数

	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	平成2年上半期
(A) プレハブ住宅販売戸数（完工）	199,702	221,192	252,545	269,083	274,219	128,385
伸び率		10.8	14.2	6.5	1.9	1.6
(B) 全着工新設住宅数	1,250,994	1,399,833	1,728,534	1,662,616	1,672,783	910,009
(A)／(B) %	16.0%	15.8%	14.6%	16.2%	16.4%	14.6%





図－5　プレハブ住宅階層別販売戸数

表－5　構造別販売戸数　（注）対前年同期比の単位：%

		60年度(戸)	対前年同期比	61年度(戸)	対前年同期比	62年度(戸)	対前年同期比	63年度(戸)	対前年同期比	平成1年度(戸)	対前年同期比	2年度上半期(戸)	対前年同期比
木質系		34,957	105.9	38,506	110.2	44,737	116.2	48,514	108.4	49,567	102.2	26,192	106.5
	低層	34,957	105.9	38,506	110.2	44,737	116.2	48,511	108.4	49,185	101.4	26.010	106.5
	中層	－		－		－		3	－	382	127.3	182	99.5
鉄鋼系		134,960	112.3	150,877	111.8	174,039	115.4	187,365	107.7	190,606	101.7	93,879	104.0
	低層	133,423	112.7	148,316	111.2	170,178	114.7	184,872	108.6	183,205	99.1	90,489	104.1
	中層	1,537	87.5	2,561	166.6	3,861	150.8	2,493	64.6	7,404	296.8	3,396	102.2
コンクリート系		29,785	101.5	31,809	106.8	33,769	106.2	33,204	98.3	34,046	102.5	12,417	91.8
	低層	6,656	84.9	6.812	102.3	7,454	109.4	7,021	94.2	6,081	86.6	2,624	100.6
	中高層	23,129	107.6	24,997	108.1	26,315	105.3	26,183	99.5	27,965	106.8	9,793	89.7

表－6　階層別・構造別販売戸数　（注）対前年同期比の単位：%

			60年度(戸)	対前年同期比	61年度(戸)	対前年同期比	62年度(戸)	対前年同期比	63年度(戸)	対前年同期比	元年度(戸)	対前年同期比	平成2年度 上半期(戸)	対前年同期比
一戸建	低層	木質系	24,155	99.5%	25,328	104.9%	28,654	113.1%	31,735	110.8%	32,628	102.8%	17,635	106.5%
		鉄鋼系	56,437	100.8	57,051	101.1	65,975	115.6	73,343	111.2	77,486	105.7	40,014	105.6
		コンクリート系	4,174	91.7	3,680	88.2	4,968	135.0	4,078	82.1	3,639	89.2	1,531	84.5
		小計	84,766	100.0	86,059	101.5	99,597	115.7	109,156	109.6	113,751	104.2	59,180	105.2
	中層	木質系	－		－		－		3	－	382	－	182	99.5
		鉄鋼系	－		－		－		2,315	－	2,949	127.4	1,561	117.0
		コンクリート系	－		－		－		13	－	303	－	5	1.8
		小計	－		－		－		2,331	－	3,634	155.9	1,748	97.1
	一戸建計		84,766	100.0	86,059	101.5	99.597	115.7	111,487	111.9	117,385	105.3	60,928	104.9
共同建	低層	木質系	10,802	123.6	13,178	122.0	16,083	122.0	16,776	104.3	16,559	98.7	8,375	106.7
		鉄鋼系	76,986	123.4	91,265	118.5	104,203	114.2	111.529	107.0	105,719	94.8	50,475	102.9
		コンクリート系	2,482	75.5	3,132	126.2	2,486	79.4	2,943	118.4	2,442	83.0	1,093	137.1
		小計	90,270	121.3	107,575	119.2	122,772	114.1	131,248	106.9	124,720	95.0	59,943	103.9
	中高層	木質系	－		－		－		－		－		－	
		鉄鋼系	1,537	87.5	2,561	166.6	3,861	150.8	178	－	4,452	－	1,829	92.2
		コンクリート系	23,129	107.6	24,997	108.1	26,315	105.3	26,170	99.4	27,662	105.7	9,788	92.1
		PC工法	18,149	103.6	20,136	110.9	21,378	106.2	20,538	96.1	20,683	100.7	6,792	90.8
		HPC工法	3,880	112.0	3,966	102.2	4,117	103.8	4,103	99.7	3,870	94.3	1,766	87.7
		RPC工法	1,044	269.8	802	76.8	802	100.0	212	26.4	963	454.3	428	403.8
		その他工法	56	44.4	93	166.1	18	19.4	1,317	7,316.7	2,146	168.0	802	77.5
		小計	24,666	106.0	27,558	111.7	30,176	109.5	26,348	37.3	32,114	121.9	11,617	92.1
	共同建計		114,936	117.6	135,133	117.6	152,948	113.2	157,596	103.0	156,834	99.5	71,560	101.8
(A) 合計			199,702	109.4	221,192	110.8	252,545	114.2	269,083	106.5	274,219	101.9	132,488	103.2
(B) 全着工新設住宅数			1,251,000	110.3	1,399,000	111.8	1,728,000	123.5	1,663,000	96.2	869,389	98.9	910,009	104.7
(A)／(B)			16.0		15.8		14.6		16.2		14.8		14.6	

3. 建築関連業界の動向

3-1 メタルカーテンウォール

平成2年のメタルカーテンウォール(以下MCW)需要動向も平成元年に引続き相当量の伸びがあったと推定される。さらにまとめられている平成元年度も過去最高の771億円で,前年比28%増の高い伸び率で推移した。また，この趨勢は平成2年にも引き継がれ推定30～35%，1,000億円強の受注額が見込まれ，今年に入ってからも各メーカーともフル操業を続けている。

元年度のサッシ等を含めたビル建材全体の売上高は1兆7,000億円,このうちカーテンウォール関連が1,500億円で，その1,100億円をMCWが占めていると推定され，さらにその中で日本カーテンウォール工業界会員の受注高は771億となっている。現状では，この勢いに対する不安要素は見られず，メーカーの受注計画も1～2年分をかかえていることから，タイムラグを考慮すればMCWの着工について向こう3～4年の急激な低下は考えにくい情勢となっている。

MCWは一般的にコンクリートカーテンウォール

（以下PCCW）に比べると建設コストが高く（約1.8～2.0倍），中層以下のビルではPCCWの方が需要が多い。また，メタル表面の汚れや腐食防止など経年的な維持管理コストもPCCWに比べ高い。しかし，軽量制は高層建築の種々の要求機能に適合し，工期短縮，耐久性に優れるといったメリットもある。そして，大きな特徴は意匠性に豊む点で，近年のSSG構法に見られるように，ガラスをふんだんに用いたシャープな壁面の商業ビルの建設が急増している。これらがMCWの需要増をもたらしている要因と言えよう。

こうした傾向から，最近は4～5階建ての中層建物，主に店舗，遊戯施設，オフィスビル等でのMCWの採用が目立っている。

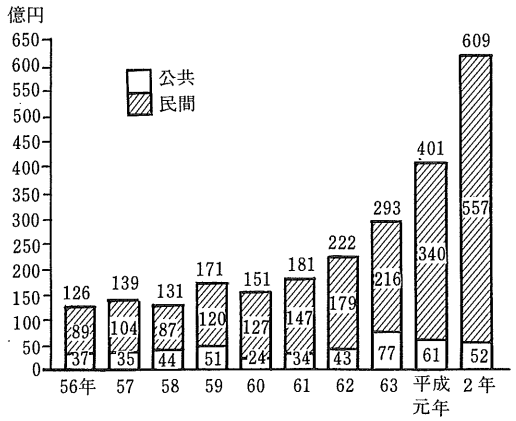
MCWに用いられるシーリング材を時代的に追うと，まずポリサルファイド系が主流をなし，次にシリコーン系2成分形が進出，それに変成シリコーン系2成分形が加わってきた経緯がある。現在，高層物件については後者2材料がポリサルファイド系にほぼ置き変わったと思われる。

カーテンウォールにおけるシーリング材適用の過程は，シーリング技術の試行錯誤と要求性能に対する品質向上の歴史でもある。また，ある意味では，カーテンウォール目地へのシーリング材適用に，シーリング技術全般の開発過程が集約されているとも言えるだろう。その結果がシリコーン系ならびに変成シリコーン系と言う高性能シーリング材をMCWに定着させ，反面，それでもぬぐいきれなかった不信感はシーリング材に頼らない，等圧システムを応用したオープンジョイント構法を誕生させることになった。同構法も本格的に採用され，さらに15年以上を経過，実績も着実に伸びている。海外，特に米国では，このオープンジョイント構法はゴムガスケットとの併用も含め主流になりつつある。しかし我が国では，イニシャルコストが割高である点，工程数の増加，高温多湿な気候風土などの条件から一概には有利な構法と言いきれず，今後の評価を待たねばならない。むしろ，現時点ではMCW普及期に低下したシーリング材（構法）の信頼性も大方回復してきたと考えられ，適切なメンテナンス手法の確立をもってすれば，シーリング構法の採用も有望と言えそうである。

一方，中型物件の増加などを背景に，日本カーテンウォール工業会では63年5月より会員ならびに学識経験者を中心に「新ファサードシステム開発委員会」を設置し，これにもとづき，元年度には欧米の外周壁調査を行い，2年度は住宅・都市整備公団と同工業会が中層住宅のカーテンウォールについての共同研究をしている。このように，メタルにとらわれず，種々の意匠性，機能性に対応したビルファサードのシステム化に取り組んでおり，システムの一端を担うシーリング材に対しても新たな機能要求が出現することも考えられ注目されるところである。

3-2 コンクリートカーテンウォール

我が国において，コンクリートカーテンウォール（以下PCCW）構法が本格的に採用され始めたのは，昭和30年代の末頃であり，すでに30余年が過ぎた。その間PCCWの需要はその特徴である防水性能，耐火・耐震性能，断熱性能が優れていることや施工単価が安い点，仕上材の先付け技術が定着してきたことなどにより，大都市のホテルや再開発事業を中心とする新・増築ブームでの採用が活発に進んだことや近年の好景気なども反映して順調に伸びて



図－6　PCCW受注高の推移

きている。また，この背景としては昨今特に深刻となってきた労働者不足による現場省力化，工期短縮，省管理，品質向上のための工場生産化に対する期待感も影響していると思われる。

特に，PCCW と最近需要が急増している PCF(型枠兼用材）を合わせた受注高は，61年以降，毎年20％以上の伸び率で推移しており，平成２年度も受注高609億円（同51.9％増）という大幅増を示している。これは，内需主導型経済構造への移行，定着化がなされたことにより，建築着工戸数が大幅に増加したことによるが，このうち，オフィスビルを中心としたビル建築物の高層化が徐々に進んできたことが主な要因といえる。また，こうした需要増に伴って，PCCW の技術開発も進み，その商品価値が評価されていることも現在の需要を支えている要因ともなっている。

さらに，絶対量が少ないため統計としては明らかにされていないが，軽量で高強度を発揮する繊維補強コンクリートの GRC(ガラス繊維補強コンクリート）や CFRC（炭素繊維補強コンクリート）などが，コスト面での問題等あるとはいえ，中低層，低層物件で着実にその需要を伸ばしていることも今後注目されよう。

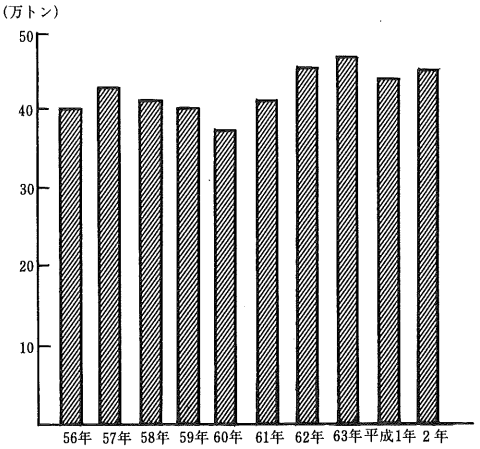
PCCW に使用されるシーリング材は，中低層物件ではコスト面からポリサルファイド系２成分形シーリング材が主に使用されているが高層物件については従来のポリサルファイド系に代わって，耐久性や意匠性を最重視するところから，変成シリコーン系の２成分形が伸長してきている。また，これまではシーリング材も耐久性の面で不安材料がないわけではなかったが，２次シール設計の普及，シーリング材の性能向上などにより大幅な改善がなされている一方，オープンジョイント構法については，耐火上の問題，工程数の増加などから全面的な採用には至っていないが，大型物件での実績も増えており，今後も注目する必要があるだろう。

去年行われた日米構造協議の最終報告でも指摘されているとおり社会資本整備の面で立ち遅れている分野の整備推進を図るため本年より10年間を対象として430兆円の公共投資を行うことになっており，その関係で東京湾横断道路，関西国際空港，みなとみらい21など，大型プロジェクトが相次いで竣工・予定されている。また，ユーザーの外装デザインに対する要求の多様化などにより，PCCW の需要は今後も増加傾向を示すと考えられ，必然的にシーリング材の適用も増加するものと見込まれる。

PCCW 業界では今後も，従来のカーテンウォールに加え，各種セラミックスとの複合コンクリートなど，耐久性と意匠性を兼ね備えた新素材による営業展開を図っており，また，長期的には低層建築物への採用に向けても検討を加えているが，湾岸戦争の影響，国内における高金利政策などによる設備投資の手控えなども考えられるため平成３年度については受注額700億円，伸び率15～20％を目標にする考えである。

3-3 サッシ

現在，市販サッシは，軽くて錆びにくいアルミ製が主流を占め，用途としては木造住宅用とビル用サッシに大別され，アルミニウムサッシ・ドアなどのアルミ建材全体の生産量の38.0％が木造住宅用と33.1％がビル用サッシの生産で占め，残り28.9％がドア，エクステリアなどの生産となっている。ほかにはスチールサッシ（ステンレスサッシを含む）と



図－７　アルミサッシ年度別出荷実績(㈳日本サッシ協会)

寒冷地で多用される2重窓の内窓としてアルミと組み合わせる樹脂サッシがある。その量はスチールサッシが平成2年実績で生産量17,591ﾄﾝ(前年比3.8%増)，出荷量22,129ﾄﾝ（前年比7.2%増）となっている。樹脂サッシは生産量・出荷量ともに12,000ﾄﾝ(平成2年度推定）でアルミ製とはかなり差がある。

平成2年の住宅着工統計によると住宅着工数は170万7,000戸と170万台の高水準であるが，分譲住宅のなかでもマンションが大幅に増加したためで，持家，貸家の着工戸数は平成元年にくらべてマイナスとなっている。分譲住宅全体では前年比21.7%増と伸びている。

このような状況の中で，昨年のアルミサッシの需給動向は，木造住宅用が生産量22万9,578ﾄﾝ(前年比9.2%減)，出荷量24万4,874ﾄﾝ（前年比2.5%減）とやや頭打ちとなった。一方，ビル用サッシは，生産量20万112ﾄﾝ（前年比2.0%増)，出荷量20万2,592ﾄﾝ（前年比2.2%増)と好調なビル建築着工を背景に増加した。また，アルミ建材全体では，生産量60万4,615ﾄﾝ(前年比2.2%減)，出荷量62万9,126ﾄﾝ(前年比1.3%増）で，出荷金額では1兆369億500万円（前年比3.8%増）となっている。

アルミ建材は62年以降，年々増えているが数量ののびだけでなく，商品の付加価値の伸びが大きくなっている。これは，建築着工の安定化から建設業界は量より質の時代に入るため，サッシも多機能化，多様化，高級化などの社会的ニーズに合ったキメ細かい商品開発が一層必要であり，木造住宅用，ビル用サッシ共にデザイン的にも性能的にも新開発商品が増えてくると考えられる。

平成3年度の需要予測は，各サッシメーカーの受注残から見ても1～2年はかなりの繁忙が予想される。ビル用サッシは3年度も生産，出荷量ともに上昇気配が予測され，木造住宅用の生産，出荷量は横這いを維持するとしてアルミサッシ全体の生産，出荷量は引続いて高水準を保つと思われる。

シーリング材の使用部位としては①アルミサッシのガラス回り②サッシと躯体との取り合い③サッシの裏打ち部分――に分類できる。このうち①では成形ガスケットであるグレイジングビードが大部分を占め，一部でシリコーン系1成分形が用いられている。また，②ではポリサルファイド系が主流で，一部で変成シリコーン系も用いられ，③ではブチルゴム系など経済的な製品が用いられている。

塩ビ製サッシは結露防止，断熱上のメリットからサッシ全体量からみると少ないが，寒冷地市場向けに年間12,000ﾄﾝ（推定）程度出荷されているようである。この場合，シーリング材としてはポリウレタン系，変成シリコーン系の各1成分形，2成分形が定着しているようである。

3-4 板ガラス

一般的に板ガラス製品は，普通板ガラス，変わり板ガラス，フロート板ガラス，みがき板ガラスの一次品とこれらを再加工した安全ガラス（合わせガラス，強化ガラス)，複層ガラス等の二次品に分類されるが，国内需要は大別すると，建築用に約60%，自動車用に約30%，そして鏡，家具，ショーケース用などの一般産業用に約10%と推定されている。

しかし，需要の動向については，1973年（昭和48年）のオイルショックを境に大きな変化がみられる。オイルショックまでは，住宅用アルミサッシの普及に伴ない2㎜厚の薄物から3㎜以上の厚物に需要が移り，また，建築物の高級化，耐火構造建築の増加したことなどによって，使用板が大板化，厚物化し，さらに網入・線入板ガラスが広範囲に普及した。オイルショック以降は，地震，火災などの非常災害に対する安全性や，一般住宅，学校などでの日常災害に対する安全の追求と確保のために，強化ガラス，合わせガラス，網入板ガラスなどが普及してきた。今後は省エネルギーなどの社会的要請に対応して，断熱性能にすぐれた複層ガラスや高性能熱線反射ガラスの需要が増大していくものとみられる。

板硝子協会がまとめた平成2年の板ガラス国内出荷量は，前年比0.5%増の3,844万9千換算箱と4年連続の増加となり，また輸出を合わせた総出荷量も

前年比1.0%増の3,940万5千換算箱と4年連続の増加となった。内訳を見ると，普通板・変わり板ガラスは国内が627万7千換算箱（前年比96.2%），輸出が16万4千換算箱で合計644万1千換算箱（前年比98.3%），フロート・みがき板ガラスの国内・輸出の出荷合計は3,296万4千換算箱（前年比1.6%増）となっている。

このほか，建設省の住宅着工統計による住宅着工数は平成2年は170万7,000戸と170万戸台を突破し，依然高水準を維持しており，建築用安全ガラス（強化ガラス，合わせガラス）は229万2千m²（前年比8%増）と高い伸びを示している。建設省の「ガラスを用いた開口部の安全設計指針」の通達（61年5月）や，文部省推薦の「学校におけるガラスの安全設計指針」の普及，さらに㈶ベターリビングによる安全ガラスの使用を義務づけた浴室ドアなどから消費者の安全意識も高まりを見せ需要も伸びている。また，断熱性能，省エネ性能および結露軽減効果に優れる複層ガラスは昨年は246万8千m²（前年比10.2%増）と前年に引き続き順調な需要増加を示し，今後もこの増加傾向は続くものと考えられる。

表－7　板ガラス出荷実績推移　（単位：千換算箱）

年	普通板・変り板ガラス		フロート・みがき板ガラス		計	
	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)
60	7,008	98.5	27,568	104.7	34,575	103.3
61	6.711	95.8	27,616	100.2	34,327	99.3
62	6,784	101.1	28,282	102.4	35,066	102.2
63	6,990	103.0	30,714	108.6	37,706	107.5
元年	6,552	93.7	32,457	105.7	39,009	103.5
2年	6,441	98.3	32,964	101.6	39,405	101.0

換算箱：板ガラスの統計単位で、2㎜の厚みに換算して1箱＝9.29m²で計算。

表－8　安全ガラス出荷実績推移
（強化ガラス＋合わせガラス）　（単位：千m²）

年	建　築　用		産　業　用		計	
	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)
60	934	97.0	49,729	109.0	50,663	108.7
61	1,050	112.4	49,883	100.3	50,933	100.5
62	1,406	133.9	49,721	99.7	51,127	100.4
63	1,919	136.4	52,058	104.7	53,977	105.6
元年	2,130	111.0	55,333	106.3	57,463	106.5
2年	2,292	108.0	58,122	105.0	60,414	105.1

（板硝子協会調べ）

板ガラス業界では今後も社会的ニーズに応えた新しい機能をもつ板ガラス，具体的には省エネルギーおよび安全性に対するニーズの高まりに応え，複層ガラス，合わせガラス，強化ガラス等付加価値製品の普及に努力し，その伸びに期待をかけている。

窓ガラスに使用されるシーリング材は，耐震性など安全対策の面から弾性シーリング材が定着してきている。また，最近脚光を浴びているSSG構法では，ガラスとの接着性，耐久性・耐候性に優れたシリコーン系構造シーリング材が室内側のバックマリオンとの接着固定シーリング材として用いられている。SSG構法はそのシャープなデザイン性，あるいは省エネ効果から，さらに採用の増加が確実と考えられるところからシリコーン系シーリング材の重要な用途分野となるであろう。また，大手のガラスメーカーによると今後の労務事情から，ビル用ガラス取付の省力化を考えた外装用ガラス施工機（グレージングロボ）を既に開発，将来的には施工面での機械化が進むだろうとみており，シーリング工法にも変革が要求される時代が来ると思われる。

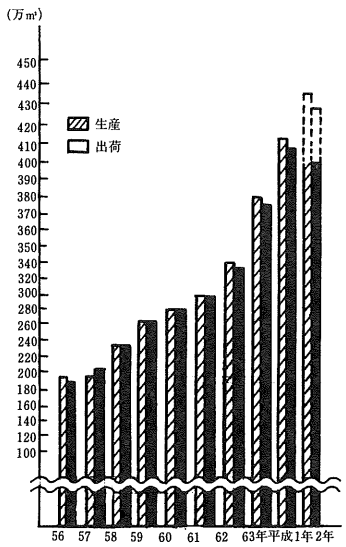
3-5 ALCパネル

ALC（Autoclaved Lightweigh Concrete）パネルは，1929年にスウェーデンで開発，工業化された軽量気泡コンクリート板で，我が国には，1962年に技術導入され，1964年から販売を開始，着実に需要を伸ばしてきている。

現在，イトン（日本イトン工業），シポレックス（旭硝子建材・シポレックス販売），デュロックス（小野田エー・エル・シー），ヘーベル（旭化成建材）の5社4銘柄が市販されており，その他の会社も類似の軽量気泡コンクリート板の販売をしているが，JIS A 5416，JASS21の規格に合致しているのは以上の製品だけである。

ALCパネルの最近の需要動向をみると，昭和63年度は生産量379万6,342m³（前年度比12.6%増），出荷量377万7,510m³（同11.7%増），平成元年度が生産量412万925m³（同8.5%増），出荷量409万6,309m³（同

8.4%増)と高い伸び率を示した。さらに，平成2年度上半期（4月～9月）も生産量219万4,386㎡（前年同期比8.9%増)，出荷量218万5,845㎡(同8.7%増)と半期だけで210万㎡を越える好調を示し，4月以降（12月まで）も生産量・出荷量とも30万㎡台を越え40万㎡近くの高水準で推移しているところから，通年では450万㎡を越える可能性もでてきた。このようなALCパネルの着実な需要増の要因としては，近年の好景気による建築ブームでALCパネルの主な需要分野である低・中層住宅（戸建住宅，集合住宅，店舗併用住宅等)の着工が順調な点にあり，ALCパネルの軽量性（絶乾比重0.5)，断熱性（熱伝導率約0.1kcal/mh℃)，耐火性といった諸特性がユーザー層に広く認識され，ニーズに適合しているためと考えられる。また，メーカー各社も製品開発に力を入れ，タイル調，ストライプ調といった意匠性に優れた製品による高級化，斜壁パネル，一体成型大型パネルなど品種の多様化さらに，建物内部から外壁の施工を可能とする工法面の開発なども需要増に大きく貢献している。さらに，20数年にわたる実績により耐火建築材料として住宅金融公庫の融資対象になっていることも需要増の要因に挙げられる。これらのことから以前の高度経済成長以来，数量的にあまり伸びていなかった高層ビルや工場などにもALCパネルの適用範囲が拡大しており，全体的な需要増をもたらしていると言える。



図－8　ALCパネル生産・出荷統計
（通産省調べ　元年度は4月～12月の実績，点線は推定）

ALC業界では，これらの需要増が好況を背景とした一時的なものではないとしてるが，中東での湾岸戦争や日本経済の先行きの不透明感から設備投資への手控えなどもみられ需要にもかげりがみられるとしている。しかし，日本の建築事情にもマッチしているというファンダメンタルな面やまた，戦争の事実上の終結などの事情を見る限り今後も高水準の伸びを示していくと考えられる。

ALCパネルは外壁，屋根，床，間仕切りさらに，最近ではスロープ部などにも使用されているが，外壁用途が全体の約70%を占めており，最も多い。

ALC目地に使用されるシーリング材は，作業性やコストの面で優れているアクリル系エマルジョンタイプが全体の約90%を占めており，他にはスライド工法など用途条件によってポリウレタン系，変成シリコーン系も実績をあげてきている。

3-6 サイディングボード

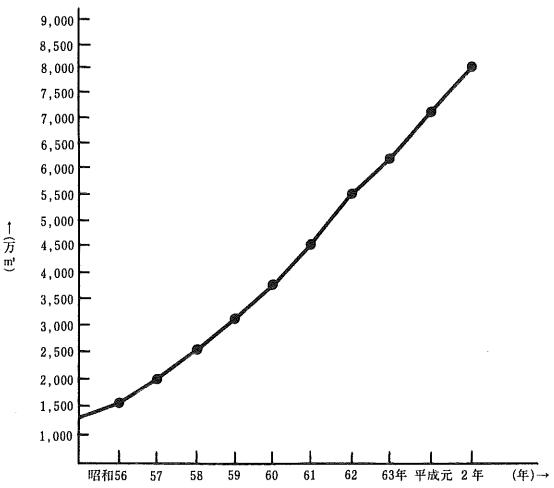
サイディングボードは，一般住宅や店舗などの低層建築物用の外壁パネルの一種で，大型のプレキャストコンクリートパネルなどとは区別される。比較的新しい外壁材料で，その材質により窯業系，金属系，木質系に分類される。

かつての日本住宅の外壁の主流は板ばかりであったが，これが防火上の難点によってモルタル塗りが主流になり，40年代に板ばりの代替品として木質サイディングたて張りが使われ，間もなく金属サイディングがこれに替わった。昭和50年代に入って窯業防火サイディングが盛んに使われるようになり，モルタル塗りを含めて今日ではほぼ100%が防火構造になっている。昭和53年の宮城県沖地震で，モルタル塗りの剝落が指摘されて以来，モルタル塗りと材質が近く，より丈夫な窯業系サイディングの需要が

伸びている。

最近の新設住宅調査によると外壁仕上げ市場の約42%がサイディングボードであり，モルタル塗りは約47.5%と年々少なくなる傾向にある。また，地域別に見ると北海道，東北などの寒冷地では，半分以上がサイディングボードを使用しており，その他の地域でも上昇傾向にある。

日本乾式防火サイディング協会の調べでも出荷ベースで昭和61年が4,427万1,000m²（前年比19.8%増），62年5,382万8,000m²(同21.6%増)，63年6,901万9,000m²（同28.2%増）と年間20%～28%と急速な伸びをしめしている。さらに平成元年の出荷量は7,543万8,000m²（同9.3%増），2年8,077万5,000m²（同7.1%増）と伸び率は落ちたものの依然として高い伸びを維持している。こうした傾向の背景にはモルタル壁につきまとうひび割れ，はく離といった欠点に対し窯業系サイディングボードの物理的特性①クラックが入らない②補修が容易である③施工期間の短縮④防水性・防火性などに優れるなどの特性が支持された事と，特に横張り工法による建物のイメージの向上などが大きな要因となっている。従ってサイディング業界の伸長は今年度も前年比5%～7%増の伸びが予想され，今後，シーリング材の適用



図—9　乾式サイディングの伸び
（日本乾式防火サイディング協会）

もますます増えるものと思われる。

サイディング住宅でシーリング材を使用する部位は，ボード同志の縦・横のジョイント部をはじめ，出・入隅ジョイント部，サッシ回り，玄関ドア回り，幕板取合部，換気フード回りなど多数にのぼる。使用されるシーリング材は，1成分形，2成分形の変成シリコーン系，ポリウレタン系が適するが，1成分形が圧倒的であり，低モジュラスタイプのポリウレタン系，変成シリコーン系が大部分を占めている。シーリング材の適用に当っては，ボードメーカーが専用品をボードとともにセット，あるいは品目や基材を指定したり，または，施工店任せなど種々である。しかし，サイディング住宅自体の歴史がまだ新しく，施工面でも成長過程にある現在，シーリング材に関する施工技術上のトラブルやクレームの発生が少なくないことも事実である。

こうした背景から，サイディングボードメーカーの各施工法をまとめ，当工業会と日本乾式防火サイディング協会が共同で技術資料の作成や，普及活動を行なっている。なお，当工業会主催のシーリング管理士およびシーリング技術管理士検定講習会では昭和63年度から講習カリキュラムに「サイディング材とシーリング」を新設した。

4. メンテナンス用途のシーリング動向

近年の新築部門の好調からやや影が薄くなった感もあるが，建物外壁の改・補修需要は，建築工事全体の中でも最近特に目立って増加している分野である。建物自体の寿命，すなわち，コンクリートや鉄骨など構造体として主要をなす無機材料に比べ，シーリング材などの有機材料の耐用年数が短いのは宿命とも言え，必然的に劣化部に対しては改・補修工事が適用されることになる。そしてこの適用機会は，過去から現在に至るまでの建築ストックが増加すればするほど増大する傾向にあり，今後益々需要を拡大する分野と言えよう。

これら建物の改・補修工事は，シーリング材の打

ち替えなどの再施工も当然含まれてくる。シーリング材自体は，およそ10～15年でその性能寿命をまっとうすると思われ，改修工事もこの周期をめやすに行われることになる。机上の計算では，現在改修期にはいっているものは昭和30年代後期に施工された目地で2度目の改修期を迎えることになる。よって，シーリング材の改・補修需要は，現状ではまだ出荷量全体の一部を占めるに過ぎないであろう。しかし，上述の点を考慮すると，昭和40年代以降の建物の軽量化，柔構造化，高層化を背景にもつ建設ラッシュ，そして，その時期に大きく拡大普及したシーリング材の適用過程は，改修用途の潜在需要の膨大さを物語るものである。

改・補修の対象となる建物は，超高層から低・中層のRC，PC建物など様々である。また，シーリング工事は全面的再施工となるケースが多く，量的にも大きい部分を占める。改修もシーリングのみを目的とするのではなく，計画に沿って，外壁面の塗り替え工事などの際，外足場を有効利用するために行われることが多い。もちろん，サッシの取り替え，設備機器の交換，漏水に伴う部分修正等にシーリング材が用いられることも多いが，大量に使用されるケースは稀である。

使用量もケースバイケースで1成分形，2成分形が適宜用いられ，シリコーン系マスチック型などは油性系の打ち替えに多用されている。

外壁目地シーリング材の改修工法として現在行われているのは①再充填方式②拡幅再充填方式③ブリッジ方式の3種類に大別できる。しかし，それぞれ一長一短があり騒音問題や塵埃発生，再補修時の対応，被着体の問題等必ずしも肯定出来ない点もある。そこで最近では，意匠性も考慮し外装の一新を図るために壁面全体を包みこんでしまうパネル構法なども出てきている。しかし，同構法は水密性をそれほど必要としないためノンシール方式による場合が多い。

一方，改修需要の増加に伴い，その経済的かつ効果的な実施を図るため，官・民種々の機関で工法・仕様の確立が図られている。中でも建設省が進めた総プロ活動では昭和61年にシーリング防水の劣化診断，補修・交換，総合耐久設計の各指針が作成され，シーリング材の耐久設計，管理について一応の目安がつけられ注目を集め，引き続き62年度からは官民一体の共同研究として総プロの成果を継続する形で「シーリング防水改修設計・施工指針（案）」の作成作業がおこなわれ，建設省建設研究所と当工業会との共同研究により一応の作業をおえ，昨年より本格的な普及活動に入っている。今後，研究の焦点でもある改修シーリング材の耐用年数推定式など種々の成果について，その効果・運用が期待される。

5. ルートセールス分野でのシーリング材

シーリング工事専門業者以外のいわゆるルートセールス分野でもシーリング材の需要が伸びている。使用者が専門家でないため1成分形の使用が圧倒的に多く，種類別ではポリウレタン系，変成シリコーン系，シリコーン系の伸びが目立っている。

従来から左官業，吹付け業，板金業，塗装業，内装工事業などでは，単純な工事に関してはシーリング工事まで請負うことが多くあったが，また最近急増しているサイディングボード住宅の目地シーリング工事では，一般工務店が建設工事から一貫して請負うことがほとんどである。

今後，このような専門家以外の使用も増えていくものと考えられるが，それに伴いシーリング材の使用量も増加していくと思われ，特に作業性を含めた性能向上により1成分形では顕著になっていくと考えられる。

※工務店等関連工事ルート

工務店の場合は従来から浴槽や台所などの内装シーリングは自前で施工することが多く，新築工事の場合1件当たりおおよそ4本位を使用していたが，最近伸長の著しいサイディングボードを外装に用いた住宅ではシーリング材を使用する部位がボード同志のジョイント部をはじめ，サッシ回り，幕板の取

合部，換気フード回りなど多数にのぼるため一般標準住宅（建築面積70～100㎡，外壁100～150㎡）で，10～30本を使用し，ポリウレタン系，変成シリコーン系が多用されている。

板金，塗装業でも本業に伴う簡単なシーリング工事では外注する事はほとんどなく，また最近では1成分形に限らず，2成分形なども多く使われだしており，シーリング材は工事の必携品となっている。種類としては性能，価格，入手のしやすさなどからシリコーン系，変成シリコーン系，ブチルゴム系，ポリウレタン系など，マンションではウレタン系，ポリサルファイド系などが，またALCパネルではアクリル系などを使用している。

配管設備関係，簡易補修を手掛ける営繕業者もシーリング材を使うケースが増えており，カートリッジタイプのシリコーン系，変成シリコーン系が主流となっている。

※建築金物・機械工具関係

この分野でも全体の取り扱い量は増えており，シリコーン系，変成シリコーン系を中心として年々増加している。

建築金物分野でのシーリング材はメーカー，代理店もしくは1次問屋から建築金物問屋という経路をたどり，建築金物店，建材店へと流れていくが，正確な数量の把握は非常に困難である。一応，中堅クラスの建築金物店で月当たり約1万本／月前後の需要があると考えられる。また工具の総合問屋では，売り上げはシリコーン系1成分形のカートリッジタイプがほとんどである。

※DIYルート

1977年（昭和52年）に我が国で初めて本格的ホームセンターが誕生して以来，DIY産業は，国民生活の向上，住宅の量的拡大，余暇生活時間の延長等によりマーケットを年々拡大し，今や店舗数2,117店，年間取り扱い高1兆7,423億円という巨大市場を形成している。

シーリング材はホームセンターでは，塗料・接着剤コーナーで扱われている。ちなみに，日本DIY協会がDIY店およびホームセンター企業61社を対象に行った調査報告によれば，塗料・接着剤の取り扱い率は100%で，年間販売額は約132億円に昇る。その中でシーリング材の占める割合は4～5%程度と思われる。なお塗料・接着剤の売り上げ構成比は2.4%で，売り場構成比3.5%，商品回収率5.1%，前年伸長率9.6%となっている。また顧客特性としては，プロフェッショナル12%，アマチュア88%となっており，特に近年では女性客の台頭が目立っているという。この様に，購入者の大部分が素人であり，しかも女性が目立ってきていることからDIY業界では今後主婦層・若年層にターゲットを絞っていく方

表－9　商品分野別取扱い状況　全体平均

商品群	取扱いの有無	年間販売額	売上構成比	売場構成比	商品回転率	前年比伸長率
	%	百万円	%	%	回	%
1 木材・建材	97.9	208	4.8	6.8	5.3	9.9
2 道具・工具・電動工具	100.0	258	6.7	6.2	4.0	10.6
3 建築金物	96.8	137	3.8	4.4	3.9	10.6
4 塗料・接着剤	100.0	168	4.5	4.7	5.1	9.6
5 住設・配管・水道・ガス	96.8	131	2.5	3.0	4.9	9.7
6 台所・浴用品	89.5	179	4.3	4.2	8.3	14.3
7 組立て収納用品	93.7	191	3.6	4.1	7.0	12.4
8 インテリア	97.9	315	6.7	7.7	6.1	14.5
9 エクステリア	96.8	210	5.5	8.9	8.5	13.5
10 園芸（生もの，種苗）	95.8	107	2.5	4.0	12.4	12.5
11 園芸用品	100.0	301	8.4	8.4	6.9	9.9
12 ペット	98.9	144	3.5	3.3	8.8	16.2
13 家電製品	54.7		4.0	2.5	5.5	21.8
14 電器・照明	96.8	296	5.9	4.9	5.7	16.9
15 ハウスサプライ	82.1	179	3.0	2.2	8.0	37.3
16 カー用品・自転車用品	95.8	534	11.4	10.0	5.7	12.1
17 レジャー・スポーツ・健康器具・ホビー・玩具	72.6	279	3.6	3.4	6.0	19.6
18 サービス業務	60.0	70	1.3	0.8	14.8	26.3
19 日用雑貨	98.9	511	9.5	7.1	10.1	16.1
20 その他	85.3	373	4.5	3.4	6.4	15.3

日本DIY協会調べ（DIY店，ホームセンター企業424社対象）

針である。この様な傾向の中シーリング業界としては，製品のネーミングやパッケージ，サイズの工夫，マニュアル等のヴィジュアル化などによる製品特性や使い方，メインテナンス方法などをより簡単かつ正確にわかるようにしていく必要があるようだ。

我が国DIY産業興隆の背景には，㈱日本DIY協会を中心とするメーカーや販売店，ユーザーに対する啓蒙活動がある。例えばDIYアドバイザーの養成（現在2,426名），DIYショーの開催（東京・大阪他），各種調査事業，DIYスクールの実施などユーザーとの結び付きを強化するための諸事業が運営され，内外とも充実を見せており，また経営組織の近代化，チェーン化，多店化，専業化などが推進され，近代的業態としての基盤づくりが着々と進められている。さらに補修需要の増加や慢性的な専門技能労働者の不足による人件費の高騰もあり，当分はDIY業界における建材需要は，伸びるものとおもわれる。なおDIY分野で主に用いられるシーリング材は以下の各種である。

〈シリコーン系〉 DIY関連で販売されるシーリング材の大部分を占めている。素材イメージとともに使い勝手の良さが人気を呼んでいるようである。

浴槽，流し台などの水回りの他，例えば電気接続部分などにも使われているようである。

〈油性コーキング〉 一般家庭用充填材の主流であった油性系も内部が硬化せず汚れ易いことなどから，家庭用としては敬遠されてきている。

屋根，外壁など屋外の補修に用いられているようだ。

〈アクリル系〉 相対的に廉価であり，水性材料としての使い易さなどのメリットから室内の壁目地や簡易補修に手軽に使用されており，最近では防音グレードなども登場してインテリア用途にも適用されてきている。

〈その他のシーリング材〉 上記以外では，ポリウレタン系，変成シリコーン系，なども徐々に進出してきているがユーザーが素人ということもありシリコーン系との差別化ができるほどのアピール度はないようだ。

全力投球の1年間

総務委員会
委員長　高橋健夫

任期満了に伴い改選された新役員と新方針の下，工業会の潤滑油役を任ずる総務委員会活動概要についてご報告申し上げます。

1．グロバリーゼーション

昨年10月28日から米国ワシントン市において開催されたASC国際会議に当会から14名のミッションの参加が実現し，席上日米欧3地域からの“建設部門”発表討議に臨み当工業会の実力を遺憾無く世界に示し得たことはご同慶の至りであります。

当工業会技術委員会活動の水準の高さと日頃の活動内容の適切さが評価されたことは言うまでもありませんが，ミッションの人選，折衝，大会事務局への連絡，折衝並びに国際会議後の各種訪問先選定，折衝などの業務を担当して総務委員会も折衝業務に多少なりとも実力を発揮することが出来ました。92年にはこの国際会議が当工業会と日本接着剤工業会の共同主催により日本にて開催されることが決定され，既に組織委員が両会から各々任命されるなど各種準備作業に着手しました。今回の経験を役立たせ各国の期待に応え得る有意義な大会にしなければと気持を新たにした次第です。

2．地位向上

業界活動の地位向上に大きな関わりを有している通産省窯建課と日本シーリング工事業協同組合連合会に対し引続きご指導を仰ぐべく積極的にアプローチし交流円滑化に努めました。定期人事異動の結果担当課長以下全員が新任者となった窯建課とは調査委員会共コンタクトを重ね，当工業会課題への理解と助言を求めてまいりました。一方法人化が実現し益々当会との二人三脚活動が期待される連合会とは両トップ間の自由闊達なる意見交換が定期的に行なわれる場を再現することが出来ました。早速双方からの注文が交錯しております。

小池，加藤両顧問並びに各相談役からは大所高所並びに産学共同などの観点からいつに変らぬご指導と助言をいただく機会を定期継続して設営することが出来，きびしくも暖かみのある諸内容をいただくことが出来ました。

3．会員間コミュニケーションの強化

新年会に始まり，定例理事会，5委員会，顧問，相談役との懇談会並びに講演会，総会，ゴルフ会いずれも予定以上の参加者を得て実施されましたことは会員各位の期待の大きさであり，活動成果への評価の高さであると進行世話役の責任の大きさを更めて痛感させられました。

しかしながら会員増強活動の成果は1社増（賛助会員3社新加入，正会員2社脱会）にとどまり，努力不足を露呈する結果となりました。“数は力なり”で全てが律せられる時代ではありませんが，複合事業化，国際化など企業対応の変化を包含しうる当工業会にするためにはぜひとも継続した会員増強活動が求められるものと確信しております。会員各位からの候補会社ご推せんを得てご一緒に勧誘活動を続けてまいりたいと思います。ご支援方お願い申し上げます。

以上平成2年総務委員会の活動報告をさせて頂きましたが，重ねてこの一年間会員各位の多大なご協力に深く感謝いたします。

平成2年度技術委員会活動概要報告

技術委員会
委員長　笹谷茂生

平成2年度の技術委員会の活動は，昨年度のJIS改正作業，ASC国際会議への準備など，精力的な活動に比べれば，やや平隠な1年であったといえます。毎月1回の開催も久しぶりに夏休みを取ることが出来ました。とはいえASCの準備・参加の大テーマ，および例年どおりの課題に対し委員会メンバー全員が積極的に取組んだことにはまちがいありません。その活動内容について概要を以下に報告します。

1．ASC国際会議への準備と参加

昨年度からの準備を完成させ，10月28日～31日にワシントンDCで開催されたASC国際会議にて「日本における建築用シーリング材の現状と展望」と題して成果を発表した。会議の内容およびツアーの詳細についてはすでに報告会が開かれているため省略するが，本プロジェクトを担当された委員の方々には御苦労様でしたと言いたい。充分な成果であったことをつけ加えたい。

なお接着剤・シーリング材一'92京都国際会議の開催が決定し，日本シーリング工業会と日本接着剤工業会と共催で進める方針となり，準備委員会への参加が始まっている。平成3年度の中心課題となる。

2．JIS改正，工業標準化に関する協力

JIS A 5758の改正案は，昨年度末答申を終えた。本年度は国際規格との整合性，一部の削除，修正を工業技術院と打合せを行ない，平成3年2月12日開催の規格調整専門委員会に提出，検討された。なお一部の修正が必要となり現在検討中である。日本工業標準調査会建築部会への答申は6月の予定である。

また当工業会は建築用シーリング材に関するJISの改正引受け先であったことから，今後の標準化事業の方向，体系化等に関するアンケートを依頼され，これらに協力した。

3．JASS改正作業への協力

JASS17改正作業への協力は，本年度解説まで進みほぼ終了した。更にJASS 8の改正作業がスタートし，技術委員からは2名の委員を派遣中である。改正作業は設計，材料，施工の3小委員会に分れて進められているが，材料，施工の分野への協力が中心である。材料ではシーリング材の限定，試験方法など，施工では冬期施工の問題点が検討された。

4．補修・改修技術

官民連帯共同研究の成果を出版物として広く普及するための出版企画編集委員会，同分科会が設置され具体化することになった。当工業会が参加したシーリング防水改修設計・施工指針について最終的な見直しを行ない，耐用年数推定式中の改修係数の見直し他一部修正を加えて分科会へ提出し了解を得た。平成3年夏頃までには出版される予定である。

5．その他下記のワーキンググループの活動を進めた

(1)消防法改正後の情報収集。(2)新防火戸告示へのシーリング材の対応。(3)防火サイディング協会への協力等である。

なお全会員対象の技術勉強会，技術資料の視聴覚化への準備はASC参加準備のため出来なかった。またハンドブックの改訂作業は，JIS，JASS等の改正作業中であるため，これらの結果を得て作業に取りかかることとなった。

最後に長年委員長を勤められた西沢氏（横浜ゴム㈱）が引退され，本年度より委員長の大役を仰せつかり，委員会メンバー諸兄の御協力のもとどうにか役目を果して来た1年でありました。ここにメンバー各位に深く感謝しますと同時に平成3年度も御協力，御支援を賜りますようお願い致しまして報告を終わらせていただきます。

平成2年度調査委員会活動報告書

調査委員会

委員長　児玉暢夫

調査委員長に就任し，早や1年を経過しようとしておりますが，建設業界は好況の反面，人手不足による労務費の高騰や物流諸経費のアップ，又秋以降は湾岸紛争の影響によるナフサ価格の高騰から原材料費が大幅アップし，シーリング業界は非常に厳しい状況下にあります。

さて調査委員会の平成2年度事業計画は

1）製品基材別生産，出荷，在庫の集計

2）シーリング積算設計条件の適正化

3）基材別分科会の活性化推進

以上3つを検討課題とした。

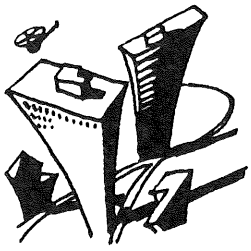
1）製品基材別出荷統計資料は通産省窯業建材課の御協力を基に，集計資料の内容の一部簡略化を計り3ヶ月毎に統計資料が提示され，会員各位は市場動向把握等に参考資料として有効に活用されていると思われますが，今後の課題としては製品基材別出荷統計資料のより正確性を高める為にも，生産設備能力調査も継続して検討してまいります。

2）シーリング材積算条件の適正化

建設業界は依然として好況に推移し，建設用シーリング材の出荷量は平成2年度通産省窯業建材課の集計資料では，94,000t強（前年度比10.4%アップ）の出荷量となり，好調に推移しておりますが，反面，高金利，原料及び物流コスト等の値上りと湾岸戦争勃発で今後も市場環境は厳しい状況が予想されますので，業界のより一層発展を図る為にもシーリング材積算設計価格の適正化が望まれ，今後も取引先関連業界に御理解を得る様，継続して活動を行なってまいります。

最後にこの1年間調査委員会に会員各位の御協力を賜り真に有難うございます。

平成3年度の事業計画もほぼ決定し，引続き調査委員長として，内容のある委員会活動を目指して行きますので，会員各位のより一層御協力を御願い申し上げます。



「シーリングハンドブック」は，改正JISの公布が遅れているため，平成4年夏頃まで改訂版は発行できません。取りあえず5,000部増刷致しましたので，御利用下さい。

広報委員会

管理士制度の普及をめざして

検定委員会
委員長　角野元昭

平成２年度の第14回シーリング管理士，第12回シーリング技術管理士の資格認定講習と試験が，今年も１月25日から29日までの５日間をかけ静岡県函南町の生産性研修会館で行なわれましたが，皆様のご支援のもとで無事終了できましたことをお礼申し上げます。

今年も受容能力を大幅に越える受講・受験応募者となり，一部の方々にお断わりいたさざるを得なかったことを紙面を借りてお詫び申し上げます。かかるごとくシーリング施工管理技術向上に関心が高まっていることを真摯に受け止め，当委員会は内容の一層の充実に努めていく覚悟です。

今年度の受講の受付け員数は162名でしたが，仕事の都合などから取り止められた方があり受験者は管理士が59名，技術管理士は90名の合計149名となりました。合格者は別掲のとおりです。管理士の合格者は46名（合格率78％），技術管理士は76名（同84％）となっています。

合格されたかたがたには心から日頃のご精進の結果をお祝い申し上げると同時に実務への反映を希望するものです。

今年度は試験の回答方式を世の中の一般的方式に合わせ，回答用紙を出題用紙から分離するように変更しました。当初，様式変更の影響を心配しましたがなにごとも無く終えることができて一安心いたしました。今後はこの方式で行なっていく予定です。

この資格認定制度の目指すところはシーリング管理士，技術管理士を育成し，それぞれの職務を通じ，管理士は工事にあたり正しい施工管理を行なうことに努め，また技術管理士は正しい施工管理のための技術普及に努めることによりシーリング防水工事の品質向上と信頼を得ることにあるものと考えます。このため講習会においてはシーリング施工に直接関連する課目の他に建築の基礎知識や安全管理，品質管理に関する課目などをもうけ広く知識を習得していただくようになっています。

平成２年度には，日本シーリング工業会では従来の普及活動を一層強化し管理士の存在によるシーリング工事の品質向上効果を関連業界にPRいたすことにしました。検定委員会ではこれを受け日本シーリング工業会広報委員会と協力し新聞，雑誌などへの広報活動に着手しました。まず，その第一段として１月の管理士認定講習・試験の会場に業界関連誌５社の記者の方々をお呼びいたし，講習の内容と管理士制度の意義をお知らせし記事にして頂きました。さらに，平成３年度には建築設計，管理，発注者の方々などへの広報活動も計画しております。

管理士制度認知に最も大きな効果があるのは管理士の方々の市場での活躍によることに論を待ちませんが，検定委員会では少しでも管理士認知の後押しができることを願い活動を推進していきます。

平成２年度にはシーリング管理士規約とシーリング技術管理士規約の一部を理事会の承認を得て改訂いたしました。その主旨は管理士，技術管理士の職務範囲と活動のあり方を明文化してもらいたいとの要望に応えたものです。改訂規約の全文は98ページに記してありますので参照下さい。

改訂の主な点は，それぞれの規約の第２条の職務に関する条項です。比較のため両規約の新旧第２条文を併記します。

○シーリング管理士規約　第２条（職務）

旧条文：シーリング管理士は，現場施工能力を有し，かつ防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，シーリング工事につ

いて施工及び技術指導を行う。

新条文：シーリング管理士は，現場施工能力を有し，かつ防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，シーリング工事に於て技術指導及び施工管理を行い高品質で経済的（トータルコスト）な施工を行うための指導的役割を果たす。

○シーリング技術管理士規約　第２条（職務）

旧条文：シーリング技術管理士は，シーリング工事に関して，防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，技術指導を行う。

新条文：シーリング技術管理士は，シーリング工事に関して，防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，技術指導を通し技術普及を行い，シーリング工事の品質向上に努める。となりました。条文の通り，管理士はシーリング工事にあたり現場での指導と直接的管理により品質向上に努めることを，技術管理士は直接工事管理にあたることは無いが技術普及により品質向上に努めることと明文化いたしました。

これにともない，技術管理士規約に第９条（禁止事項）として技術管理士の施工店への名義貸しの禁止を条文に追加し，これに違反した場合には資格を取り消すことにしました。

永年，シーリング管理士制度の公け化への要望がありますが，公け化には広く制度を普及することと管理士の方々の実績の積み重ねがキーポイントとなるものと考えます。充実と普及に努めてまいります。

90年代の建材産業

長田直俊

[90年代の幕明け]

90年代は，激動のうちに幕を明けた。90年には，ドイツの統一，東側諸国の自由主義経済への移行などが起こり，戦後ほぼ半世紀を規定してきた東西関係の基本構造が大きく根本的に変化した。その与える影響は極めて大きく，世界政治の変革を通じて，世界経済，そして各国経済に今後徐々にではあるが，重大な影響を与えていくであろう。

また，90年に始まった新たな中東危機は，91年に入って急速な展開を見せた。そしてその過程のなかで，世界経済の被った影響は，従来の常識から見れば，予想外なことも多かった。幸いなことに，わが国が経済面で受けた影響は，事前に予想していたよりもかなり小さくてすんだということができる。かつて前2回のオイルショック時に生じたような急激な悪化は今回起こらなかった。

過去のわが国の経済発展の後を振り返って見ると，前二回のオイルショックのときには，いずれも大きな影響を被っており，そこからの脱却に非常に長い時間と努力を必要としてきた。

とりわけ建材は景気の影響を受けやすい商品であるので，建材産業の歴史を見るとその影響は顕著で，それまで比較的順調に伸びてきた需要が，この2回のオイルショックの時に冷水を浴びせられたような形になり，急に萎んでしまった経験がある。もちろん景気浮揚型の財政運用が採られ，一部ではその後暫くの間はそこそこの需要を確保した分野もあったのだが，全体の動きを概観すると，需要の減退から立ち直るのに数年を要し，ようやく立ち直ると次のオイルショックに見舞われるというパターンであったように思う。

今回の経験によれば，前二回の石油危機のときに比べ，わが国経済の足腰は格段に強くなってきているといえよう。建材産業をみても急速な需要の減退というのは，現在までのところ起こっていない。日本経済の成長，成熟化につれて，建材産業も少し変化してきたようである。建材産業が90年代をどの様な方向に向かっていくのか，それを少し考えてみたい。

[90年代の通商産業ビジョンと建材産業]

昨年7月，通産省は，90年代の産業の方向を予見し，その政策運営の指針とすべく「90年代の通商産業政策」を発表した。通産省は，日本経済の復興が軌道に乗り高度成長を目指した60年代より10年毎に各年代の通商産業ビジョンを作成し，時代の指針として公表してきている。

それぞれの時代の背景を担って，各年代のビジョンは，重化学工業化（60年代），知識集約化（70年代），創造的知識集約化（80年代）と来たるべき10年間の産業の理念を明らかにしてきたが，「地球時代の人間的価値の創造へ」との副題をもつ今回のビジョンでは，政策の根本の柱として「国際社会への貢献と自己革新の推進」，「国民生活のゆとりと豊かさの実現」，「長期的な経済発展基盤の確保」の三つの目標を掲げている。

こうした中で，高度成長期以降は，重化学工業，ハイテク産業などの陰に隠れがちであった建材産業に再び大きな役割が期待されようとしている。既に80年代中頃よりわが国経済は外需依存型より内需依

表１（１）主要な建材生産等の推移

項目 / 品目等 / 年度（西暦 〃） / 単位	建材生産等								
	セメント	生コンクリート	コンクリートパイル	石綿スレート	石膏ボード	普通鋼鋼材(出荷)	アルミニウムサッシ	板ガラス	硝子繊維
	千 t	千m³ ※	千 t ※	千枚 ※	千m² ※	千 t	t ※	千換算箱	t ※
昭和35 (1960)	23,194					15,842		12,588	
36 (1961)	25,885					20,293		13,118	
37 (1962)	28,770					19,514		12,146	
38 (1963)	31,037					24,405		13,584	
39 (1964)	32,840					28,886		15,408	
40 (1965)	33,590		2,454	46,804	117,026	30,298	21,222	14,758	23,393
41 (1966)	39,500		2,978	53,409	124,587	37,515	36,557	16,300	27,586
42 (1967)	44,543		3,812	66,988	144,963	44,344	56,524	19,646	40,168
43 (1968)	48,334		4,395	73,488	166,663	49,682	88,395	22.953	52,845
44 (1969)	52,641		4,937	80,653	187,135	61,645	143,157	24,287	68,668
45 (1970)	58,233		6,390	90,153	213,113	65,051	197,404	25,849	95,336
46 (1971)	60,246	112,396	6,014	76,664	194,238	65,231	234,709	25,073	117,255
47 (1972)	69,681	130,454	6,730	77,386	227,941	77,815	322,346	26,676	142,778
48 (1973)	78,655	149,459	8,330	103,993	279,086	91,558	458,478	29,528	187,905
49 (1974)	70,371	133,226	5,436	84,690	237,695	84,976	417,918	25,732	185,139
50 (1975)	66,365	111,974	5,391	64,603	198,171	76,186	355,559	24,639	119,787
51 (1976)	68,372	111,764	5,656	79,216	208,913	82,107	463,957	25.046	182,487
52 (1977)	76,823	132,685	6,172	76,679	234,641	78,574	439,219	26,842	211,612
53 (1978)	86,349	152,018	7,427	69,595	262,091	80,603	458,294	34,164	248,746
54 (1979)	88,617	160,896	7,939	87,408	305,076	88,882	515,470	39,673	299,196
55 (1980)	86,358	159,929	7,098	80,998	306,076	83,069	489,874	38,353	286,009
56 (1981)	84,002	149,687	6,814	70,386	290,960	78,790	382,253	35,195	293,870
57 (1982)	80,362	140,047	5,841	68,895	312,052	74,751	410,457	33,775	325,666
58 (1983)	79,799	145,895	5,274	66,189	331,424	77,705	425,755	33,518	339,334
59 (1984)	60,061	143,490	5,648	73,871	347,854	81,428	392,414	34,071	388,894
60 (1985)	72,498	136,779	5,462	77,123	375,873	80,280	369,650	35,788	425,232
61 (1986)	70,782	143,393	5,485	74,171	400,131	76,892	380,615	32,255	412,824
62 (1987)	74,344	149,948	6,387	76,949	452,424	79,021	413,070	34,907	474,640
63 (1988)	77,302	162,932	7,231	87,407	519,016	82,792	442,448	35,059	533,464
平成元 (1989)	80,123	168,213	7,704	85,707	549,994	85,501	449,098	36,221	578,612
使用資料名	窯業建材統計	生コン統計	窯業建材統計	窯業建材統計	窯業建材統計	鉄鋼統計	窯業建材統計	窯業建材統計	窯業建材統計

注）※の欄は暦年の数値

表１（２）主要な建材生産等の推移

項目 / 品目等 / 年度（西暦 〃） / 単位	建材生産等					参考			
	木材(製材品)	普通合板	繊維板・PB	粘土瓦	畳	建築物着工	住宅着工	公共工事着工	民間土木工事着工
	千m³ ※	10³m² ※	千 m²	百万枚 ※	千畳 ※	百万平方米	千 戸	十億円	十億円
昭和35 (1960)	28,733		35,479			66	—	—	—
36 (1961)	28,936		48,414			78	—	—	—
37 (1962)	29,379		52,089			76	—	—	—
38 (1963)	30,803		69,810			94	—	—	—
39 (1964)	32,681		78,645			102	765	—	—
40 (1965)	33,291	716,865	74,375			101	845	—	—
41 (1966)	35,633	830,585	87,709			115	881	—	—
42 (1967)	38,407	976,082	102,232			144	1,041	—	—
43 (1968)	40,342	1,122,950	112,346			163	1,214	—	—
44 (1969)	41,730	1,237,321	124,473			191	1,408	3,074	473
45 (1970)	42,127	1,388,805	146,563	1,265	51,795	204	1,491	3,807	550
46 (1971)	41,606	1,360,719	138,479	1,308		204	1,532	4,915	637
47 (1972)	43,664	1,431,792	154,676	1,244		254	1,863	5,802	825
48 (1973)	45,038	1,516,097	169,469	2,130		267	1,763	6,057	1,016
49 (1974)	40,510	1,383,357	139,227	1,542		191	1,261	7,004	1,198
50 (1975)	36,762	1,183,264	147,589	1,496	47,513	202	1,428	7,507	1,002
51 (1976)	39,315	1,333,935	167,043	1,644		217	1,530	7,961	859
52 (1977)	38,273	1,308,450	165,621	1,690		221	1.531	10,189	922
53 (1978)	38,867	1,394,910	170,820	1,889		230	1,498	9,800	990
54 (1979)	39,586	1,449,382	205,785	2,031		246	1,487	10,756	1,079
55 (1980)	36,920	1,343,936	194,610	1,995	45,696	214	1,214	11,440	1,268
56 (1981)	32,497	1,188,108	175,324	1,643		200	1,143	11,460	1,461
57 (1982)	30,944	1,138,788	177,590	1,587		195	1,157	11,699	1,235
58 (1983)	29,601	1,221,346	175,054	1,543		189	1,135	10,966	1,188
59 (1984)	28,598	1,165,026	176,155	1,445		199	1,207	10,294	1,073
60 (1985)	28,403	1,093,505	180,502	1,515	41,000	200	1,251	11,000	1,102
61 (1986)	28,693	1,073,466	179,014	1,517	40,967	211	1,400	11,063	1,267
62 (1987)	29,763	1,135,799	198,045	1,544	42,517	245	1,729	12,609	1,704
63 (1988)	30,079	1,128,934	206,050	1,604	45,678	258	1,663	12,802	2,291
平成元 (1989)	30,481	1,042,075	205,831	1,600	46,674	273	1,673	13,442	2,124
使用資料名	製材統計	合板統計	建材統計	工業会調べ	工業会調べ	建築着工統計	住宅着工統計	公共工事着工統計	民間土木工事着工統計

注）※の欄は暦年の数値

存型に大きな転換が図られつつあるが，建材産業もそうした環境下の中にあって，90年代を規定すると考えられる前述の3つの政策目標のうち，特に国民生活のゆとりと豊かさの実現に際し，大きな影響を受けると考えられるからである。ゆとりと豊かさの実現のためには，住宅投資や社会資本の整備を着実に実行することが必要であり，この点について建材産業の果たすべき役割は極めて大きいからである。

[建材産業の変遷]

来たるべき十年間の建材産業の動向を考えるに当たっては，過去の建材産業の変遷を概観してみることが有意義である。

表－1の参考部を見ていただきたい。実質値と名目値の相違はあるが，わが国の建築土木工事量の推移をみると，概して1970年代前半（昭和48年頃）までは，建築と土木の工事量は共に比較的順調に伸びてきている。それが第一次オイルショックを契機に建築部門と民間土木部門が激減し，かろうじて公共工事によって全体の需要の急激な減少に歯止めを掛けるような事態が出現する。そして徐々に回復を見せた矢先，1970年代末（昭和54年頃）に再びオイルショックに見舞われるのである。2度目の落ち込みから再度立ち直るのにはさらに5年余を要し，1980年代も後半に入ってからであった。しかしながら，1980年代後半には，ほとんどすべての指標が力強い上昇を示す。その中で，住宅着工はさすがに需要の頭打ちのためか，ここ数年高原状態を示している。

さて建材の生産量も，大きく見るとこうした建築土木部門の工事量の推移と密接な連関をもっていることは，**表－1**からも明らかである。しかしながらそれぞれの建材の生産量の変遷を見ると，必ずしもこうした全体の工事量の推移とまったく一致しているわけではない。

建築土木の工事量とほぼ平行して動いている製品（セメント等），同様の動きは示しているものの他の用途もありその動きが緩和されているもの（鋼材等），生産量が減少傾向にあるもの（木材等），そして生産量が急速に増加しているもの（**表－2**）など，個別の建材生産量はまちまちな動きを示している。

建材産業全般の歴史を翻ってみると，1960年代から70年代にかけては好調な需要の増加を反映して

表－2　近年生産等の増加がみられる建材（例）

項目	建材生産等					
品目等 / 年（西暦〃）/ 単位	軽量気泡コンクリート製品(ALC)	乾式防火サイディング	安全ガラス	アルミニウムエクステリア品	シーリング材	硬質ウレタンフォーム
	千 m³	千 m²	千 m²	t	t	t
昭和40（1965）			3,978			1,267
41（1966）	119		5,160			1,627
42（1967）	207		7,814			2,403
43（1968）	313		10,715			4,919
44（1969）	467		13,043			9,713
45（1970）	627		15,803			15,710
46（1971）	780		16,450			19,707
47（1972）	1,184		18,842			28,288
48（1973）	1,532		22,291			38,649
49（1974）	1,172		18,475			35,473
50（1975）	1,307		20,232			32,975
51（1976）	1,507		23,440			40,835
52（1977）	1,474		25,768			43,523
53（1978）	1,665		28,482			53,611
54（1979）	2,065		32,532			62,473
55（1980）	2,093		39,767			56,339
56（1981）	1,914		39,782			55,925
57（1982）	2.047	20,103	39,563			55,550
58（1983）	2,307	23,347	43,665			62,940
59（1984）	2,618	29,150	45,331			67,232
60（1985）	2,855	36,960	49,497	63,983	54,070	71,555
61（1986）	2,885	44,271	49,590	72,908	56,330	75,225
62（1987）	3,216	53,829	48,925	79,676	62,200	85,916
63（1988）	3,703	69,019	51,403	87,297	69,950	98,916
平成元（1989）	4,061	75,429	53,928	93,442	86,901	107,345
使用資料名	窯業建材統計	窯建課調べ	窯業建材統計	窯業建材統計	窯建課調べ	化学工業統計

次々に新建材と呼ばれるものが登場し，多くのものは著しい量的成長を遂げた。しかしながら，70年代後半に本格的な需要の低迷に見舞われた建材業界は，80年代に入ると一挙に淘汰の時代を迎えた。新建材と呼ばれたもののうち，かなりのものがこの時期に衰退していった。こうした中で時代にマッチした幾つかの建材は成長を続け，確固たる地歩を築くのである。それらは消費者のニーズに合致し，施工の合理化と省力化に貢献し，高い居住性と機能性を確保し，安全で品質が均一で，規格化され，コストダウンが容易なものであった。

[90年代の建材の需要]

さて，長期に亘る景気拡大を背景にして，現在，建材産業は好調である。1987年頃より，住宅着工，建築物着工，公共工事着工，民間土木工事着工のどれもが高いレベルを維持しており，主な建材の出荷はいずれもかなり好調ということができる。また，最近の需要の旺盛さを見ると，その背景にはなにやら景気のためだけとはいえない構造的な変化もありそうである。住宅着工の先行きには幾分陰りがみえるものの，その他の指標については，今年も基調としてかなりの水準を確保すると考えられる。

結論的にいえば，1990年代を通じて，建材の需要は引続き安定的な成長を維持すると考えられる。公共工事関係は，昨年の日米構造協議の結果，10年間で430兆円の投資が行われることとなっており，需要は高い水準で推移しよう。実際，90年代は本格的な高齢化社会到来前の国土基盤整備の最後の機会といわれており，この機会を活用することは国民的課題となっている。

民間部門が幾分不透明であるが，住宅や生活など

表－3　主要な建材の出荷高

年度 / 出荷高等 / 製品名	昭和61年度 出荷金額(億円)	建築向け比率(%)	建築向け出荷金額(億円)	平成元年度 出荷金額(億円)	建築向け比率(%)	建築向け出荷金額(億円)	備考
粘土瓦（陶器瓦・いぶし瓦）	1,442	100	1,442	1,569	100	1,569	※
厚型スレート	135	100	135	152	100	152	※
長尺金属板屋根・外壁	494	100	494	790	100	790	
板金工事	10,600	100	10,600	11,526	100	11,526	
石綿スレート波板・ボード	834	100	834	983	100	983	（ボードにはサイディングを含む）
アスファルト防水材	450	100	450	650	100	650	
合成高分子ルーフィング	1,161	91	1,057	1,411	90	1,270	※
壁紙	848	100	848	1,071	100	1,071	
石膏ボード	790	100	790	1,008	100	1,008	
繊維板	779	37	288	893	40	357	
パルプセメント板	27	100	27	26	100	26	
木毛セメント板	56	100	56	143	100	143	
合板	4,870	55	2,679	9,826	58	5,700	※
特殊合板	3,584	63	2,258				
パーティション	526	100	526	1,140	100	1,140	
住宅パネル	540	100	540	1,209	100	1,209	
金属サイディング	300	100	300	300	100	300	
普通れんが	42	36	15	80	36	29	
仕上塗材	708	100	708	760	100	760	
建築石材	900	100	900	1,400	100	1,400	（材工共の指定金額）
テラゾー製品	33	100	33	28	100	28	
ＡＬＣ	893	100	893	1,267	100	1,267	
タイル	1,599	100	1,599	2,334	100	2,334	
畳床	431	100	431	472	100	472	
畳	1,320	100	1,320	1,306	100	1,306	※
体育館用鋼製床下地構成材	100	100	100	154	100	154	
金属製サッシ	11,630	100	11,630	12,002	100	12,002	
シャッター	1,300	100	1,300	1,640	100	1,640	※
メタルカーテンウォール	370	100	370	771	100	771	
木製建具	3,659	100	3,659	4,966	100	4,966	※
板ガラス	2,531	60	1,519	3,060	60	1,836	
安全ガラス	2,424	5	121	3,130	5	157	
複層ガラス	143	91	130	200	90	180	
ガラス繊維	1,494	37	553	2,021	93	1,880	
ロックウール	610	92	561	591	94	560	
セルローズファイバー	9	100	9	12	100	12	
ウレタンフォーム	309	38	117	453	41	186	
フォームスチレン	1,109	10	111	1,476	9	133	
押出発泡ポリスチレン	250	71	178	404	70	283	
セメント	9,182	3	275	7,338	2	147	
コンクリートブロック	246	100	246	275	100	275	
生コンクリート	18,990	46	8,735	19,420	52	10,135	
コンクリートポール・パイル	1,730	84	1,453	2,320	84	1,949	
プレストレストコンクリート	2,536	5	127	549	5	27	
石膏プラスター	28	100	28	23	100	23	
鋼製下地材	350	100	350	625	100	625	
エクステリア	2,000	100	2,000	1,438	100	1,438	
防腐木材	216	62	134	262	70	183	平成元年度の値は、日本建築金物工業組合推定から
建築金物	926	100	926	3,900	80	3,120	
シーリング材	370	81	300	530	100	530	※
建築ガスケット	166	100	166	220	100	220	

（注）※は歴年の値

（通商産業省窯業建材課調べ推定を含む）

の水準は国際レベルからみて概して低く，住宅などに対するニーズの高度化への欲求は依然として高いことなどを考慮に入れると，この部門の需要もある程度底堅いと考えられる。また民間設備投資も情報化の進展などを背景として，根強いものがあろう。

こうした中で建材産業に課せられた大きな役割とは，住み良い快適な生活空間を創出するという国民的課題に応えるべく，いかに良質で安価な建材を安定的に供給するかということである。

[90年代一建材産業の課題]

これまでの発展の過程で，不燃化，規格化，工法の変化などの時代の要請を背景として，色々な建材が生まれ，あるものは普及，定着し，あるものは消えていった。90年代の建材産業にとって，クリアーしなければならない課題とは一体何であろうか。

最初に，ゆとりと豊かさに対する国民のニーズの高まりをあげる必要があるであろう。これまでのわが国の経済成長を背景として，マクロ的にみて最低限の居住空間の整備は一段落したということができる。これからは，居住性をいかに高めるか，生活空間をいかに美しくするか，国民ニーズの多様化にいかに応えていくかが問われることとなる。建材も，景観性とか，美しさとか，品質の高さとかが求められるようになってくるであろう。

次にあげられるのは，施工分野，輸送分野を含む関係労働者の不足，それに高齢化である。90年代は，慢性的な人手不足の時代になると考えられている。３Ｋというようなあまり有り難くないイメージが定着してしまうようだと，建材産業の成長は大きく阻害される。自己革新によりそうした状態を打破し，人材の吸引力を大きくしていく必要性は，今後一層高まってくると考えられる。

環境保全と資源確保も重要な問題である。建材は容積が大きい。産業廃棄物などの問題を生じた場合には，その影響は深刻である。建築廃材問題解決の必要性も今後益々高まってくるであろう。これらの課題への対応も大切である。また一部の建材の材料については，資源の枯渇が心配されている。資源確保は大きな課題である。さらに断熱性の向上などにより省エネルギー問題にも対応する必要がある。

産業全般に亘る技術開発の活発化，情報化の一層の進展と，消費者のニーズの変化，流通体制の改善の要請などが相まって，建材業界においても，技術開発と情報化は，今後相当活発化すると考えられる。この点については，従来ともすれば建材業界は遅れがちであったが，最近は生産，流通の両面に亘って情報化の進展は目覚ましく，新しい建築工法の開発などとあわせて，技術開発の必要性は今後一層増加すると考えられる。

国際化も建材業界の大きな潮流となろう。建材は容積が大きく重量物でもあるため，従来輸出入の量は必ずしも大きくはないが，既にセメントやガラスでは，開発輸入を含むグローバリゼーションが進行しており，この傾向は，他の製品分野にも波及していくと考えられる。また成長性の高い日本の市場を狙って，諸外国の建材企業の日本市場への参入も本格化すると考えられる。

最後に自由競争の確保の問題がある。建材産業，建設業の流通経路は，他産業と異なる点も多いが，独占禁止法の強化という時代の流れの中で，建材産業もその遵守に力を注いでいく必要がある。

[建材産業の今後の方向]

以上のような90年代の諸課題を克服しつつ建材産業はどの様に発展するであろうか。建材産業の90年代は，以下のような方向に進むと考えられる。

安定した需要増加の環境下で，建材はその機能，美しさ，品質の安定化といった基本性能の向上を目指すこととなろう。その結果，流通面での負担を大きく増やさない範囲で，製品の差別化が進行すると考えられる。

こうした中で，他方，ユニット化，システム化，製品の規格化が一層進むと考えられる。省力化，合理化の要請は，設計から施工まで工程全体を通じた改善をもたらすこととなろう。

職場環境の改善が，現在より一層真剣に取り組まれることとなろう。時短，福利厚生施設の充実などが産業全体の大きな課題となると考えられる。技能労働者の確保策もより切実な問題として採り上げら

れることとなろうが，必ずしも満足な解決策は見出せず，省力化製品の開発が一層強く求められることとなろう。

輸送方法や輸送価格も，小口輸送を基礎とする現行のものはいずれ見直しをせまられることとなろう。

環境問題に対し，経営者は一層配慮の度合を高めることとなろう。資源確保の観点からは，建材やその原料の輸入が増大するであろう。

技術開発や情報化の進展の度合が，企業の発展をより直接的に規定することとなろう。

外国企業，特に多国籍企業または米国企業の参入が活発になるであろう。

独占禁止法の遵守が，経営者にとってより大きな比重を占めることとなろう。

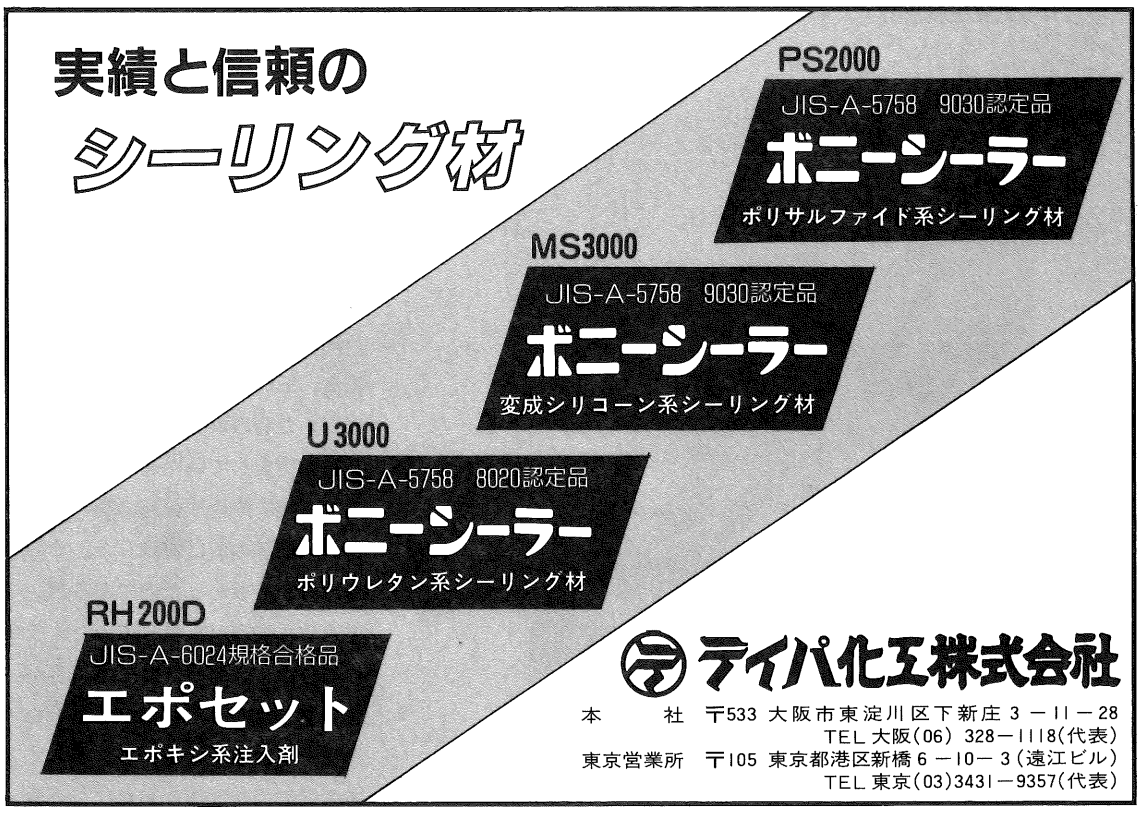
建設産業などの周辺産業との新しい関係が模索されることとなろう。

[建材産業の新たな発展によせて]

既に述べたように，戦後の復興期それに続いた高度成長期と順調に発展してきた建材産業は，第一次オイルショックの頃を境に淘汰の時代を迎え，製品間の伸長の跛行性も生じ，景気変動による浮沈をも経験し，そうした流れの中で，絶えず住環境と生活空間の向上に貢献すべく成長してきた。さらに，住宅産業の発展などにも歩みを合わせ，今や市場規模でみると出荷額ベースでは，約16兆円にも達しようとしている。

しかしながら，建材産業が90年代に新たな発展を成し遂げるためには，先に述べた諸課題をうまく克服していかなければならない。こうした問題に適切に対応することによって，わが国の建材産業も輝かしい21世紀を迎えてほしいものである。そして「ゆとりと豊かさ」に満ちた社会の実現に是非とも貢献して欲しいものである。

(通産省窯業建材課課長)



リレー随筆
その7

南国土佐の豪快磊落さの源について

—皿鉢(さはち)料理—

濱田隆人

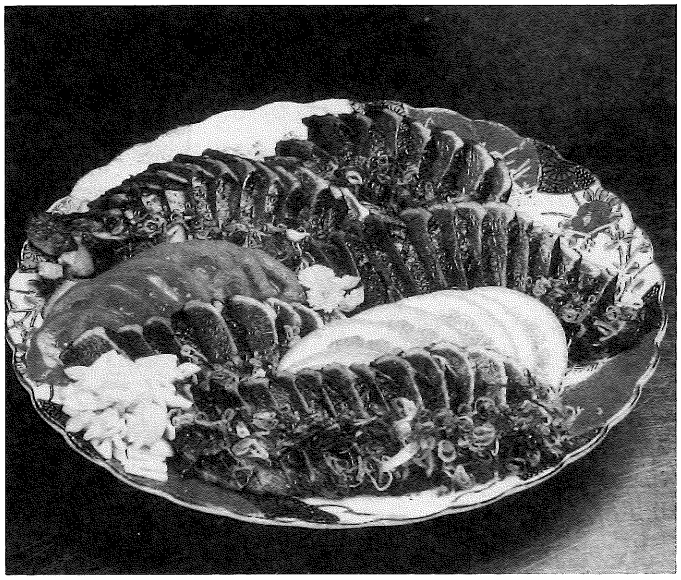
小生の夢は，シーリング関係の方々を我が郷土土佐にご招待して，共に皿鉢（さはち）料理を鱈腹食べることである。

皿鉢料理は，「坂本竜馬」，「中の浜万次郎(ジョン万次郎)」，「後藤象次郎」，「板垣退助」，「浜口雄幸」，「吉田茂」，「林譲二」等々の豪傑，人物を輩出し，「イゴッソウ」と呼ばれる気質を産み出すエネルギー源ともいえるもので，長崎の卓袱料理に似ているが，卓袱料理が中華料理を基本としているのと異なり，非常に豪快ないわば海賊風の料理である。皿鉢と称する，直径二尺から二尺五寸くらいのとてつもない大皿を，工夫細工した葉蘭で仕切り種々雑多な料理を盛り付けて出し，客人は好き勝手に別の小皿に取り分けて食べる。土佐名物『鰹の叩き』はもちろん，跳びはねんばかりの『鯛や伊勢海老の活き造り』あり『鯖や鯵の姿寿司（鯖・鯵の内臓，骨を抜いて，その中に寿司飯を詰めたもの)』あり，『昆布の巻き寿司』，『テンプラ類』，『大きなカマボコ巻き貝のパイ』それに『キントン』，『羊かん』，『ぜんざい』，『そうめん』等々，酒席の料理から日常のお惣菜料理まで，上戸下戸，老若男女を問わず至極万人向けにできている。刺身のおかわりを幾皿もし，寿司を鱈複食べながら酒を浴びるように呑むのだから，胃の方も極めて頑健となる。

皿 鉢 料 理

面白い話がある。小生が結婚する前日，県外よりの来賓を実家に招き，皿鉢料理を召し上がっていただいた時の事である。私の自慢話に期待をしていた連中は，宴席の襖が開くや否や前述の鯛の活き造りの皿鉢の前に殺到した。その時は分からなかったのであるが，どうやら最初から狙っていたようなのである。他の皿鉢の席に着かざるを得なかった者はいかにもむ無念そうな顔をしている。聞いてみると鯛の活き造りが食べられな

いのがいかにも残念だと言う。どうやら会席料理の席と混同して、自分の前の席しか食べる権利がないと思っているらしい。どの皿鉢の料理でも好きに取ってもらえればいいんだよと教えると急に元気づいた。赤や黒塗りの高価な皿鉢がズラリと並んだ威容は，エトランゼを魅了するのに充分である。また冠婚葬祭の宴席の規模の大小を比較するのにいやらしいが，小生の田舎などでは「今日のお家は皿鉢が○○枚であったが，人数の割には貧弱ぜよ」なんてことを言うのである。なんといっても好きなものを好きなだけ，気兼ねせずに食べられるのが皿鉢料理の身上である。



鰹のたたき

友人同士が集り一杯やろうというときも，家で料理を作るのは面倒と，仕出し屋に気軽に頼む（一枚8,000円程度)。最初のうちは神妙に小皿に取って食べているが，酒も適当に入ってくると，小皿を抜きにして直接皿鉢の料理を自分の箸で取るようになる。もう少しメートルが上がってくると，今度は短刀直入，いきなり手摑みでやるようになる。こうなってこそ皿鉢料理の真骨頂，同じ皿鉢を囲む者同士，文字どうり胸襟を開くのである。

桂　　浜

さて本年度も変わらぬ建築業界の活況とシーリング業界の一層の発展を期待したいものである。しかしながら国外では，湾岸戦争終結後もクェート油井の火災から原油の高騰が懸念され（この火災を消火するには2～3年の年月が必要といわれている)，国内では人手不足，物流費上昇などの課題，問題が山積みにされている。今こそ業界が一丸となって協力，相互援助を図っていかねばならぬ時期のようである。そのためにも，共に皿鉢を囲み食べかつ飲み交わし，業界発展のため語り合おうではないか。

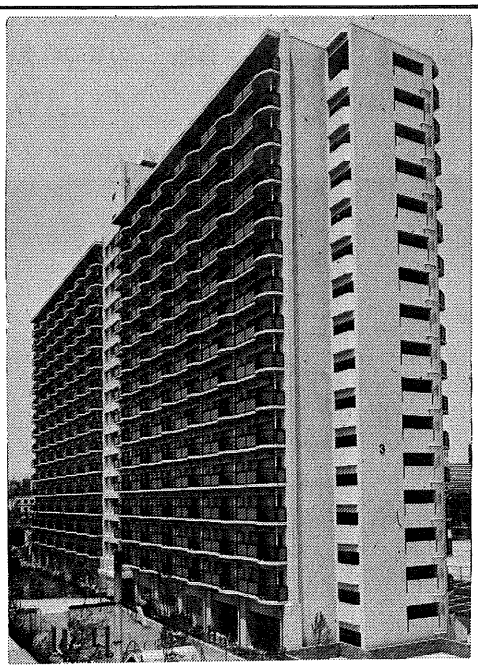
昨年はアメリカでASC国際会議が催され，また来年は京都での接着剤・シーラント国際会議の開催と我々シーリング業界も国際的な視野がますます必要となってくることは間違いないようである。小生はジョン万次郎が好きで，昨年11月29日に発会された「ジョン万次郎の会」というプライベートな会に入会しているが，今年はジョン万次郎漂流から150年目と区切りの年に当たるそうである。24歳でアメリカから帰国し国際化を訴えた万次郎と小生とは比ぶるべくもないが，彼のごとく広い視野でシーリングだけにとらわれない，建築業界全体の改革を目指していきたいものである。我が郷土土佐は，荒いが美しい太平洋とどこまでもそびえる四国山脈に囲まれた情熱的で男性的な南の国である。我々シーリング業界も，明るく情熱的な集団として伸びていこうではないか。

次は北海道の㈱北商物産，安井昭夫社長にバトンタッチいたします。

（日本シーリング工業会　非弾性系分科会リーダー，世界長㈱化成品事業部販売2部部長代行）

ジョン万次郎石碑

●屋上防水工事
●外壁防水工事
●シーリング工事



外壁補修工事業協同組合員
全国パラテックス防水工事業協同組合員
東日本建設防水協同組合員
東日本シーリング工事業協同組合員
ゴムアスファルト防水工事業協同組合員
全日本プレハブ建築防水協会会員
全国アロンコート・アロンウォール
防水工事業協同組合員

東京都知事許可　般2第36279号

株式会社 ジックス

取締役社長　出水秀夫
東京都渋谷区代々木1－30－1
TEL 03（3370）0121㈹

性質・用途	アミノキシ型 1成分形	アミノキシ型 2成分形	アミノキシ型 3成分形	酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
低モジュラス（メタル・PCカーテンウォール・土木用）	トスシール 10 ※1	トスシール 361 ※2				
一般用（ガラス・一般建材用）				トスシール 371	トスシール 380	トスシール 381 ※3
中・高モジュラス（ストラクチュラルグレイジング用）		トスシール 62		トスシール 1200		
防カビ性（バスタブ用）		トスシール 63		トスシール 73		トスシール 83
超透明（ショーケース用）				トスシール 78		
難燃性（防火区画内用）		トスシール 64				
難燃充填シール用（シリコーンフォーム）		トスシール 300				
流動性（土木用）		トスシール 67				
マスチック型（油性補修用）			トスシール 90			

※1 JIS A 5758「SR-1-10030-A-N」
※2 JIS A 5758「SR-2-10030-A-N」
※3 JIS A 5758「SR-1-9030G-A-N」
認定品　許可番号 第381142号

信頼のブランド

トスシール

各種用途に適した製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足のゆく製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコーンにご相談ください。

Toshiba SILICONE
東芝シリコーン

東芝シリコーン株式会社
本社/〒106 東京都港区六本木6-2-31
☎(03)3479-3501(代) ●支店/大阪・名古屋・静岡 ●営業所/札幌・仙台・宇都宮・熊谷・厚木・松本・金沢・広島・福岡

kaneka

建築美を支える。

変成シリコーンポリマー
カネカMSポリマー®

超高層ビルからプレハブ住宅まで、

目立たないけれど
高反応で定着しています。

▲耐久性、耐候性に優れています。
▲作業性が良好です。
▲石材、タイルなど目地周辺を汚染しません。
▲塗料の付着性が良好です。
▲超高層ビルから小住宅まで幅広い用途に使用できます。

きれいなシーリング

鐘淵化学工業株式会社
機能性樹脂事業部 液状樹脂営業部

●本　社　〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
電話：大阪(06)226-5331(ダイヤルイン)
●東京支社　〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
電話：東京(03)3479-9675(ダイヤルイン)

当工業会では先頃行なった第14回シーリング管理士試験および第12回シーリング技術管理士の合格者を決定，上位合格者それぞれ５名は５月17日の総会で表彰される。

結果内容は，シーリング管理士については受講者59名が受験，うち合格者46名(合格率78%)，シーリング技術管理士については90名が受験，うち合格者が76名（同84%）となっている。

今回の試験は，静岡県田方郡函南町の生産性研修会館で１月25日から29日までの５日間にわたって実施されたシーリング管理士および技術管理士の検定講習会を経て，第５日目の29日に行なわれた。

講習内容は例年の建築一般知識，図面の見方，目地設計，施工技術，安全管理，材料，保証，積算などに加え，特別講演として「JIS 改正案の解説」が行なわれた。

これらの知識を実際の現場で有効に活かせる技術者の養成を目的としているため，資格判定基準もかなり厳しいが，現場監理者および技術管理者資格に対する認識の高まりから，毎年受験者は増加しており，前回に続き今回も申し込み時点で既に定員をオーバーした。なお，管理士，技術管理士の平均合格率は82%だった。

今回の合格発表で現在の有資格者は，シーリング管理士が404名，シーリング技術管理士が597名となった。

シーリング管理士・技術管理士合格者上位５名

シーリング管理士	シーリング技術管理士
操　上　悦　郎 (㈱マサル)	古　屋　　博 (横浜ゴム㈱)
吉　岡　諒　伍 (クリステル工業㈱)	矢　口　義　之 (オート化学工業㈱)
山　崎　栄　一　郎 (㈱マサル)	池　田　明　紀 (ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱)
馬　場　　弘 (中央建材工業㈱)	芳　賀　康　宏 (横浜ゴム㈱)
水　上　拓　哉 (理建工業㈱)	松　尾　一　臣 (ミサワセラミックケミカル㈱)

シーリング管理士合格者名簿(46名)

馬場弘　中央建材㈱	畑中豊　日本化成工業㈱	宇山広之　山栄興産㈱
恵良泰之　〃	大滝徹　㈱三国	矢吹広史　㈱トーホー・テクニカ
稲垣晃　〃	斎藤勇樹　熊谷興業㈱	本澤和雄　〃
村瀬守　ムラセ工業㈱	大森譲　㈲東北シール工業	簗田耕一　〃
古山広志　㈲フルヤマズ・コーキング	三村雄三　㈱天草シール	青山好一　㈱マサル
	田口敏夫　㈱東光商会	操上悦郎　〃
加藤勇夫　㈲名西商会	上野幸二　宝シール㈱	根立和彦　〃
五十住健二　㈲山本コーキング	加瀬治男　㈱東洋防水	山崎栄一郎　〃
幸島健二　〃	向井正　〃	小井土英樹　理建工業㈱
中川恵司　㈲坂口工業所	薮田眞信　㈱大阪シール	北野喜文　〃
上原勇　㈲睦シーリング工業	黒木徹　㈲クロキ工業	水上拓哉　〃
黒坂和豊　㈲東亜シール	安井久博　函館イーシー工業㈱	田尻斌弘　タイガー工業㈱
久光雅之　㈱久光商会	水島晴美　〃	佐藤勝美　㈱アートシーリング
繁田康博　㈲三信工業	宮沢浩二　中林産業工販㈱	吉岡諒伍　クリステル工業㈱
小玉文士夫　三大工業㈱	原田敏　㈱大協建材	工藤幸男　㈱藤光
本郷建夫　日本化成工業㈱	和田洋　光栄工業㈱	

シーリング技術管理士合格者名簿(76名)

森本武史　コニシ㈱	武藤正裕　ダイイチ	永田浩光　〃
大山啓一　〃	萩原一男　鐘淵化学工業㈱	鈴木誠　〃
松尾一臣　ミサワセラミックケミカル㈱	藤田雅幸　〃	野田浩正　〃
岸本準　モリシタ化学産業㈱	泉勇太郎　化研マテリアル㈱	泉烈男　〃
平安国男　㈱日本板硝子東海グレージング	斎藤栄治　〃	広瀬賢一　岡島トーヨーサッシ工業㈱
加世敏雄　フヨー㈱	熊田博幸　〃	池田剛志　松戸トーヨーサッシ工業㈱
中牟田修　テイパ化工㈱	斎藤利彦　ヨコハマゴム工業品中部販売㈱	河内順二　サンスター技研㈱
藤原良次　〃		志賀真也　〃
金坂康司　〃	池田明紀　ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱	中井実　〃
外山昭夫　セメダイン㈱		堤基徳　〃
宅哲郎　サンライズメイセイ㈱	中井義徳　〃	畑中了　〃
丸山均　〃	野口幸信　ヨコハマゴム工業品九州販売㈱	加藤秀哉　〃
山下正志　日本シーカ㈱		高橋紀行　〃
飯島宏義　東芝シリコーン㈱	米田隆典　ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	関隆規　〃
渡辺純一郎　〃		本多郁夫　世界長㈱
松岡春光　〃	稲井克久　〃	松本剛　〃
森勝美　〃	古屋博　横浜ゴム㈱	岡林正剛　〃
米沢正流　〃	石井伸一　〃	竹島康永　〃
井上浩二　〃	芳賀康宏　〃	田向正行　三洋工業㈱
飯田恭之　〃	岡谷晃　YKKアーキテクチュアルプロダクツ㈱	山口時弘　信越化学工業㈱
矢口義之　オート化学工業㈱	桜井隆　〃	粟田和宏　〃
鈴木博　〃	斎藤俊彦　〃	所克成　日立化成ポリマー㈱
岡島光洋　東レチオコール㈱	小村匡正　中国 YKK 工業㈱	立畑茂樹　〃
神山光司　昭石化工㈱	阿部鉄勝　奥羽 YKK 工業㈱	浦田聡　〃
田村富夫　〃	石川勝巳　吉田工業㈱	新開基晴　㈲木村硝子工務店
三浦洋喜　保土谷建材工業㈱	宮島俊信　〃	町口敏之　栄光産業
小池俊哉　平山建材㈱	鈴木章芳　トーヨーサッシ㈱	

シーリング管理士

このテストを ナメるな！

㈱マサル　操上　悦郎

これから，シーリング管理士，シーリング技術管理士を受験される方々に忠告したいと思います。

「このテストをナメると痛い目に合います。」

私は，このテストのために，あたかも受験生の様な（こんなに勉強したのは何年ぶりだろうか）生活を3～4日間味わい，頭のネジが飛ぶ音を何回も聞くことを余儀無くされました。普段あまり頭を使っていない私にとっては苦しい5日間でした。

正直なところ，サイディングのところでかなりまちがってしまったので，こんなに良い成績で合格できるとは思っていませんでした。

講習中は，自習の時間があまり取れないので，講義の間の集中力が得点につながると思います。また講習中に悪友を作ったり，同じ会社の悪友がいたりすると，酒の量がふえ，自習の時間が減りますので誘惑に弱い人は心してかかったほうが良いと思います。幸いにして，私は同室となった人が勉強家だったので，雰囲気に流され勉強することができました。

私の仕事は，改修工事が主な仕事であり，シーリング工事は実質の仕事の半分程度かそれ以下の割合だと思います。改修工事をして，気が付くことは，シーリング材が何らかの支障をきたしている場合，新築工事の段階での目地納り等の検討不足によるものが結構あるということです。

今回の講習で，勉強したことが十分に現場に行き届けば，シーリング材の故障はかなり防げると思います。難しいことだとは思いますが，現場での実行が，シーリング業界全体のレベルアップにつながるものと考えます。

今後の希望として，是非とも，シーリングの故障例などをスライドなどで紹介して，それが，なぜ故障したかを考えさせるような講義をして頂ければと思います。

最後に，丁寧に御指導頂きました諸先生方に心より感謝の意を表したいと思います。

シーリング管理士

この知識を実践に

㈱マサル　山崎　栄一郎

今回シーリング管理士講習会に参加し，有意義な生活を送る事ができ又，幸いにも合格できた事を関係者各位に深く感謝致します。

毎年，当社の諸先輩が管理士講習を受講していまして，そろそろ私の順番だと思ってはいましたが時間はたっぷりあり気楽に考え，そうこうするうちに，研修の当日を迎えてしまいました。このような気持ちで受講し，また7・8年ぶりの研修と科目が多いことで，『また来年も受講か』と，不安になったり，この5日間はたいへん疲れました。

常日頃，シーリング材の知識を深めればよりよいシーリング防水工事ができると考えていた私に，その他の分野との関係もまた，一つの重要な要因となり，それらを十分考慮しつつシーリング材について考える必要性を再度認識させられました。一方，関連分野の知識を得るためには「どうすれば」と考えると独力もあるけれども，日常では，知識を吸収する『方法・時間・研修』も限られている為に，この分野の知識を深めるシステム作り，機会を増していただきたいと思いました。

また，昨今建物の外装仕上げも多種多様になりシーリング材に要求される，性能・意匠等も多様化し，それ故に，我々施工店及びメーカー等に求められる内容も高くより実践的なものが多い。また管理士と技術管理士に求められているものに違いがある為，

それらを区別した内容も必要かと感じ，例えば，管理士には（どのような施工を行なうか，コストはどうなるか等々）実践的な施工ポイントに実例等を題材とし，基本的知識を織り込んだ技術指導カリキュラムも必要と考えました。

この５日間で，私自身の知識等を顧みる事ができ，またシーリング材だけにとらわれずに，幅広く視野を広げる必要性を思い，これを契機に一層努力していきたいと思います。

シーリング管理士

「シーリング管理士」研修を終えて

理建工業㈱　水上　拓哉

４泊５日の研修中，毎日毎日が勉強で，久しぶりに時間の長さを感じました。私が合格した理由は，学校卒業後間もなく，単にテストに慣れていたというだけのことであります。私自身，まだまだシーリングに関する知識は浅すぎますので，シーリング業界に入りたてのこの人間が，今後のシーリング業界にどのような希望を持っているかという点で私の率直なる意見を書いてみます。

資格試験の意味はただ一つ。その資格を持っていて，どのようなメリットがあるかということ。まだまだこの業界自体，歴史が浅く，それにも増してシーリング管理士の歴史は浅い訳です。すでに全国に何百人かのシーリング管理士がおられます。その人たちは，この資格を何に利用しているのでしょうか。ゼネコン，サッシ・ガラス業者，いわゆる私共の顧客は，この資格の存在を知っているのでしょうか。さらに管理士の試験が13課目にも渡って，また広範囲に物事を理解して始めて合格できるものであることを知っているでしょうか。まずこれからの課題として，シーリング管理士資格の存在をアピールすることが大切であると思います。

具体的に当社では，見積書に「当見積はシーリング管理士のいる当社への御発注をお願いします。」と入れて存在アピールをしております。これは一例でありますが，全国的にシーリング管理士の存在をアピールしてこそ業界のさらなる発展が望めると思います。全国にあるそれぞれのシーリング工事業協同組合の組織の協力で，シーリング管理士の地位を向上させていかなければならないと考えております。地位が上れば必然的に試験も難しくなり，受験者はさらに知識をつけなければなりませんし，業界の質も上がります。よく現場へ行くと，出面表に油性マジックインキで電工何名，鉄筋工何名，大工何名などと書かれており，シール工何名は，水性マジックインキでいつでも消せるようになっています。あれを見る度に，シールはまだまだ重要視されていない感がします。

管理士の存在アピールによって，シールの重要性をもっと訴えていかなければならないと思います。

最後に，今回の研修において熱心な御指導をいただきました講師ならびに関係者各位に厚く御礼申し上げます。

シーリング技術管理士

日常業務への活用が重要

横浜ゴム㈱　古屋　博

私はシーリング材の販売という業務に携わっておりますが，今までシーリング材というものに関して系統的な勉強をする機会は，ほとんどありませんでした。このような私にとって今回の研修，試験は，短期間で広汎な知識を得られたという意味で，たいへん有意義なものでした。しかも予想外の成績で合格させて頂き，熱心に指導してくださった講師の方々にあらためて，お礼申し上げます。

今後の抱負としましては，今回得た知識を自分な

りに消化し，日常の業務に生かしていくことが重要だと考えております。シーリング材は“なまもの”であるという性格上，マニュアル通り，通り一辺には，考えにくいものだと痛感しております。したがって，ただ知識を持っていても，それを実際に応用するとなるとなかなか難しいと思います。そういった意味で今回の講習で得た広い分野にわたる知識をベースに，それを応用できるよう，自分なりに肉づけしていくことが大切だと感じています。

最後に今回の研修について私なりに感じた問題点についてですが，短時間で多くの科目をこなさなくてはならないという時間的な制約もあるのでしょうが，試験に受かるための講義という印象が残りました。試験に合格することが一大目的であったことを考えますと，ありがたいことではありましたが，もう少し具体的なもの，例えばシーリング材のはく離事故などに関して，実例なども含めて話していただきたかった部分もありました。

シーリング技術管理士

「シーリング技術管理士」試験を受けて

オート化学工業㈱　矢口　義之

私は，オート化学工業㈱に入社し６年目を迎えた研究スタッフの一員です。当初は電気絶縁塗料の開発を担当していましたが，その後防水材関係のグループに移り，現在はシーリング材などの改良，開発に従事しています。

シーリング材関連の仕事をしていますと，実際の施工現場に出向く機会も次第に多くなり，それと同時にディーラーの方や工事業者の方々と接する回数も増え，教えていただく事の多さと自分の知識の無さを痛感していました。

そんな時に，会社の上司や諸先輩方から「シーリング技術管理士」という試験があり，大変価値のあるものだと伺い，現在の自分にふさわしく，今後，開発関係の仕事をして行く上で，たいへん役に立つと思い受験致しました。

初めは，講習の内容も豊富でかなりハードだというイメージを持っていましたが，受験にこられたのは日ごろいろいろな方面でシーリング材に携っている方々であり，その方々の仕事一つ一つが，シーリング工事業にとって重要な役割を持っていることを認識することができ，講習は大変有意義なものでした。

また，講習の内容も大変充実したもので，今までとは違った角度からシーリング材を捉えることが出来るようになったと思います。

上に述べたように，今回の試験を通じ，専門的な知識だけでなく，その他にも得たものが多かったように思います。

今後は，この経験を日々の仕事の中に生かし，これからの飛躍につながるよう，また少しでもシーリング業界の発展のお役に立てるよう努力して行きたいと思っています。

最後に，この試験に当り，いろいろとご尽力をつくされたシーリング工業会の皆様方に心からお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

シーリング技術管理士

一日も早く国家資格に

ヨコハマゴム工業品
北海道販売㈱　池田　明紀

シーリング技術管理士のテキストが送られて，まず驚いたのはその課目の多さでした。そして，同封されていた書類には，当日会場で質問できるように，事前に準備するようにというような文章があり，二度の驚きとともに，私の受験勉強が始まりました。といっても，気があせるばかりで，あっという間に１ヶ月が過ぎ，２ヶ月が過ぎ，正月休暇に入ってし

まい，頭の片隅には，やらなければという荷物をかかえながら過ごす結果となりました。そして函南での研修。ここでは，勉強するしかないというすばらしい環境。そして参加された皆さんの夜の自習時間の頑張りに促され，何年ぶりかで，真剣に勉強というものに取り組みました。こんな状況で，運にも恵まれ無事試験にパスすることができたので，大いに喜んでおります。

今回の講習を受け，以前より，様々な場面で直面する客先との交渉において，柔軟な対応ができるようになったと思います。まだ，シーリングに関しては，ほんの初歩をかじった程度だと思いますが，講習で得た知識を糧に，今後の販売活動のレベル向上に務めたいと思います。「シーリング技術管理士」の名に恥じぬよう努力する所存であります。

最後になりますが，この資格が，プライベイトライセンスから，一日も早く国家資格になるのを願っております。

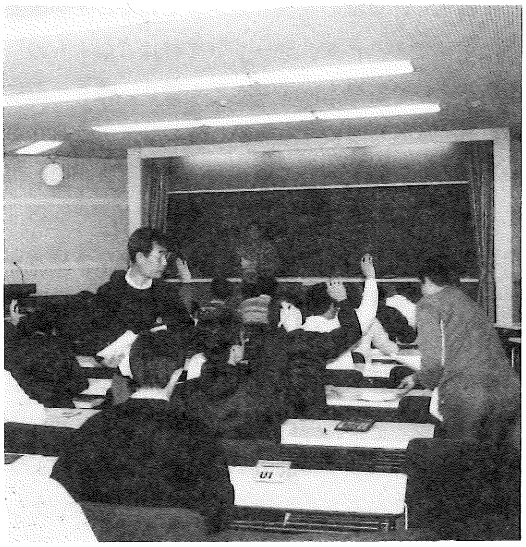
シーリング技術管理士

「魔法の水」のおかげで

横浜ゴム㈱　芳賀　康宏

このたび，シーリング技術管理士に合格させていただきまして，ほっとしています。講習会前日，シーリング材課長に，必ず合格するという代々伝わる「魔法の水」によって洗礼を受け送り出されましたが，過去の問題集を見る限り，知らない用語ばかりで，恐れおののいておりました。

そんな心配をよそに，生産性研修会館では，強化ガラスなどを目の前で割ってくださった熱心な講師の方や，試験にでる傾向を教えてくださる合理的な講師の方々のお蔭で，短期間にたくさんの知識を解りやすく習得することができました。特に建築の基礎知識，外壁の種類，被着体，保証問題等，技術者



として不可欠な知識を習得できたこと，また，メーカー，設計，施工の一連の流れの体制を理解できたことは，非常に有意義であったと思います。そして今回得た知識，興味を持った分野に対して，勉強しさらに見識を広げ，今後の実務に生かしたいと考えております。

なお講義の内容が盛りだくさんで，初めて接する語句等もあって，講義の後に勉強する時間が足りないと感じられましたので，もう少し余裕のある日程を配慮して頂ければ今後の受験者も勉強しやすいと思います。

最後に，睡眠不足と風邪と上司の重圧でつらい5日間でしたが，貴重な体験でした。講師及び関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

シーリング技術管理士

シーリングについて

ミサワセラミックケミカル㈱　松岡　一臣

この度，シーリング技術管理士の講習および検定を受けて，改めてシーリングの重要性を認識いたし

ました。

建築物は多くの素材，部材から構成されている工業製品で，どの素材，部材が欠けていても建築物を構成できません。ですから，建築全体の品質や耐久性は，最も弱い素材や部材の品質や耐久性によって，決定されてしまうことになります。

もし，コンクリートが10年で強度低下するならば，その建物も10年しか持たないことになりますし，シーリングが3年でおかしくなれば，建物も3年の寿命となります。建築のような野ざらしの状態で，部材の初期の性能を変わることなく維持することは不可能に近いことです。したがって，シーリング工事におきましてもシーリングの選定から，施工保証まで十分な管理や体制が要求されるのは当然のことと思います。

シーリングの性質をよく理解したうえ，経済性まで含めた要求性能を満たし，さらに，5年，10年の耐久性を保証していかねばならないシーリング業界の置かれた立場がよく理解できました。

最後に講習会についてですが，やや専門的かも知れませんが，シリコーンシーリング材のうえになぜほかのシーリング材が打ち接げないのか，シリコーンシーリングで石材が変色するのはなぜなのか，などの基本的な理由を加味していただければ，単なる暗記でなく知識として残ると思われます。また硬化したシーリング材の見分け方は補修工事の際に大切なことですが系統的な見分け方など無いものでしょうか。講習会の一助になればと思い付け加えました。

今後のシーリング工業会のますますの発展をお祈り申し上げます。

関シ協・竹田理事長，中部シ協・小川理事長に聞く
『日本シーリング㈱』の一員として

聞き手・小林茂之（日本シーリング工業会
広報委員長）
河端次彦（同広報委員）

小川雅也氏プロフィール

株式会社志水化工代表取締役
昭和13年１月15日，東京都生まれ。
現住所：名古屋市
家　族：奥さんと三女
趣　味：射撃，釣り，ゴルフ，麻雀

竹田晋吾氏プロフィール

株式会社大阪シール代表取締役
昭和16年１月31日，大阪府生まれ。
現住所：大阪府
家　族：奥さんと一男二女
趣　味：ゴルフ，音楽鑑賞，読書

小林　本日はお忙しいところ，わざわざご足労をいただきましてありがとうございました。前回，東日本シーリング工事業協同組合の水上理事長と対談いたしましたが，本日は関西シーリング工事業協同組合の竹田理事長と中部シーリング工事業協同組合の小川理事長に，協同組合の活動の状況・抱負，また日本シーリング工業会に対するご質問などがありましたら，忌憚のない形で進めていきたいと思います。まず，関シ協の竹田理事長の方から今後のシーリング業界全般の抱負，今後の動向等，関シ協のお考えをお聞かせ下さい。

竹田　今後の展望を考えるとき，20年前から10年前までの10年間と，10年前から現在までの建設業界における変化のスピードが，かなり加速度的に変わってきてますね。ですから建設業界全体は勿論，シーリング業界の10年先を予想するのは非常に難しいと考えています。

小林　21世紀に向けてはなかなか難しいと……？

竹田　そうです。しかしシーリング業界の５年先

迄ならまだまだ伸長・発展していくと言っていいかと思います。ただ土地事情の関係で大型化，高層化がだんだん進むでしょう。そうなった場合，格差がはっきり出てくると思います。

小林　格差と言うと……？

竹田　工事店同志の受注状況です。着工床面積は変わらなくとも，現場の件数が減ってきます。これが懸念材料です。これから１年，２年先の受注状況を見ても，そういう傾向ははっきりとしております。今でも若干の格差が出ている様なこともチラホラ耳に入っています。

小林　組合員同士の中での格差が出てくるであろうということですね。

竹田　組合員同志というよりも，組合員と非組合員との間でと考えたいですね。

小林　言葉は不適ですが，淘汰されるということもあるわけですか。

竹田　そうは思いたくないですが，その前にまた価格競争が始まる恐れもあるわけです。淘汰という言葉は使いたくないですね。

河端　格差というのは大手GC（ゼネコン）との系列化的なものなのか，あるいは技術レベルの格差や人手の所有の格差など，いろいろなものが考えられるのですが，そのあたりはどうですか？

竹田　すべてでしょうね，いろんな意味で。やはり大手に入るにはそれなりに人の数も必要ですし。

女性雇用を前向きに

小林　なるほど，続いて中シ協の小川理事長，現在の抱負，展望をお聞かせ下さい。

小川　わたしも竹田さんと同じようなことを最近痛切に感じています。それともう１つは，これだけ１つの工事物件が大型化してきますと，今まで大手の防水屋さんが契約され，シーリング屋さんが下請けをするという傾向にあったわけですね。だいたいこれが多いと思うのです。これは大阪でもそうだろうと思います。けれどもそれが，だんだんとなくなってくるのではなかろうかと思うのです。ですから直請けというのか，場合によっては独自の営業活動

小川雅也氏

が徐々に増えていくのではないかと思います。

小林　専門業化ということですか。

小川　そうです，専門者ですね。今まで防水屋さんの下請けが多いと思うのですが，やはりここにきて大型化されてきますと，責任の所在，また保証という問題にも関連してくると思います。そうなりますと，人に取ってもらったものを保証なんて馬鹿々々しいと，施工する会社がなくなってくるのではないかと思います。

小林　なるほど，孫請けですとね。

小川　そうです。今まではシーリングというものをそう重要視して見ないケースが多かったと思うのです。しかし人手不足ですから，当然作られたものを現場に持ってきて張り付ける工法が増えてくると，やはり一物件のシーリングはどんどん増えてきますね。ですから当然施工技術もさることながら，われわれ自体も直接契約が増えてくるのではないでしょうか。ですから今後仕事が増えていくという中で，お互いに肩を組み合いながらいかないといけない時が多々あるのではないかと思うのです。

小林　その他に何かお考えになっていることはありますか？

小川　若い人を育てるという意味で，雇用制度の問題と休み日数，１日いくらという給与体系の問題等を考えなければなりません。特に休日がないというのは大問題だと思うのです。うちの若い人で，同じ二十歳代でも，前半と後半では休日に関する全く違う考えを持っています。頭を悩ますことがあります。

河端　そう言えば小川理事長は，「シールエージ」

の年頭の挨拶の中で，女性の雇用の問題を書いておられますね。

小川　そのとおりです。うちでも女性を募集しているんです。しかし『シーリング』という言葉をみなさんがわかっていらっしゃらないですね。まず職業安定所でもわかっていないですね。シーリングという言葉は印刷屋さんだと思われているのですね。

一同　(笑)

小川　当社は今，女性雑誌に載せて募集をしているのですが，なかなか応募が無いですね。あったら1人でも入れたいところです。やはり女性を入れて……

小林　職人としてですか？

小川　職人としてです。若者の意欲を活性化させねばいけないと思っています。われわれシーリング業界にも女性に進出してもらいたいものです。

河端　確かに今オペレーターは女性が進出してきていますね。

材・販・工の展望

小林　さて両理事長の現在から将来に向けての展望をお聞きしてきたわけですが，ここで話題を変えて言葉としてよく出る「材・販・工」ですが，両理事長に材・販・工三位一体とは何かということをお聞きしたいと思います。

小川　材・販・工は昔から言われていますが，本当に材・販・工になっているのかと思います。というのは，メーカーさんから販売店さんに渡る，販売店さんからわれわれの手に渡ってくる時にですね，もうやたらどこでも構わず売れれば売ってしまおうというケースが非常に多いのではないかと思うのです。

小林　販売店が？

小川　販売店，そしてメーカーも一緒になってです。当然ですが，それが材料単価にも影響し，伸び悩んでいる1つの原因ではないかと思うのです。どこでも買えるから，誰でもできるから。ましてや技能士という制度があっても，それを持たなくても誰でも仕事ができますよということです。ガン1丁と

竹田晋吾氏

車1台，それでもってやっていけるからいろんな問題が起きるのではないかと。

小林　業者が増えすぎるということですか？

小川　はい。業者が増えても構わないとは思うのですが，やはり節操ない売り方をされるとね，施工者の方も節操のないやり方をするのですね。ですからその辺が三位一体というのが，噛み合ってないのではないかとね。

河端　今の増えすぎるというのは，たとえば組合から見ればアウトサイダーが増えすぎるということですか？

小川　アウトサイダーが増えるというのではなく，材料屋さん，ディーラーさんが，材料を現場に搬入すると，そこでちょっと口の聞ける職人あたりに「儲りますか？独立したらどうですか？独立するのなら材料は売りますよ」と囁くスタイルが結構出てきているみたいですね。中部あたりではよく耳にします。その職人はいつでも独立ができるという体制なわけですね。そういう節操のない売り方をされると非常に三位一体というのは名ばかりではないかということになるわけです。関西の方はどうかわかりませんが。

小林　竹田理事長も同じようなご意見ですか？

竹田　根本的には全く同感です。ただ材・販・工，利害相反するものではないわけですから，利害は一致するわけでしょ。そういう意識を材・販・工が持つようにしたいですね。こういう考え方からスタートしなければ，まず三位一体など不可能ですね。ですから，『日本シーリング株式会社』の一員として，メーカーさんは材料製造部門を，ディーラーさんは

販売部門を，われわれは工事の部門を担当しているんだという位の気持ちにならねば三位一体は無理ですね。それと私はメーカーさんにもっと力を持ってもらって，業界のイニシャチブをとってもらいたいと前から言っております。我々関シ協の力の及ぶのは組合員50社だけ。これに倍するといわれる非組合員には全く無力なわけです。しかし非組合員も日シ工会員の材料を使っているわけですから，メーカーさんは業界全体に影響力を持つといえるかと思います。そういう意味でも強烈なリーダーシップをとってもらいたいと思っているわけです。

河端　メーカーが力を持つということは，大型物件の指定をいただくとか，コネクションをつたってなんとか入り込むとかの意味の力でなく，たとえば安売りをするなとかいう意味ですか？

竹田　そのとおりです。私，何かの会合の挨拶で，諸悪の根源はメーカーにあると言いましたが，とにかく材料をわれわれに安く提供する。これは決してサービスではないんですよと前々から言っているんです。しかしメーカーさんはそれをサービスと思っているし，同業他社の競争にやぶれないためにはやむをえないかもしれませんが，業界の発展のためには何のプラスにもなっていませんね。マイナスでこそあれ。メーカーさんにリーダーシップを取れというのはそういう意味です。材料を工事屋に安く売っても誰も得をしないと，マイナスしかないんだと。われわれが安く仕入れて安く仕事をしたら同じことですから。

小林　そうです。だから工事屋さんもそうですし，流通もマージンが少なくなるし，メーカーも蔵出しは安くなるしね。だから適正価格を維持していけば，それぞれが適正なマージンを得ることができるわけですね。

竹田　そういうことです。この業界はわれわれが施主さんなりお得意さんからもらってくるパイを材・販・工でどういうふうに分けるかしかないわけです。これが小さければ，どこも潤うところがないわけですね。ですからメーカーさんも，ディーラーさんも，われわれも，いかにわれわれの材工単価の適正を計るかを全員で真剣に考えることが一番だと思います。

どうする３Ｋの解消

小林　メーカーも重々気をつけねばならぬ問題だと思います。お互いに本日流通の方はいませんけれど，流通の方も誌面を読まれて意のあるところを汲んでいただければと思います。次に，今日建築業界で特に大きな問題となっている３Ｋ，また人手不足，職人さんの高齢化，時短，休日，賃金などいろいろな問題を，組合の理事長としてどのように考えているのかをお聞かせ願いたいと思うのですが。

竹田　人手不足という大きな問題を解決するには，我々の世代の人間が，今は時短，週休２日の時代なんだと素直に認識することが大事だと思います。次に若者の考え方を理解しようとする柔軟な姿勢が必要になってくると思います。例えば休日の問題一つ取り上げても，今迄は雨が降れば仕事は休み。これも休日とみなしておりましたが，これからはそれでは駄目でしょうね。休日とは前もってその日が決っており，その日に向けて予定や計画が立てられる。例えば彼女とデートの約束が出来る。次の連休にはスキーに行こうとかね。今の若者の休日はこうでなかったらいけないみたいですね。この間雨で休んだから次の日曜日は仕事をしろでは若者はついてこないですね。休日一つ取り上げてもこれだけ大幅な頭の切り替えが必要になってくると思います。

小林　考え方の切り替え。

竹田　そう，わたしなんか本当に古いタイプの建設人ですから，わたしが入った当時の月に第１，第３日曜しか休みのない時代でしたから，今だにそれで充分だという考えを持っていますが，それでは絶対もうだめですからね。

小林　たとえば今日一日，ここまで仕上げねばならんとなれば，夜８時になろうが，９時になろうが最後までやってしまうというのが昔はありましたからね。

竹田　それが当たり前でしたからね。しかしそういうことを言っているようではだめですね。経営者としては，この人手不足という問題に関しては，ま

ずそういう感覚を捨てることが第一でしょうね。次に問題になるのが３Ｋでしょうが，わたしの友人が大阪の鳶土工組合の副理事長をやっているんですが，彼いわく，「われわれは一生懸命３Ｋを直そうと努力してきた。しかし無理や。それならいっそ３Ｋはそのままにして高賃金で職人を入れる方が簡単や」と，そこまで極論しているわけですね。もちろんGC自体も我々下請けも３Ｋを直そうと努力をしています。しかし世間一般の先入観念とかね，そういうものまでぬぐい去るにはまだまだ時間がかかるとわたしは思います。たとえば足場にしても10年前，20年前よりも比較にならない位安全になっておりますし，現場の安全管理も相当厳しくなっております。だから３Ｋのうちの危険に関しては，前から比べれば数段進歩しているわけですが，それでもまだ，やっぱり３Ｋ３Ｋと言われているわけです。建設業界も加速度的に発展していくでしょうから，たとえば５年先，10年先には，建設現場は家の中で寝ているのと同じ位安全ですよという時代がくるかもしれません。その時に果して３Ｋが２Ｋになっているのかどうか難しい問題だと思いますね。そして最後に出てくるのがやはり賃金の問題でしょうね。これをGCさんがどれほど考えておられるか，時短によって各現場で働いている人達の収入が減るであろう。だからこれだけ上積みしなければいけないと，そういう考え方になってくれるかどうかですね。特にわたしが問題にしているのは40代位からの職人さんです。一番家庭に金がかかる，子供に金がかかるこの年代の職人さん。ましてや現場で事故を起こしたら収入のとだえる身ですから。内容的に保険から何から，皆自分でやっているわけですから，たとえば５～６人の子方を連れている親方が，年収１千万あってもおかしくないと思いますよ。40代になって。

小林　小川理事長はいかがですか？

小川　たとえば昔は汚い仕事，今の３Ｋの仕事をやっている人は，監督さんよりも高賃金だった。今は，ネクタイを締めている方が高いわけです。それがもう間違いだと思うのですね。やはり汚いことをやる人が少なくなってきているわけですから，その人に余分に払うことは当たり前だと。そこでわれわれ中部の人達を見ると，給料制度が非常に多くなってきて，今言った日給いくらというのは減ってきています。われわれの組合員の中には，「年間あなたはいくらですよ」という言い方で雇用しているというケースもあります。最近これが増えていますね。

小林茂之氏

河端　中シ協では給料制にしているところが多いのですか？

小川　だんだん増えてきましたね。自分でやると保険も払わねばならない，厚生年金とか何だと払わねばならないではないかという人がいます。同じ業界にいながら，１日いくらでやっている連中に３年間は収入で負けるけれど(手取りの違いから)，そのかわり４年目になったら必ず勝つなんて言ってます。中部では何件か給料制度の会社が増えているように聞いています。

河端　関シ協ではどうですか？

竹田　給料制ですか，あるようですがそう多くはないですね。

河端　請負制がほとんどですか？

竹田　そうですね。

日シ工へもの申す

小林　ありがとうございました。次に質問の内容が重複するかもしれませんが，施工者サイドから見たシーリングメーカー，また工業会に対する要望があればうかがいたいのですが。先ほど，竹田理事長の方から諸悪の根源はメーカーと（笑）いう話もあり，その一言につきるかもしれませんが（笑）

小川　メーカーさんはいかに未完成のものを売っ

ているかということを必ず頭に入れてほしいということです。

小林　半製品を。

小川　そうです，半製品を。それを製品にするには工事屋の手を借りているんだということを必ず頭に入れておいてもらいたいということです。

小林　竹田理事長の方，何かありますか？

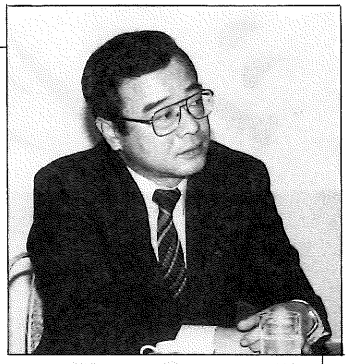
竹田　シーリング材メーカーさんには言いつくしました（笑）。ただ１つ工業会さんに言いたいのが，本部と各支部との落差が大きすぎるような気がするということです。もう少し各支部に権限というか，もっと活性化を図るようにしていただかないとただそこにあるだけという感じが強いですね。あまりにも本部がやっておられることが立派ですから。

河端　たとえば，大阪支部があるけれども，単なる懇親の場でしかないと？

竹田　そういう印象が強かったですね。ところが悪いことばかり言いましたが，去年あたりからかなり変わってきたなという印象をわたしは持ってきています。うれしいことに日シ工さんの音頭取りで，材・販・工の市場懇談会というのができましたね。わたしはこれは先程の三位一体の精神からも非常にいいことだと思います。業界の共通の問題点を全員で力を合わせて解決していこうという場を作ってくれたのは非常にありがたいと思っています。ですから先ほど言ったのは今までですよ（笑）

業界運営は三位一体で

小林　さて最後にわれわれシーリング業界は21世紀に向いどうあるべきかということをお聞きしたいのですが。小川理事長から。



河端次彦氏

小川　今，１級，２級という制度がありますよね，技能士の。制度ができた以上，どんどん生み出さねばならないというのは事実なんですが，地域によって技能の差があるのではと思うのですが。

河端　受入側は同一に見ますからね。

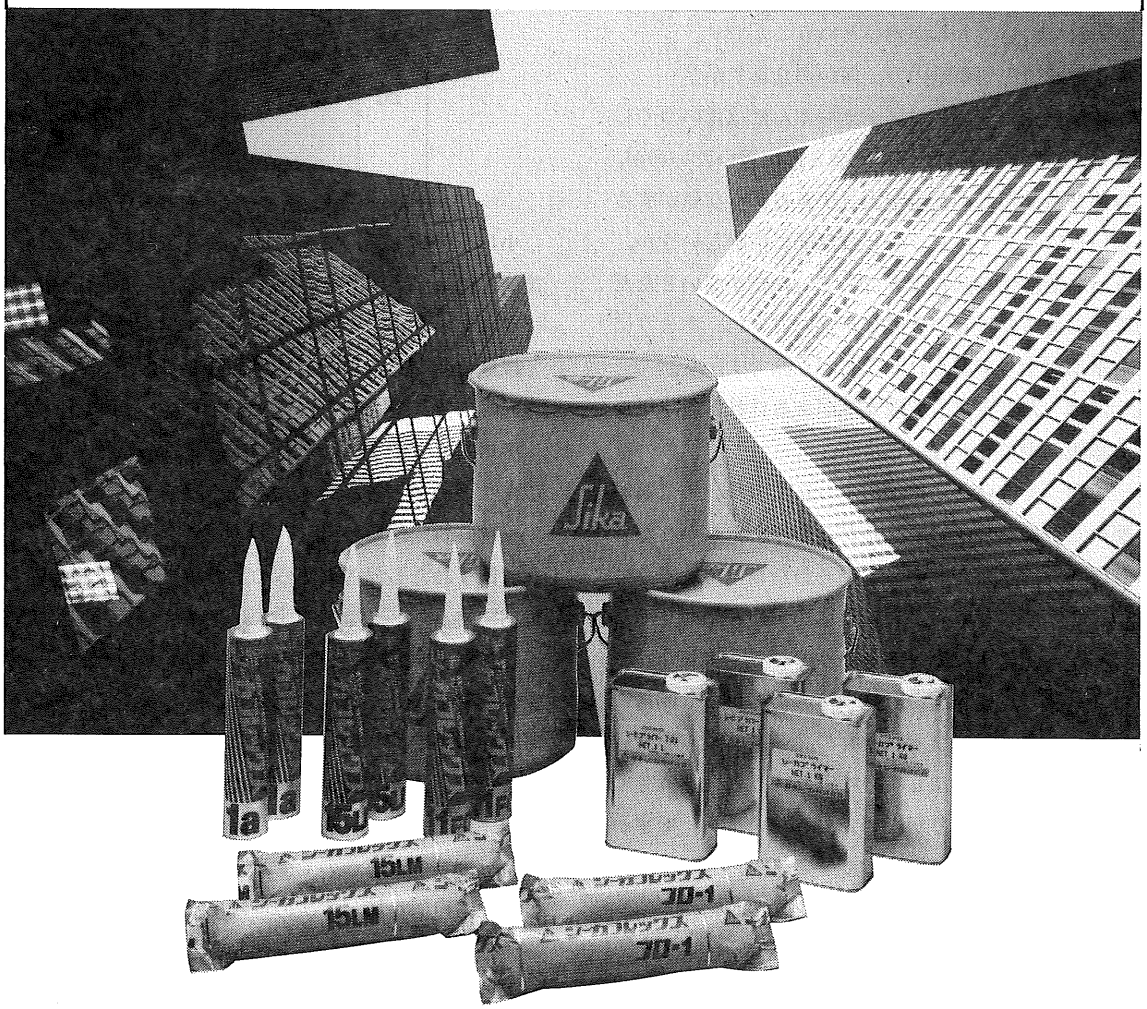
小川　そうですね，それが一番怖いわけですよ。こんなものかと言われると困るわけですよ。

小林　竹田理事長は。

竹田　わたしはこれからの業界は，日シ工協組連に期待すること大なのですよ。やっぱり日シ工協組連の方針に全国が同じ方向を向く体制ができ上がったわけですから，全国の同業者が同じ考えで，同じ方向に歩んで行く体制に非常に期待するわけです。そういう意味で，日シ工協組連の一員として責任も当然感じますしね。10年後には半数の会社が２代目になっていると思うのですね。ですからわれわれの世代で，自信を持って次の世代にバトンタッチさせる体制を何が何でも作り上げないといかんわけですね。

小林　わかりました。どうもいろいろと長時間にわたって有意義な話をうかがいましてありがとうございました。

シングルパワー。



シーカのシーリング材は、ポリウレタン一成分形。ですから、常に均一な品質と優れた作業性を兼ね備えています。しかも接着性に優れ、伸びも良く、塗装も容易。またゴム弾性・機械的強度に優れ、耐候性も抜群。材料ロスが極めて少ないのも魅力です。

シーカの建築用シーリング材

ポリウレタン一成分形

シーカフレックス® 1a

シーカフレックス® 15LM

シーカフレックス® プロ-1

(耐久性区分9030適合)

Sika 日本シーカ株式会社

本　社 〒143 東京都大田区大森北2-4-18・東京建物大森ビル TEL.(03)3767-9821

札　幌(011)221-6331　仙　台(022)267-2501　東　京(03)3767-7221　名古屋(052)733-7353

大　阪(06)315-7851　福　岡(092)472-1684　沖　縄(098)869-2841

●本部事務局だより

イラク問題混迷の中に越年し，湾岸戦争になると石油価格はどうなることかと一喜一憂しておりましたが，アッと言う間に終結し，石油価格はほぼ安定した推移でヤレヤレと言う所でしょうか。

工業会では１月18日恒例の新年会を開催，特別講演として「ASC国際会議参加報告」を企画し，会議並びに訪問先の概要をOHPとスライドで紹介，報告して頂きました。新年会も80名を越す盛会で，誠に喜ばしいことです。会員の皆様も１社１名と言わず，出来るだけ多くの方々に参加して頂き，折角の機会を大いに活用されたらと思っております。

１月25日～29日にかけて検定講習会を開催いたしました。大勢のお申込みを頂きましたが，多人数の申込みを頂いた非会員会社には半数に圧縮してもらうなどして管理士69名，技術管理士93名を受付けました。しかし162名に及ぶ宿泊室の確保が出来ず，技術管理士の全員と一部の管理士の方には３人部屋をお願いしなければならない状況でした。研修会館との何度もの折衝の結果，開催日ぎりぎりに必要室数が確保出来て安心いたしました。ところが開催当日になると，仕事が多忙なのか管理士の方の欠席が目立ち，今度は夫々の会社に確認の電話を入れる仕末になり，結局は管理士59名，技術管理士90名の参加となり，折角確保した宿泊室を返したり，食事の人数を訂正したり，思わぬ手間を取りました。今回は新しい企画として，報道関係者を招き，管理士制度の説明を実施し，広報活動の一環といたしました。

いよいよ平成３年度に入りますが，果して今年はどんな年になるのでしょうか。景気が陰り気味であることを耳にしますが，建設業のかかえる受注残や湾岸諸国の復興問題などを考えますと，まだまだ底堅く推移することと思われます。

当工業会の今年の大きな課題は，平成４年（1992年）に京都で開催される「接着剤とシーラント」の国際会議への準備であります。直接担当される委員の方々には誠にご苦労なことですが，工業会としてはその費用が問題です。各科目ともできるかぎり冗費を節約し，費用の有効活用につとめて頂くようお願いしたいものと思っております。

●北海道支部の動き

この記事が誌面にのるころには，北海道も遅い春を迎えているころかと思いますが，札幌は暖冬とは言え，例年より雪が多く，２月５日から始まった国際的イベント札幌雪まつりも，238万人の人出でにぎわい，盛況裏に終りました。支部活動も年明け早々に，管理士検定に向けて，予備講習会を１月11日に本部派遣講師（三洋工業㈱松浪氏）を迎えて，市内のホテルで実施しました。全員の合格を願う次第です。１月22日に支部新年会を８社９名参加にて開催し，各社より新年度に期待する話が多く出ておりました。また例年実施しております日乾防北海道支部との合同説明会は１月29日に函館市にて開催，ヨコハマゴム㈱中川氏，セメダイン㈱熊谷氏，両氏には講師役大変御苦労さまでした。

スタートの１月は以上のような活動状況ですが，今後とも業界発展のために，支部の積極的な活動を推進して行きたいと思っております。

●仙台支部の動き

春は名のみのとの学校唱歌がありますが，まさに東北地区は，彼岸が過ぎてから春がやって来るという感じです。今年は暖冬の関係で１月２月はあまり雪が降らず３月に入ってから雪や寒さがぶりかえしています。これも，もうすぐ春が来るという知らせと思えば，苦になりません。東北の春は，桜，リンゴ，桃の花がいっせいに咲きます。東北地区も年度末の関係で，相変わらず人手不足で，工事進行も遅れぎみです。しかし各社とも在庫不足状態の市況で活発化していますが４月にずれ込みの工事も増加しそうです。例年４月～６月はシーリング工事は減少し，７月頃から工事が増加する傾向にありますが，一年中，平均的に工事のある業界に育ってもらいたいと，思います。尚今回で，仙台支部も

役員が改選になります。詳細は追って連絡致します。

●東京支部の動き

昨年と異なり，今年は暖冬且つ好天続きで工事は順調に進んでおりますが，慢性的技能工不足により，工程の管理は，毎日が大変だと推察されます。

例年の事ですが，特にこの時期は年度末工事が集中しており，多忙な時期の真只中である事は事実です。

さてこうした中で，１月28日，支部～７日会～東シ協の市場懇談会及び懇親会を開催。シーリング技術管理士の呼称について，その他の案件について討議しました。

感じた事は，昨年の９月以降，東シ協と７日会，７日会と支部の関係は，以前より可成り良い関係（お互いの立場を尊重する）になったと思われます。

この互いの立場を尊重するという姿勢が一番肝要ではないかと思う次第です。

１月17日の湾岸戦争突入後，毎日戦況の変化が報道されております。当然の事ながら我々の業界も，湾岸情勢の変化をもろに受けます。今後の戦況が気になるところです。

（追）１月22日，東シ協主催ゴルフコンペに招待され，楽しくプレーさせて戴きましたが，まさか!!ホール・イン・ワン（松田和彦氏）をこの目で見られるとは思いませんでした。ありがとうございました。

今年もまた１年間，楽しく活発に活動しましょう。関係者の皆様，御協力を賜ります様お願い致します。　　（平成３年２月記）

●名古屋支部の動き

１月12日工業会技術副委員長広石真孝氏に御来名頂き，シーリング管理士受講予定者16名を対象に積算問題を主体にした予備講習を実施してもらいました。

今年は当地区からの管理士受講者が11名に増え，嬉しく思う次第です。

そして今年の合格者を含めると，この地の管理士取得者が69名になりました。御協力に深く感謝致します。

年度末を迎えていることもあり，今シーリング業は大変な多忙の中にあります。これも需要増に追いつけない労働力の不足が大きく影響しているように思われます。

中部シーリング工事業協同組合でも施工単価の適正化を求める活動が始まっています。労働環境の見直しを求める声も高くなりつつあります。若手労働者の集結こそが業界発展の礎であることを考えると，材販工が一体となって現状打破に取り組むことこそ肝要と考えます。

●大阪支部の動き

湾岸戦争もようやく終結を迎え，国内では年度末を迎えようとしています。関西を取り巻く環境は好調とは言い難いようです。

関西新空港開港が一年半延び，平成６年になった事への心理的影響，高金利政策による設備投資圧縮，原油状況不透明等々，要因は種々あるでしょうが，何よりも経済安定と繁栄には，湾岸戦争終結が最大のポイントと思われます。

当支部も，年度末のイベントとして，２月22日に開く研修会の準備に大童です。

本年度は本部から３人の講師に応援を戴き，(1) ASC 報告（広石氏），(2) JIS 改正（山内氏），(3)危険物法令改正に伴うシーリング材の取扱い（林氏）をテーマとして，メーカー会員は勿論，ディーラーのなにわ会会員，関シ協会員にも出席を呼びかけています。会員相互の理解，関係団体との親交に役立てばと願っています。

また，昨年12月に開催された材工販幹部による市場懇談会の際提示された，各組織力の増強（日シ工，なにわ会，関シ協），週休２日制への移行，ディーラーの機能強化等の問題についても，業界発展の一翼になればと，関係者頭を痛めながら議論を重ねています。

（平成３年２月記）

●広島支部の動き

'91年に入っての業界は，お蔭様で比較的順調に推移しております。仕事の量は特に広島，岡山，下関等の中核都市に於て活発です。しかしながらゼネコンさんからの受注価格は相変わらず厳しく，人手不足と人件費の向上への対策から，

工事店として愈々背に腹は代えられないといった状況に至っております。今年こそ，材工一体となった改善策を実施する事になるでしょう。

● 九州支部の動き

21世紀まで，あと10年となりました。九州は古来，大陸文化との交流の窓口でありました。地の利を生かしてアジアを中心とした国際交流の拠点になるよう多くの市町村，団体がアジア諸国と姉妹友好交流を深めております。最近のビッグプロジェクトとして「福岡県国際会館」「九州国立博物館」「ダイエー・ツインドーム」等の物件が，着手または計画されております。

最近の建築業界は，好調な工事受註により，業績も，著しく向上し，好況を持続しておりますが，シーリング業界は深刻な人出不足となっております。最近流行の3K（キツイ，キタナイ，キケン）職種の代表格とまでいわれ，技術者への待遇や環境改善の対応を余儀なく迫られております。かかる問題について，業界関係者で対応策を打合せするのですが，なかなか良い結果は出てきません。

なおこの度，九州シーリング工事業協同組合より，「シーリング工事標準見積単価書」が出来ましたので，関係各位へ提出致しました。

●営業品目
①目地材
②断熱材
③防音材
④バックアップ材
⑤機密材
⑥防振シート
⑦養生マット
⑧結露防止マット
⑨接着シート
⑩ガスケット各種

sinwa
株式会社 新和商会
特殊な加工技術を蓄積した創造集団
常に一流サービスを提供する企業

本　社　東京都荒川区西日暮里２丁目24番14号
TEL. 03(3803)1411(代表)
第一工場　埼玉県浦和市西堀５－９－31
TEL. 048(864)1751(代表)
第二工場　埼玉県浦和市栄和６－５－10
TEL. 048(857)1081(代表)

注目の的！

JIS A 5758
PU-1-9030-A-N
許可番号 386031

JIS耐久性区分9030に合格
高性能一成分形ポリウレタンシーラント

AUTONSEALER 101A

■ **特長**
- ○一液ですので、計量、混練、脱泡などの手間がいりません。
- ○モジュラスと伸びとのバランスが良く、振動伸縮に対する追従性が優れています。
- ○多くの被着体に対し非常に優れた接着性をっています。
- ○硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
- ○耐候性、耐熱耐寒性、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたり高性能を維持します。

■ **荷姿** カートリッジ（320mℓ）25本入りカートン箱、ミニペール缶（4ℓ）2個入りカートン箱、ペール缶（12ℓ）

■ **色** グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー

製造元

オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋2－23－1　☎(03)3437－3482(代表)
大阪市淀川区東三国1-12-15　☎(06) 396—1421

発売元

株式会社 岩田商会

札　幌	011-741-3302	名古屋	052-231-8591
仙　台	022-266-1007	大　阪	06－356-1121
東　京	03-3438-0511	広　島	0822-49-7642
長　野	0262-93-4328	福　岡	092-472-0235
浜　松	0534-64-6331		

高性能カルテット「変成ポリサルファイド系シーリング材」

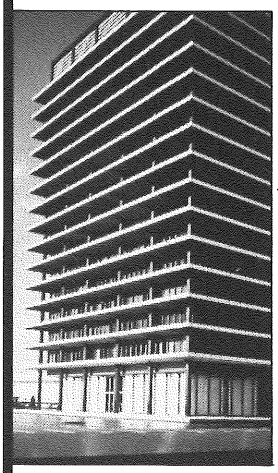
変成ポリサルファイド系ポリマー（パーマポール®）を主成分とした酸素硬化型一成分形シーリング材。

低モジュラス、高伸びであり、耐疲労性、復元性にすぐれ長期にわたって目地の伸縮に対応できます。

露出使用でも長期間表面にクラックが生じません。

酸素硬化型ですので硬化時の温度湿度依存性が少ない。また貯蔵安定性もすぐれています。

塗料との密着性がよく塗料を汚しません。しかも石目地、タイル目地などに対する汚染がありません。



変成ポリサルファイド系シーリング材は、建築・複層ガラス用シーラントとしてアメリカをはじめ世界各国で20年以上の実績があります。

変成ポリサルファイド系ポリマー
パーマポール®

日本触媒

日本触媒化学工業株式会社

成形品営業部 ● 東京(03)3506-7553東京都千代田区内幸町1-2-2(日比谷ダイビル) ● 大阪(06)223-9225大阪市中央区高麗橋4-1-1(興銀ビル)

建築用シーリング材

ミリオネートシリーズ

カーテンウォール工法が主流になって以来、シーリング材も高度な性能が要求されてきています。シーリング材は種類による性能のちがいが大きく、建物のシール部位により適用するシーリング材は適切な種類を選ぶ必要があります。そこで我社は2成分形シーリング材のさきがけであるミリオネートNSの他にこの度、変成シリコーン系(NS300)、ポリサルファイド系(NS200)の2成分形シーリング材の開発を致しました。今後とも、技術の進歩にともない益々高性能、高品質化をはかる所存です。

〈主な種類〉

- **NS-300** 〈変成シリコーン系〉
- **NS-200** 〈ポリサルファイド系〉
- **NS-Ⅲ** 〈ポリウレタン系〉
- **ミリオネートシーラー** 〈1成分ポリウレタン系〉

〈主な特長〉

- JIS認定品
- 着色方法合理的なカラートナー式
- 耐久・耐候性良好
- 被塗装性良好
- 石材を汚染しない
- 経済性に優れる

〈用　途〉

- ◆金属、PCカーテンウォール
- ◆各種笠木目地(NS-200、NS-Ⅲ)
- ◆サッシ、窓ガラス廻り
- ◆コンクリート、モルタル各種目地(NS-Ⅲ)
- ◆各種パネル目地

▼プライマー種類

項目＼プライマー	MS−300用プライマー	MS−200用プライマー	MS−60	CB−20D
状　態	1液　無色透明液	1液　褐色透明液	1液　微褐色透明液	1液　微褐色透明液
乾燥時間(20℃)	10分	30分	3時間	30分
シーリング材の充てん時間(20℃)	乾燥後から2時間	乾燥後から3時間	塗布後30分から6時間	乾燥後から4時間
開封後の処置	当日内に使い切る(不使用時密栓)	当日内に使い切る(不使用時密栓)	当日内に使い切る(不使用時密栓)	当日内に使い切る(不使用時密栓)
貯蔵期間(冷暗所貯蔵)	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月
包装・容量	500g缶入 1ケース＝12缶)	500g缶入 (1ケース＝12缶)	500g缶入	800g缶入
主用途	ガラス	塗装面	汎　用	コンクリート、木部
適用シーリング材	ミリオネート NS−300	ミリオネート NS−200	ミリオネート NS−Ⅲ	ミリオネート NS−Ⅲ

保土谷建材工業株式会社
本社　〒105 東京都港区浜松町1-18-14　TEL.03(3437)9471㈹
スバックスビル2F　FAX.03(3433)5720

●大阪営業所☎ 06(203)4651　●福岡出張所☎092(751)3506　●新南陽出張所☎0834(63)8363
●札幌出張所☎011(231)7618　●名古屋営業所☎052(231)7225

建築用シーリング材市販製品一覧

シリコーン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱エーピーシー商会	ABCシリコーン カートリッジ	クリアー,ホワイト,グレー,ブラック,ダークブラウン,アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
コニシ㈱	ボンドシリコーンコーク	グレー,クリアー,ホワイト,ダークブラウン,アルミ,ブラック,アイボリー,アンバー,ダークアイボリー,防カビ剤入ホワイト・ダークアイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
サンスター技研㈱	ペンギンシール2505	クリアー,ホワイト,アイボリー,グレー,ダークブラウン,ブラック	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス ㋮9030G
	ペンギンシール2520	ホワイト,グレー,ブラック,アンバー	3ℓセット	100:2.7:(6.5~8.0)	低モジュラス ㋮10030
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールS	クリアー,グレー,アンバー,アイボリー,ホワイト,アルミ	330mℓカートリッジ	1成分形	
信越化学工業㈱	KE42	クリヤー,白,黒,グレー,アルミ,アンバー,ダークブラウン,アイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型
	シーラント45	クリヤー,白,黒,グレー,アルミ,アンバー,アイボリー,ダークブラウン,ダークアイボリー,ダークグレー	330mℓカートリッジ	1成分形	㋮9030G 高モジュラス オキシム型汎用
	KE422	クリヤー	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型,水槽用
	KE420	ハイクリヤー(高透明)	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 高透明,酢酸型
	シーラント4588	白,アイボリー,ダークアイボリー,ライトグレー	330mℓカートリッジ	1成分形	㋮9030G 防かび性, オキシム型
	シーラント72	グレー,ダークブラウン,アンバー,アイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	㋮9030G 中モジュラス, アルコール型
	シーラント70	白,グレー,アンバー,黒,ブラウン,アイボリー,ブロンズ,YW-1	3ℓセット カラーマスター方式	10:1	㋮10030 低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント701	白,グレー,黒,アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント79	白,グレー,アンバー,黒,ブラウン,アイボリー,ブロンズ,YW-1	3ℓセット カラーマスター方式	100:10:0.71	塑性シーラント, 3成分形, アミノキシ型
	シーラント74	白,グレー	3ℓセット カラーマスター方式	10:1	低モジュラス, 60分耐火 アミノキシ型
	シーラント90	黒,グレー	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス, SSG用 アルコール型
	シーラント76	黒,グレー	3ℓセット	10:1	中モジュラス, SSG用 アミノキシ型
	シーラント92	黒	3ℓセット	10:1	超高モジュラス SSG用 アルコール型

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
信越化学工業㈱	シーラント93	黒	3ℓセット	10：1	超高モジュラスSSG用,アルコール型(自己接着あり)
	KE4578	黒,	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス,電磁波シールド用,オキシム型
	KE4579	アイボリー,グレー	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス,帯電防止用,オキシム型
	KE3429	黒,	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス,電磁波シールド用,アルコール型
㈱スリーボンド	スリーボンド5211	ホワイト,クリアー,アルミ,グレー,アイボリー,アンバー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型
	スリーボンド5221	ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	防カビ型
	スリーボンド5271	ホワイト,グレー,アンバー	3ℓセット	10：1	低モジュラス
	スリーボンド5241	ホワイト,クリアー,アンバー,グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
世界長㈱	セカイチョーシーラーSI	クリアー,ホワイト,ダークブラウン,グレー,ライトアイボリー,ダークアイボリー,アルミグレー,黒	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
セメダイン㈱	セメダイン シリコーンシーラー8060	クリアー,アルミ,ホワイト,アンバー,ナチュラルストーン,ダークアンバー,グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	セメダイン シリコーンシーラー8065	クリアー,シルバー,ホワイト,アンバー,ナチュラルストーン,グレー,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
㈱タイルメント	アークシール S－100	ホワイト,クリアー,グレー,アンバー,アルミ,ブラック,アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
		ホワイト,クリアー	100gチューブ	1成分形	オキシム型
	板金用シリコーン	ホワイト,クリアー,ニュークリーム,シルバー	150gチューブ	1成分形	オキシム型
	セラシール	ホワイト,グレー,アンバー,ブラック	320mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
㈱東郊産業	ハイシーラー#5000	クリアー,ホワイト,アンバー,アイボリー,グレー,ブラック,シルバー	330mℓカートリッジ	1成分形	
東芝シリコーン㈱	トスシール361	ホワイト,ライトグレー,グレー,ダークブラウン,ブラック	3ℓセット	100：3	㋮10030 低モジュラス アミノキシ型
	トスシール62	グレー,ダークブラウン,ブラック	3ℓセット	100：3	中モジュラス アミノキシ型 SSG用
	トスシール63	ホワイト,アイボリー	3ℓセット	100：3	低モジュラス 防かび性
	トスシール64	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック	3ℓセット	100：3	低モジュラス 準不燃性
	トスシール67	グレー,ブラック	16ℓセット	100：3	低モジュラス 流動性
	トスシール10	ライトグレー,グレー,ダークブラウン,ブラック	500mℓフィルムパック 5ℓ丸缶	1成分形	㋮10030 低モジュラス アミノキシ型
	トスシール371	クリアー,ホワイト,グレー,アルミグレー,ブラック,ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型,速硬性
	トスシール73	ホワイト	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび性 酢酸型
	トスシール381	クリアー,ホワイト,グレー,アルミグレー,ダークブラウン,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	㋮9030G オキシム型

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	混合比	備　考
東芝シリコーン㈱	トスシール83	ホワイト,アイボリー,ライトアイボリー,ダークアイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび性 オキシム型
	トスシール380	ホワイト,グレー,ダークブラウン	333mℓカートリッジ 4ℓ丸缶	1成分形	低モジュラス アルコール型
	トスシール90	ライトグレー,グレー,ダークブラウン	3ℓセット	100：3：0.64	油性目地補修用, 3成分形
	トスシール1200	ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型 SSG用
	トスシール52	ブラック	2ℓセット	100：10	高モジュラス アルコール型 SSG用
	トスシール300	ブラック	2kgセット	1：1	フォーム 貫通部シール用
	TGS711	ブラック	3ℓセット	100：10	超高モジュラス アルコール型 複層ガラス用
東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	SH780	クリアー,ホワイト,グレー,アイボリー,ニューアイボリー,アルミ,アンバー,ブラック,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㉐9030G 無酸型
	SH781	クリアー,ホワイト,グレー,アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㉐9030G 酢酸型
	SH790	ホワイト,グレー,ナチュラルストーン,アンバー,ブラック,アイボリー	1/2ℓフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	SE797	ブラック	2ℓセット	10：0.5	SSG用
	SE798	ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	SSG用
	SE1811	ブラック	1.5ℓセット	1：1	貫通部シール 耐火充填材
	SE1900	ブラック	1.5kgセット 40kgセット	1：1	貫通部シール フォーム
	SE555	グレー,アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㉐9030G 脱アルコール 中モジュラス
	SE778	グレー,アイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	オキシム 低温用
	SE777	スーパークリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	SE5003	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	準不燃性
	SE5010	ホワイト,アイボリー,ニューアイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㉐9030G 無酸型, 防かび性
	SE5085EC	ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	導電性 電磁波シール
	SE9090	グレー	1/3ℓカートリッジ 4ℓ	1成分形	マスチックタイプ (表面のみ硬化)
	SE794	グレー,アンバー	3ℓセット	100：3	準不燃性 カラーマスター
	SE796	グレー,アンバー	3ℓセット	100：3	中モジュラス SSG用 カラーマスター
	SE792	ホワイト,アイボリー,グレー,ナチュラルストーン,アンバー,ブラック	3ℓセット	100：2.5	㉐10030 低モジュラス カラーマスター
	SE9500	ブラック	1kg缶	10：1	超高モジュラス 複層ガラス用
日東ポリマー工業㈱	ニューワイドシーラー	クリアー,グレー,ホワイト,アンバー,シルバー,アイボリー,ブラック	330mℓカートリッジ	1成分形	
日本フランシール㈱	ロードシルV−2	クリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 中モジュラス
	ロードシル3−B	クリアー,グレー,ホワイト,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	混合比	備　考
日本フランシール㈱	ロードシルV－70	クリアー,グレー,ホワイト,ダークブラウン,アイボリー,ブラック,アンバー,シルバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	ロードシル5C	グレー,ホワイト,ブラック,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
バイエル合成シリコーン㈱	バイエル合成シリコーンシーラント　BA－10	アイボリー,グレー,アンバー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型,低モジュラス
	バイエル合成シリコーンシーラント　AP－20	クリアー,ホワイト,グレー,アンバー,ダークブラウン,ブラック,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラント　AP－22	グラスクリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型,超透明
	バイエル合成シリコーンシーラント　BO－50	クリアー,ホワイト,アイボリー,グレー,アンバー,ダークブラウン,ブラック,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラントBO－50カラーシリーズ	ブルー,グリーン,レッドI,レッドII,イエロー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラント　BO－50A	クリアー,ホワイト,ダークブラウン,アンバー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型,速硬性
	バイエル合成シリコーンシーラント　BL－40	クリアー,ホワイト,グレー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
	バイエル合成シリコーンシーラント　MS－60	グレー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	マスチック型
横浜ゴム㈱	ハマタイトSS－310	ホワイト,グレー,ダークブラウン,アイボリー,ブラック,クリアー,アンバー	330mℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	ハマタイトシリコーン70	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック	4ℓセット	10：1：(0.48～0.57)	㊟10030

＊（　）内はカラーマスター

変成シリコーン系シーリング材

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	混合比	備　考
㈱エービーシー商会	ABC変成シリコーンM	ホワイト,ライトグレー,グレー,ブラウン,ダークブラウン,ブラック	4ℓ	10：1	㊟9030
	ABC変成シリコーンカートリッジ	ホワイト,グレー,アイボリー	333mℓ	1成分形	
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエースMS	グレー,ブロンズ,アンバー,ベージュ,ホワイト	4ℓセット	100：10：(3.8)	㊟9030
	ベルエースワン	グレー,ホワイト,アイボリー,ブロンズ	333mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
	デュアリボンMS	ホワイト,グレー,アイボリー,ベージュ,ブロンズ	333mℓカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工㈱	セルスーパー	ホワイト,グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	
	セルシールMS	ホワイト,グレー,アンバー	4ℓセット	2成分形	
コニシ㈱	ボンドMSシール	ホワイト,アイボリー,グレー,アンバー,ブロンズ,ブラック,ニューアイボリー	4ℓセット	100：10：(3)	㊟9030
	ボンド変成シリコンコーク	グレー,ホワイト,アイボリー,ベージュ,ブロンズ,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	
	ボンド変成シリコンコークLM	ホワイト,他	333mℓカートリッジ	1成分形	中モジュラス
サンスター技研㈱	ペンギンシール2500DRY	グレー,アンバー,ホワイト,ベージュ,ブラック	4ℓセット トナー200g	10：1：(0.4)	㊟9030
	ペンギンシール2550LM	グレー,アンバー,ホワイト,ベージュ,他30色	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス ㊟8020
	ペンギンシール2550HM	グレー,アンバー,ホワイト,ベージュ,ブラック,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
三洋工業㈱	スリーコーンB－4000	ホワイト,グレー,アンバー,アイボリー	4ℓセット	10：1	㉐9030
	スリーコーンC－320	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー,他	320mℓカートリッジ	1成分形	
	スリーコーンC－320LM	アイボリー,他	320mℓ低モジュラス	1成分形	
サンライズメイセイ㈱	SRシール　S50	グレー,白,ブラウン	3ℓセット×4	10：1	㉐9030
	SRシール　S70	グレー,白,クリーム,ブラウン,黒	333mℓカートリッジ 4ℓ缶	1成分形	
	SRシールS70B	クリーム,グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	防火タイプ
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールM－LM	ホワイト,グレー,アイボリー,ブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	㉐8020
	シャーピーシールM	ホワイト,グレー,ブラウン,アイボリー,ベージュ	320mℓカートリッジ	1成分形	
	シャーピーシールM－2	グレー,ホワイト,ブラウン	4ℓセット	10：1	㉐9030
昭石化工㈱	メトリック	グレーA,グレーB,ホワイト,ベージュ,ダークアンバー,ダークブラウン,ブラック他	4ℓセット	100：10：(3)	㉐9030
㈱スリーボンド	スリーボンド5222	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	
世界長㈱	セカイチョーシーラーMS	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー,ダークブラウン,ブロンズ,黒	4ℓセット	100：10：(3)	㉐9030
	セカイチョーシーラーM-1	グレー,ダークブラウン,アイボリー,ホワイト,黒	320mℓカートリッジ	1成分形	防カビ剤入り
セメダイン㈱	POSシールLM	ホワイト,グレー,他10色	333mℓカートリッジ	1成分形	㉐8020
	POSシールタイプII	ホワイト,グレー,ブラック,ブロンズ,アンバー,アイボリー	4ℓセット	100：3：(3)	㉐9030
㈱タイルメント	アークシール　S－200	ホワイト,グレー,アンバー,アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	
	アークシールS－202LM	ホワイト,グレー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
テイパ化工㈱	ボニーシーラーMS－3000	グレー,ブラウン,ホワイト,アイボリー,ブラック	4ℓセット	10：1	㉐9030
	ボニーシーラーMS－8000	グレー,ブラウン,ホワイト,アイボリー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
㈱東郊産業	MSシーラント	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ		
日興化学工業㈱	ニッシーラーMS	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	5ℓセット	10：1	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク500MS	ホワイト,グレー他3色	4ℓセット	100：10：(3)	
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo500	グレー,ダークブラウン,ホワイト,ブラック	4ℓセット カラーマスター	100：3：(2.5)	㉐9030
㈱服部商店	サンシール#801	グレー,ホワイト,アイボリー,ダークブラウン	4ℓセット	10：0.7：(0.3)	
	コスモシール	グレー,ホワイト,ダークブラウン,アイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
日立化成ポリマー㈱	ハイボン2000	オフホワイト,グレー,ダークグレー,ベージュ,ブロンズ,ブラック	4ℓセット	100：10：(3)	㉐9030
保土谷建材工業㈱	ミリオネートNS－300	グレー,ブロンズ,ブラウン,アイボリー,ニューアイボリー,ブラック,ホワイト	4ℓセット	100：10：(3)	㉐9030
三星産業㈱	変成シリコーンZ	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラック,ベージュ	320mℓカートリッジ	1成分形	
横浜ゴム㈱	ハマタイトスーパーII	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ダークアンバー,ブラック	4ℓセット	100：10：(3)	㉐9030
	ハマタイトスーパーワン	ホワイト,グレー,ベージュ,ダークブラウン,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	
	ハマタイトスーパーワンLM	ホワイト,グレー,ベージュ,ダークブラウン,ダークアンバー,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	

＊（　）内はカラーマスター

ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱エービーシー商会	チオコーク	グレー,ライトグレー,ブラウン,ダークブラウン,ブラック,ブロンズ	4ℓセット 7ℓセット	10：1	㊞9030
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエースP－5000	グレー,ブロンズ,アンバー	4ℓセット	100：10：(6)	㊞9030
関西パテ化工㈱	ハイトシール	ダークグレー,ブロンズ,ホワイト,アンバー,ブラック	3.4ℓセット	10：1	
コニシ㈱	ボンドシール#10	グレー,ブロンズ,アンバー,ブラック,ベージュ,オフホワイト	4ℓセット	100：10：(6)	㊞9030
サンスター技研㈱	ペンギンシール169	グレー,ホワイト,アンバー,ブラック,ダークアンバー,ライトアンバー,ベージュ,オフホワイト	4ℓセット トナー285g トナー290g	10：1：(0.5)	㊞9030
三洋工業㈱	スリーコールB－4000 スリーコールB－4000S	グレー,アンバー,オフホワイト,アイボリー	4ℓセット	10：1	㊞9030 ㊞8020
サンライズメイセイ㈱	SRシールT27	グレー	3ℓセット	10：1	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールT－35	グレー,ライトグレー,ダークブラウン,ブラック,ホワイト	4ℓセット	10：1	㊞9030
昭石化工㈱	フジチオコール	グレー,ベージュ,ダークアンバー,ダークブラウン,ブラック他	4ℓセット	100：10：(6)	㊞9030
住友スリーエム㈱	ウェーザーバンシーラー	ブラック,グレー	4ℓセット	ブラック 10：1 グレー 10：1	
世界長㈱	セカイチョーシーラーTH	オフホワイト,ブルーグレー,ダークグレー,グレー,アンバー,ダークブラウン,ブロンズ,黒	4ℓセット	100：10(5.5) (オフホワイトのみ100：10)	㊞9030
セメダイン㈱	ポリシール	グレー,ブラック,ブロンズ,アンバー2,アンバー3	4ℓセット	100：7：(7)	㊞9030
大日化成㈱	サンシーラーP	グレー,アンバー,ブラウン,黒	4ℓセット	100：8	㊞8020
テイパ化工㈱	ボニーシーラーPS－2000	ホワイト,グレー,ブロンズ2,ブラック,アンバー5	4ℓセット	100：8	㊞9030
㈱東亜応用化工	エポコールシーラ	グレー,ブロンズ,黒,白,アイボリー	4ℓセット	100：8	㊞9030
東レチオコール㈱	トプコールS	ホワイト,アイボリー,グレー,ブラウン,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	汎用タイプ
日興化学工業㈱	ニッシール	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	3ℓセット	10：1	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク300S	グレー,アンバー他3色	4ℓセット	100：8：(5)	
㈱日本化学研究所	チオシールニッカ#3151	グレー	4ℓセット	10：1	
	チオシールニッカ#501	ブロンズ	4ℓセット	10：1	
	チオシールニッカ#1000	アイボリー	4ℓセット	10：1	
	チオシールニッカ#300	アンバー	4ℓセット	10：1	
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo.300	グレー,ダークブラウン,ブラック	4ℓセット	10：1	㊞9030
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#501	グレー,各色	4ℓセット	100：8：(5)	㊞8020
日立化成ポリマー㈱	ハイボン1000	グレー,ダークグレー,ブロンズ,アンバー,ブラウン,ブラック,(アイボリー)	4ℓセット	100：10：(6) (100：10)	㊞9030
保土谷建材工業㈱	ミリオネートNS－200	グレー,ブロンズ,ブラウン,ベージュ,ブラック	4ℓセット	100：10：(6)	㊞9030
三星産業㈱	三星シールPS	グレー,ダークグレー,ブロンズ,アイボリー,ブラック	4ℓセット	10：1	㊞9030
横浜ゴム㈱	ハマタイトSC－500	オフホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック,アンバー ＊オフホワイトは主剤着色方式で㊞8020	4ℓセット	100：5.2：(8)	㊞9030
	ハマタイトPS－ONE	ホワイト,グレー,ダークブラウン,アンバー,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	

＊（ ）内はカラーマスター

アクリルウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日東電工㈱	ニトシールA2000	グレー他	5.5ℓセット	1：2.5	
ヤマウチ㈱	トップシーラー#7	グレー,白,その他	6ℓセット	1：3	
コニシ㈱	ボンドAUシール	グレー,アイボリー,白	4ℓセット	100：300(10)	

＊（ ）内はカラーマスター

ポリウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱エーピーシー商会	ABCウレタン80	グレー,アイボリー,ホワイト,ダークブラウン,ライトグレー	6ℓ	1：3	㊐8020
	ABCコーキングウレタンカートリッジ	ホワイト,グレー,アイボリー,ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	
オート化学工業㈱	オートンシーラー101A	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ 4ℓ缶 12ℓペール缶	1成分形	㊐9030 一般汎用
	オートンシーラー101N-LM	ライトグレー	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	ノンブリージング 低モジュラス
	ALCコーク	ホワイト	12ℓペール缶	1成分形	㊐8020 ALC専用
	オートンサイディングシーラント	各色	320mℓカートリッジ 6ℓペール缶	1成分形	㊐9030 サイディング板用
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエース P−6000	グレー,ブロンズ,ホワイト	6ℓセット	1：3：(0.1)	㊐8020
	デュアリボン6500	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工㈱	セルシールPU	グレー,白	12ℓ	1成分形	
	セルシールPU	グレー,アンバー,白,アイボリー	4.8ℓセット	1：3	
	セルシールPU	グレー,アンバー,白,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
コニシ㈱	ボンドUシール	グレー,ブロンズ,アイボリー,白,黒,ダークグレー	6ℓセット	1：3：(0.1)	㊐8020
	ボンドウレタンコーク	グレー,白,アンバー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンスター技研㈱	ペンギンシール980	グレー,ホワイト,ベージュ,アンバー,ブラック	6ℓセット トナー300g	1：2.9：(0.15)	㊐8020
	ペンギンシール970	ブラック,グレー	12ℓセット	1：1	
	ペンギンシール955	グレー,ホワイト,アンバー,ベージュ	14ℓ 320mℓカートリッジ	1成分形	
三洋工業㈱	スリーウレッチB-6	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	4.6ℓセット	1：3	㊐8020
	スリーウレッチC320	グレー,アイボリー,ホワイト,アンバー,他	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ㈱	SRシールU31	グレー,白,ベージュ,ブラウン	7.1ℓセット	1：3	
	SRシールU73	グレー,白	320mℓカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールU	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
	シャーピーシールU−75	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラック	6ℓセット	1：3	㊐8020
昭石化工㈱	ユーゼット103	グレーA,グレーB,ホワイト,ベージュ,ダークアンバー,ダークブラウン,ブラック他	8ℓセット 6ℓセット 4ℓセット	1：2.9：(0.1)	㊐8020
	ユーゼットカートリッジ	グレー,ホワイト,ベージュ他	320mℓカートリッジ	1成分形	㊐8020

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱スリーボンド	PANDO412A	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
世界長㈱	セカイチョーシーラー U−1	ホワイト,グレー,アイボリー,ダークブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
	セカイチョーシーラー PU−213	グレー,アイボリー,ダークブラウン,ニューホワイト,黒	6ℓセット 4ℓセット	1:2.9:(0.1)	㋮8020
セメダイン㈱	S−750	ホワイト,アイボリー,ブロンズ,アンバー,グレー,ブラック	6ℓセット	1:3:(0.15)	㋮8020
	S−700M	ホワイト,グレー,アンバー,ブラック,アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	
大日化成㈱	サンシーラーU−13	白,グレー,アイボリー,ブラウン	5.8ℓセット	1:3	㋮8020
	スカイシールU	白,グレー,アイボリー,ブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
㈱タイルメント	アークシール S−300	ホワイト,グレー,アンバー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
	アークシール S−303LM	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
テイパ化工㈱	ボニーシーラーU−3000	グレー,ブラウン,アイボリー,ブラック,ホワイト	6ℓセット	1:3	㋮8020
	ボニーシーラーU−8000	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー	1000mℓカートリッジ 320mℓカートリッジ	1成分形	
㈱東亜応用化工	エポコールU−3	グレー,ブロンズ,黒,白,アイボリー	6ℓセット	1:3	
㈱東郊産業	ハイシーラーハイレタン	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー,ブラック	320mℓカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンジャンボ	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	850mℓカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンSPミゼット	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	640mℓソーセージパック	1成分形	
日興化学工業㈱	ニッシーラーウレタン	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	5ℓセット	1:3	
日東電工㈱	ニトシール A2100	グレーほか	7ℓセット	1:8	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク200U	ホワイト,グレー他4色	6ℓセット	100:29:(1)	㋮8020
	ニットーウレタン	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ	1成分形	
㈱日本化学研究所	ニッカウレタイトシーラー	グレー,ホワイト,ブラック	6ℓセット	1:2 1:3	
日本シーカ㈱	シーカフレックス1a	グレー,白,ダークアンバー,黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	
	シーカフレックス15LM	グレー,白,ダークアンバー,ベージュ,アイボリー,黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	㋮8020 低モジュラス
	シーカフレックス11FC	グレー,白,黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ	1成分形	速乾型
	シーカフレックスプロー1	グレー	400mℓモノ・ソーセージ	1成分形	9030 適合品
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo.200	グレー,ダークブラウン,ブラック,クリームホワイト	6ℓセット 3ℓセット	1:3:(0.1)	㋮8020
	ファインシーラーNo.20	クリームホワイト,グレー	6ℓセット	1:3:(0.1)	ALC用
	ファインシーラーNo.200水路用	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo.2000	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo.201	グレー,ダークブラウン,ホワイト	320mℓカートリッジ	1成分形	
	ファインシーラーNo.2001	グレー	320mℓカートレッジ	1成分形	土木用
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#401	グレー,各色	6ℓセット	1:3:(0.1)	㋮8020
㈱服部商店	サンシール#701	グレー,ホワイト,アイボリー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
	サンシール#903	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー,ダークブラウン	7.5ℓセット,6ℓセット,4ℓセット	1:2.9:(0.1)	㋮8020
	サンシールAU	ホワイト,グレー,ダークブラウン	7.0ℓセット	1:9.75:(0.25)	ALC専用

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日立化成ポリマー㈱	ハイボン5000	グレー,ダークグレー,ブロンズ,オフホワイト,ブラック,アイボリー	6ℓセット，4ℓセット	1:3:(0.15)	㊐8020
	ハイボン5100	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
保土谷建材工業㈱	ミリオネートNS−III	グレー,ホワイト,ブラウン,アイボリー,ブラック	6ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊐8020
	ミリオネートシーラー	グレー,ホワイト,ブラウン,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
三星産業㈱	三星シールAU	グレー,ブロンズ,ホワイト,ベージュ,ブラック	6ℓセット	1:3	㊐8020
	三星シールU−1	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
ヤマウチ㈱	トップシーラー#U1	グレー,白,茶	1000mℓカートリッジ		
	トップシーラー#U2	グレー,白	6ℓセット	1:3	
横浜ゴム㈱	ハマタイトUH−30	アイボリーホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック,ベージュ	6ℓセット	1:3:(0.1~0.15)	㊐8020
	ハマタイトシールエース	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ベージュ,ブラック	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	

＊（ ）内はカラーマスター

アクリル系シーリング材

会社名	商品名		色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエース P−4000		ホワイト,グレー	17ℓ，12ℓ	㊐7020
	デュアリボン4000		ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	
関西パテ化工㈱	ハイトコーク		白,アイボリー,グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
	ハイトコークボンド		白,アイボリー,グレー,アンバー,木色地各色	500g	
コニシ㈱	ボンドアクリルコーク		ホワイト,アイボリー,グレー	17.4ℓ 330mℓカートリッジ	㊐7020 (缶タイプのみ)
	ボンドコークホワイト		ホワイト	500gチューブ	
	ボンドコークアイボリー		アイボリー	500gチューブ	
サンスター技研㈱	ペンギンシール1250		ホワイト	333mℓカートリッジ 340mℓチューブ 18ℓ，500g	
三洋工業㈱	スリーラント	K-17	ホワイト	17ℓ缶	㊐7020
		C-330	〃	333mℓカートリッジ	㊐7020
		T-500	〃	500ccチューブ	———
		C-1000	〃	1.5kgカートリッジ	㊐7020
サンライズメイセイ㈱	SRシールY60A		白,グレー	17ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールA		ホワイト,グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ	㊐7020
昭石化工㈱	アクリルエース		グレー,ホワイト,アイボリー	18ℓ缶 900mℓカートリッジ	㊐7020
世界長㈱	セカイチョーシーラーEA		ホワイト	17ℓ	㊐7020
	セカイチョーシーラーEA カートリッジ		ホワイト	333mℓカートリッジ	㊐7020
	セカイチョーシーラーEA チューブ		ホワイト	500gチューブ	
セメダイン㈱	メジシールS−10 S−20		ホワイト	18ℓ	S−10 一般用 S−20 厳寒用
	メジシール		ホワイト	333mℓカートリッジ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
大日化成㈱	サンシーラーA	白,グレー	17ℓ	
	サンシーラーAK	白,グレー	1/3ℓカートリッジ	
㈱タイルメント	アークシール S−500	ホワイト,グレー,アイボリー	333mℓカートリッジ	
		ホワイト	18ℓ缶	
	アクリルコークジャンボS	ホワイト	900mℓカートリッジ	ℊ7020
	アクリルコークジャンボL	ホワイト	900mℓカートリッジ	ℊ7020
	コークボンド	ホワイト,アイボリー,ニューベージュ,ジュラク*,ベニヤ*,ニス*	500ｇチューブ	*は特注色
テイパ化工㈱	アクリルコーク A−100	ホワイト,グレー	330mℓカートリッジ 17ℓ	
㈱東郊産業	ハイシーラー#2000	ホワイト,グレー,アイボリー	17ℓ（ホワイトのみ） 330mℓカートリッジ	ℊ7020
	アクリルジャンボ	ホワイト,グレー	900mℓ ジャンボカートリッジ	ℊ7020
	アクリルSPジャンボ	ホワイト	900mℓソーセージパック	ℊ7020
日東ポリマー工業㈱	エラスコーク	ホワイト,グレー,アイボリー	17ℓ 330mℓカートリッジ 500ｇチューブ	ℊ7020
	エラスコークブリット	ホワイト	700mℓフィルムパック 350mℓフィルムパック	ℊ7020
㈱日本化学研究所	ニッカシールA	白	17ℓ	ALC,PC専用
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo.1000	ホワイト,グレー	17ℓ缶	ℊ7020
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#301	白	17ℓ 330mℓカートリッジ 900mℓカートリッジ	ℊ7020
㈱服部商店	サンシール#5001	ホワイト,グレー,アイボリー	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	ℊ7020
三星産業㈱	三星シールAC	ホワイト,グレー	17ℓ 333mℓカートリッジ	ℊ7020
ヤマウチ㈱	トップシーラー #5000 #5000N	白,グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ	ℊ7020 N：凍結防止品

ブチルゴム系シーリング材

会社名	商品名		色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエース P−3000		グレー	18ℓ	
	デュアリボン3000		グレー	320mℓカートリッジ	
関西パテ化工㈱	セルシールB		グレー,新茶	18ℓ 333mℓカートリッジ	
コニシ㈱	ボンドシールパテ		グレー	18ℓ	
	ボンドブチルコーク		灰,新茶,青	330mℓカートリッジ	
サンスター技研㈱	ペンギンシール850		グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
三洋工業㈱	ブチラー	K-18	グレー,新茶,ブラウン,ブルー	18ℓ	
		C-330	〃	333mℓカートリッジ	
サンライズメイセイ㈱	SRコーキングR−40		グレー	18ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールB		グレー,ホワイト,ブラック,ブラウン	17ℓ 330mℓカートリッジ	
住友スリーエム㈱	リボンシール		グレー	300mℓカートリッジ	
世界長㈱	セカイチョーシーラーRB		グレー,シンチャ,シルバー	320mℓカートリッジ 18ℓ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
セメダイン㈱	ブチルシール　S－620	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
大日化成㈱	サンシーラーB	グレー	17ℓ	
	サンシーラーBK	グレー,ブラウン,黒	1/3ℓカートリッジ	
㈱タイルメント	アークシール　S－600	ホワイト,グレー,アルミ*,シンチャ*,レンガ*,ブルー,ブラック	333mℓカートリッジ	*は特注色
テイパ化工㈱	ブチルコーク　B－100	グレー	330mℓカートリッジ 18ℓ	
㈱東郊産業	ハイシーラー#3000	グレー,ブラック,新茶	330mℓカートリッジ	
日興化学工業㈱	プレンシール	グレー,黒	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
日東ポリマー工業㈱	ニューゴムコーキング	グレー,黒	330mℓカートリッジ	
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo.150	グレー	18ℓ缶 330mℓカートリッジ	
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#201	グレー,各色	20kg缶 330mℓカートリッジ	
㈱服部商店	サンシール#601	グレー,新茶,レンガ,青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
早川ゴム㈱	ミケロンコーク	黒,グレー	330mℓカートリッジ 16ℓ 330mℓチューブ	
日立化成ポリマー㈱	ハイボン310	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ	
三星産業㈱	三星シールブチル	灰,新茶,赤,青	333mℓカートリッジ	
ヤマウチ㈱	トップシーラー#30	グレー,黒,茶ほか	18ℓ 330mℓカートリッジほか	用途別多品種取揃

油性コーキング材

会社名	商品名		色	容量・荷姿	備考
㈱エービーシー商会	ABCコーキング		グレー	18ℓ	
関西パテ化工㈱	Kコーク		グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ 1kgチューブ 500gチューブ	㊐
コニシ㈱	ボンド油性コーク		グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ	
	ボンドコーキング		グレー	500gチューブ	
サンスター技研㈱	ペンギンシール750		グレー	333mℓカートリッジ 18ℓ	㊐
三洋工業㈱	スリーコーキング	K-18	グレー	18ℓ	㊐
		C-330	〃	330mℓカートリッジ	〃
		Y-800	〃	800mℓチューブ	〃
サンライズメイセイ㈱	SRシールB20G		グレー	17ℓ 670mℓチューブ 333mℓチューブ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールP		グレー,ホワイト,ブラウン	17ℓ 330mℓカートリッジ 500gチューブ 1kgチューブ	㊐
昭石化工㈱	エバーシール		グレー	18ℓ缶	㊐
世界長㈱	ケミコーク		グレー	320mℓカートリッジ 18ℓ	㊐

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
セメダイン㈱	ポリコーク	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	㊐
大日化成㈱	サンコーク	グレー	17ℓ	
	サンコークK	グレー,ブラウン	1/3ℓカートリッジ	
㈱タイルメント	アークシール S−700	グレー	320mℓカートリッジ	
テイパ化工㈱	グレインコート	グレー	330mℓカートリッジ 18ℓ	㊐
㈱東亜応用化工	ポリシール#100	グレー,ブロンズ,白	18ℓ 330mℓカートリッジ	㊐
㈱東郊産業	ハイシーラーハイコーク	グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ 500ｇチューブ	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク100G	グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ,他	
㈱日本化学研究所	ニッカシール	グレー	18ℓ	
	ニッカシールカートリッジ	グレー	400mℓカートリッジ	
日本添加剤工業㈱	ファインコーク	グレー	16.5ℓ缶 330mℓカートリッジ	
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#101	グレー	26kg缶 330mℓカートリッジ	㊐
㈱服部商店	サンシール#101	グレー,新茶,レンガ,青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	㊐
三星産業㈱	三星コーキン	グレー	18ℓ 800mℓチューブ 500mℓチューブ 360mℓカートリッジ	

新基材

変成ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
三洋工業㈱	スリーコールC−320	グレー,ホワイト	320mℓカートリッジ	
セメダイン㈱	ポリシール1（ワン）	グレー,ホワイト	4ℓペール缶 900mℓカートリッジ	1成分形
日東ポリマー工業㈱	パーマシール	ホワイト,アイボリー,グレー,ブラック,アンバー	330mℓカートリッジ	1成分形
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#601	グレー,各色	330mℓカートリッジ	

LOBSTER®

エビ印 エアー式 コーキング ハツリ システム

PM-106M

ハツリ効率 3倍アップの ハイパワー

小型・軽量(800g)
サッシまわりにも使用OK!

○コーキングチッパー CC-M
(空気消費量0.23㎥/min)

○チゼルMC-7・MC-12・MC-15
(刃幅7mm・12mm・15mm)

システム内容

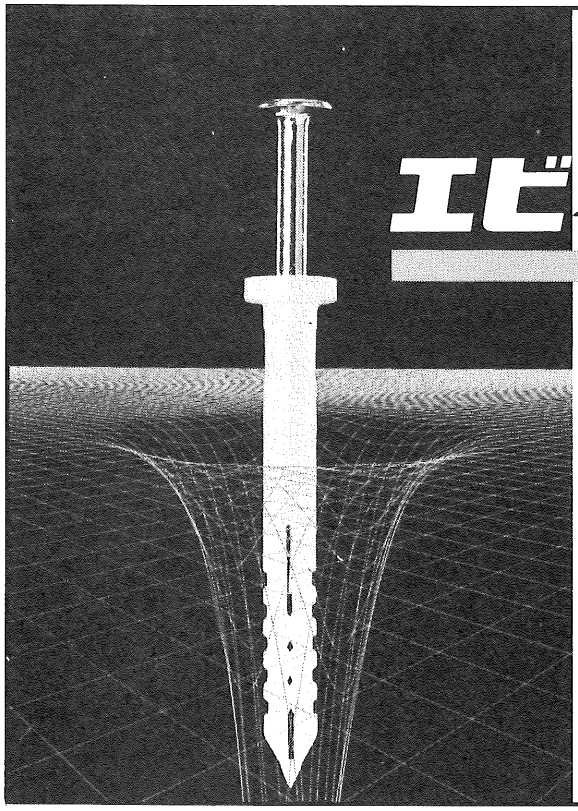
PM-106M…コーキングチッパーCCM(チゼル付)・エアーホース・軽便グラインダー
電源トリプルコード・コンプレッサー

作業工具 省力工具
LOBSTER
エビ印工具

日本理器株式會社

大　阪　〒578 東大阪市中新開116－1　☎ 0729(62)1601(代)
東　京　〒175 東京都板橋区高島平2-6-4　☎ 03(3550)3671(代)
名古屋　〒462 名古屋市北区八竜町1－40　☎ 052(915)0431(代)

札　幌☎011(251)5721
仙　台☎022(284)5602
厚　木☎0462(22)7631
金　沢☎0762(23)8010
高　松☎0878(61)6110
広　島☎082(292)4422(代)
福　岡☎092(431)0395(代)



打ち込んで ガッチリ固定。

LOBSTER®

エビネイルプラグ

NP5-35/6

スティール釘	NP4-25/5	ステンレス釘 (SUS×M7)	SNP4-25/5
	NP5-35/6		SNP5-35/6
	NP5-50/20		SNP5-50/20
	NP6-35/6		SNP6-35/6
	NP6-50/20		SNP6-50/20

防水シート・水切材施工に最適!!

ウエーブ溝で首下スリムな特殊ナイロン
スリーブは打ち込みやすく保持力強固。

日本理器株式會社

大　阪　〒578 東大阪市中新開116－1　☎(0729)62－1601(代)
東　京　〒175 東京都板橋区高島平2-6-4　☎(03)3550－3671(代)
名古屋　〒462 名古屋市北区八竜町1－40　☎(052)915－0431(代)

営業所
札　幌　☎(011)251－5721
仙　台　☎(022)284－5602
厚　木　☎(0462)22－7631
金　沢　☎(0762)23－8010
高　松　☎(0878)61－6110
広　島　☎(082)292－4422(代)
福　岡　☎(092)431－0395(代)

平成3年度 日本シーリング工業会役員

会長
理事 横浜ゴム㈱

副会長
理事 サンスター技研㈱
理事 昭石化工㈱

理事会
理事 信越化学工業㈱
同 カネボウ・エヌエスシー㈱
同 コニシ㈱
同 東芝シリコーン㈱
同 東レチオコール㈱
同 東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱
同 セメダイン㈱
同 日立化成ポリマー㈱
同 世界長㈱
同 エービーシー商会㈱
同 オート化学工業㈱
同 日本添加剤工業㈱

会計監事
会計監事 日東電工㈱
同 日本シーカ㈱
同 三洋工業㈱

名誉顧問
西 忠雄

顧問
小池迪夫
加藤正守

相談役
岩崎一
渡辺三郎
青木済
梅沢芳朗
太田稔

委員会構成表

	(委員長)	(副委員長)
総務委員会	東レチオコール㈱	横浜ゴム㈱
技術委員会	サンスター技研㈱	カネボウ・エヌエスシー㈱ 東芝シリコーン㈱　横浜ゴム㈱
広報委員会	日立化成ポリマー㈱	カネボウ・エヌエスシー㈱
調査委員会	コニシ㈱	サンスター技研㈱　世界長㈱
検定委員会	東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	セメダイン㈱　横浜ゴム㈱ 三洋工業㈱　信越化学工業㈱

分科会構成表

機能別分科会

	(リーダー)	(サブリーダー)
○弾性系1成分形分科会	オート化学工業㈱	信越化学工業㈱
○弾性系2成分形分科会	サンスター技研㈱	横浜ゴム㈱
○非弾性系1成分形分科会	世界長㈱	日東ポリマー工業㈱

支部組織

- 北海道支部
- 仙台支部
- 東京支部
- 名古屋支部
- 大阪支部
- 広島支部
- 福岡支部

日本シーリング材工業会

会員名簿

事務局所在地

〒101　東京都千代田区外神田2－2－17　共同ビル　電話 03（3255）2841

1．正会員　39

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	東京都千代田区永田町2―12―14	100	(03)3507　7111
オート化学工業㈱	〃　港区西新橋2―23―1　第3東洋海事ビル	105	(03)3437　3482
カネボウ・エヌエスシー㈱	大阪府箕面市船場西1―6―5　カネボウ千里ビル	562	(0727)28　4701
関西パテ化工㈱	〃　東大阪市日下町3―7―36	579	(0729)82　2131
コニシ㈱	大阪市中央区平野町2―1―2　沢の鶴ビル	541	(06) 228　2970
サンスター技研㈱	大阪府高槻市明田町7―1	569	(0726)81　0351
三洋工業㈱	東京都江東区亀戸6―20―7	136	(03)3685　3452
サンライズメイセイ㈱	大阪府堺市浜寺石津町中1―4―7	592	(0722)44　7500
シャープ化学工業㈱	〃　堺市築港浜寺西町13―12	592	(0722)68　0321
昭石化工㈱	東京都渋谷区代々木1―11―2	151	(03)3320　2005
信越化学工業㈱	〃　千代田区神田鍛冶町3―6―7　フジトシビル5Ｆ	101	(03)3256　3651
㈱スリーボンド	〃　八王子市狭間町1456	193	(0426)61　1333
世界長㈱	兵庫県西宮市津門大箇町8―39	663	(0798)26　5724
セメダイン㈱	東京都品川区東五反田4―5―9	141	(03)3442　1341
大日化成㈱	大阪府門真市末広町8―13	571	(06) 909　6755
㈱タイルメント	名古屋市中村区宿跡町1―58	453	(052)412　7321
武田薬品工業㈱	大阪市中央区道修町2―3―6	541	(06) 204　2480
テイパ化工㈱	〃　東淀川区下新庄3―11―28	533	(06) 328　1118
㈱東亜応用化工	香川県坂出市室町1―3―32	762	(0877)46　2185
㈱東郊産業	岐阜県可児郡御嵩町前沢字日蔭前4475	505-01	(0574)67　0110
東芝シリコーン㈱	東京都港区六本木6―2―31　東京日産ビル	106	(03)3479　3501
東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	〃　中央区日本橋室町2―3―16　三井ビル6号館	103	(03)3246　1641
東レチオコール㈱	千葉県浦安市美浜1―8―1　東レビル	279	(0473)50　6151
日興化学工業㈱	東京都江東区白河4―9―5	135	(03)3642　7155
日東電工㈱	〃　千代田区麹町5―7―2　第31森ビル	102	(03)3264　2101
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2―5―1	660	(06) 418　7421
日本シーカ㈱	東京都大田区大森北2―4―18　東京建物大森ビル	143	(03)3767　9821
日本添加剤工業㈱	〃　板橋区前野町1―21―5	174	(03)3965　5731
日本フランシール㈱	〃　港区赤坂1―9―20　第16興和ビル別館	107	(03)3587　4711
㈱ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4―19―4	332	(0482)23　4511
バイエル合成シリコーン㈱	東京都港区高輪4―10―8　京急第7ビル	108	(03)3280　9881
㈱服部商店(淀支店)	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631　3128
早川ゴム㈱	東京都江東区佐賀1―16―10	135	(03)3642　9434
日立化成ポリマー㈱	〃　千代田区内神田1―13―7　四国ビル	101	(03)3294　4501㈹
保土谷建材工業㈱	〃　港区浜松町1―18―14　スパックスビル	105	(03)3437　9471
三井東圧化学㈱	〃　千代田区霞が関3―2―5　霞が関ビル	100	(03)3592　4700
三星産業㈱	〃　千代田区神田小川町3―28　三東ビル	101	(03)3292　1961

ヤマウチ㈱	大阪府枚方市招提田近2—7	573	(0720)56 1131
横浜ゴム㈱	神奈川県平塚市中原上宿900	254	(0463)31 3002

(1) 北海道支部 15

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
オート化学工業㈱	札幌市東区北15条東3丁目10—35 岩田商会内	065	(011)741 3302
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産㈱内	060	(011)261 8271
コニシ㈱	〃 西区琴似一条5丁目 札幌松井ビル	063	(011)612 0211
サンスター技研㈱	〃 中央区北一条西4丁目 札幌東邦生命ビル	060	(011)271 0392
三洋工業㈱	〃 白石区南郷通21丁目南5—31	003	(011)864 5155
シャープ化学工業㈱	〃 豊平区清田5条2丁目	061-01	(011)883 2489
信越化学工業㈱	〃 中央区北一条西5丁目 北一条ビル	060	(011)221 6471
世界長㈱	仙台市宮城野区小田原弓ノ町31 第一青葉商工ビル	983	(022)295 7051
セメダイン㈱	札幌市中央区北七条西25丁目2—2 協栄生命札幌西ビル	064	(011)644 6621
東芝シリコーン㈱	〃 中央区北一条西3丁目 札幌MNビル10F	060	(011)222 6991
日本シーカ㈱	〃 中央区北二条西2丁目 加森ビル	060	(011)221 6331
日本添加剤工業㈱	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産㈱内	060	(011)261 8271
保土谷建材工業㈱	〃 中央区北一条西5丁目 北一条ビル	060	(011)231 7618
三星産業㈱	〃 中央区南五条西24丁目	061	(011)551 3781
ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱	〃 中央区大通東7丁目	060	(011)241 5111

(2) 仙台支部 11

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
コニシ㈱	仙台市若林区卸町1—6—15 卸町セントラルビル	983	(022)235 3178
サンスター技研㈱	〃 青葉区北目町1—15 エース21ビル	980	(022)261 3391
三洋工業㈱	〃 宮城野区扇町5—9—1	983	(022)232 5311
昭石化工㈱	〃 青葉区国分町2—8 ウェーブ88	980	(022)267 5319
信越化学工業㈱	〃 青葉区一番町4—6—1 仙台第一生命タワービル	980	(022)264 2777
㈱スリーボンド	〃 若林区六丁の目西町8—8	983	(022)287 2905
世界長㈱	〃 宮城野区小田原弓ノ町31 第一青葉商工ビル	983	(022)295 7051
セメダイン㈱	〃 若林区卸町2—12—14	983	(022)284 6167
日立化成ポリマー㈱	〃 青葉区一番町1—5—5 日立仙台別館	980	(022)227 8665
三星産業㈱	〃 青葉区本町1—3—16	980	(022)262 5201
ヨコハマゴム工業品東北販売㈱	〃 宮城野区萩野町3—1—8	983	(022)284 0437

(3) 東京支部 27

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	東京都千代田区永田町2—12—14	100	(03)3507 7240
オート化学工業㈱	〃 港区西新橋2—23—1 第3東洋海事ビル	105	(03)3437 3482
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃 千代田区平河町1—3—13 菱進平河町ビル	102	(03)3221 2384
コニシ㈱	〃 台東区台東4—28—11 第一勧銀渋沢ビル	110	(03)5688 2280
サンスター技研㈱	〃 港区三田1—3—35 ヤナバビル	108	(03)3453 9301
サンライズメイセイ㈱	横浜市神奈川区三枚町299—5	221	(045)383 4651
シャープ化学工業㈱	東京都江東区東陽5—26—1 小川ビル	135	(03)3649 8103
昭石化工㈱	〃 渋谷区代々木1—11—2	151	(03)3320 2005
信越化学工業㈱	〃 千代田区神田鍛冶町3—6—7 フジトシビル	101	(03)3256 3651
世界長㈱	〃 渋谷区道玄坂2—10—7 新大宗ビル	150	(03)3462 5161
セメダイン㈱	〃 品川区東五反田4—5—9	141	(03)3442 1341
テイパ化工㈱	〃 港区新橋6—10—3 遠江ビル	105	(03)3431 9357
東京ハマタイト㈱	〃 港区芝浦2—13—7 宇徳田町ビル	108	(03)3769 3111
㈱東郊産業	埼玉県大宮市東大宮1—30—14	330	(0486)85 6272
東芝シリコーン㈱	東京都港区六本木6—2—31 東日ビル	106	(03)3479 3501
東レチオコール㈱	千葉県浦安市美浜1—8—1 東レビル	279	(0473)50 6151
日興化学工業㈱	東京都江東区白河4—9—5	135	(03)3642 7155

日東電工㈱	〃　千代田区麹町5—7—2　第31森ビル	101	(03)3295　4441
日東ポリマー工業㈱	〃　千代田区外神田2—2—17　共同ビル	101	(03)3255　6338
日本シーカ㈱	〃　大田区大森北2—4—18　東京建物大森ビル	143	(03)3436　4131
日本添加剤工業㈱	〃　板橋区前野町1—21—5	174	(03)3965　5731
㈱ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4—19—4	332	(0482)23　4511
早川ゴム㈱	東京都江東区佐賀1—16—10	135	(03)3642　9430
日立化成ポリマー㈱	〃　千代田区内神田1—13—7　四国ビル	101	(03)3294　4501
保土谷建材工業㈱	〃　港区浜松町1—18—14　スバックスビル	105	(03)3437　9471
三井東圧化学㈱	〃　千代田区霞が関3—2—5　霞が関ビル	100	(03)3592　4697
三星産業㈱	〃　千代田区神田小川町3—28　三東ビル	101	(03)3292　1961

(4) 名古屋支部　18

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
カネボウ・エヌエスシー㈱	名古屋市中村区名駅4—17—19　鐘紡ビル	450	(052)583　8606
コニシ㈱	〃　中区栄5—28—12　興亜火災名古屋ビル	460	(052)262　8173
サンスター技研㈱	〃　千種区萱場町2—4—7　サンスタービル	464	(052)722　6815
三洋工業㈱	〃　緑区鳴海町字母呂後26	458	(052)623　0061
サンライズメイセイ㈱	〃　名東区一社3—90　チサンビル202号	465	(052)703　2061
昭石化工㈱	〃　中区丸の内1—17—19　長銀ビル	460	(052)231　6568
信越化学工業㈱	〃　中村区名駅4—27—23　名古屋三井ビル東館4F	450	(052)581　6511
世界長㈱	〃　東区矢田町8—20	461	(052)722　3301
セメダイン㈱	〃　千種区井上町34	464	(052)781　3166
テイパ化工㈱	大阪市東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328　1118
㈱東郊産業	岐阜県可児郡御嵩町前沢字日蔭前4475	505-01	(0574)67　0110
東芝シリコーン㈱建材営業部	名古屋市中区錦3—6—29　サンハウス7F	460	
日本シーカ㈱	〃　千種区内山3—10—17　今池セントラルビル	464	(052)733　7353
日本添加剤工業㈱	〃　中村区太閤4—1—18　フタバビル	453	(052)451　8632
㈱服部商店	〃　中区丸の内2—18—1	460	(052)221　9461
日立化成ポリマー㈱	〃　中村区名駅南1—24—21　名古屋三井ビル別館5F	450	(052)581　2967
保土谷建材工業㈱	〃　中区錦1—17—13　名興ビル	460	(052)231　7225
横浜ゴム㈱	〃　中区錦1—17—13　名興ビル3F	460	(052)231　4321

(5) 大阪支部　23

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	大阪市淀川区西中島4—2—9	532	(06) 305　1181
カネボウ・エヌエスシー㈱	大阪府箕面市船場西1—6—5　カネボウ千里ビル	562	(0727)28　4701
コニシ㈱	大阪市中央区平野町2—1—2	541	(06) 228　2961
サンスター技研㈱	大阪府高槻市明田町7—1	569	(0726)84　0600
サンライズメイセイ㈱	〃　堺市浜寺石津町中1—4—7	590	(0722)44　7500
シャープ化学工業㈱	〃　堺市築港浜寺西町13—12	592	(0722)68　0321
昭石化工㈱	大阪市北区梅田2—4—9　サンケイビル	530	(06) 341　6395
信越化学工業㈱	〃　西区江戸堀1—11—14　日本火災大阪ビル	550	(06) 444　8226
世界長㈱	兵庫県西宮市津門大箇町8—39	663	(0798)26　5724
セメダイン㈱	大阪市中央区島之内1—15—14	542	(06) 251　3555
大日化成㈱	大阪府門真市末広町8—13	571	(06) 909　6755
武田薬品工業㈱	大阪市中央区道修町2—3—6	541	(06) 204　2481
テイパ化工㈱	〃　東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328　1118
㈱東亜応用化工	香川県坂出市室町1—3—32	762	(0877)46　2185
東芝シリコーン㈱	大阪市中央区本町2—6—8　センバセントラルビル	541	(06) 251　6272
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2—5—1	660	(06) 418　7421
日本シーカ㈱	大阪市北区野崎町7—8　梅田パークビル	530	(06) 315　7851
日本添加剤工業㈱	〃　西区江戸堀1—5—13　大阪新日本会館ビル	550	(06) 443　6231
㈱服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631　3128
日立化成ポリマー㈱	大阪市中央区北浜3—5—29　日生日立ビル	541	(06) 202　6341
保土谷建材工業㈱	〃　中央区高麗橋4—2—7	541	(06) 203　4651
ヤマウチ㈱	〃　淀川区西中島4—3—2　新大阪丸正ビル	532	(06) 301　3336

横浜ゴム㈱	大阪市北区堂島1—5—17　堂島グランドビル	530	(06) 345　1425

(6) 広島支部　11

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
カネボウ・エヌエスシー㈱	広島市中区舟入幸町8—11　サンケイハイム	730	(082)234　9322
コニシ㈱	〃　西区上天満町3—14　渋谷ビル	733	(082)294　8811
サンスター技研㈱	〃　西区商工センター5—15—25	733	(082)277　8444
三洋工業㈱	〃　東区曙町4—50	730	(082)261　9321
サンライズメイセイ㈱	〃　西区三篠町3—20—19　中川ビル１Ｆ	733	(082)230　0019
信越化学工業㈱	〃　中区中町7—32　日本生命広島ビル	730	(082)248　3931
世界長㈱	〃　中区江波本町15—33	730	(082)295　0371
セメダイン㈱	〃　中区鶴見町12—13　昇和ビル	730	(082)249　0941
日本添加剤工業㈱	大阪市西区江戸堀1—5—13　大阪新日本会館ビル	550	(06) 443　6231
㈱服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631　3128
横浜ゴム㈱	広島市中区鉄砲町5—16　広島サンケイビル９Ｆ	730	(082)227　8105

(7) 福岡支部　16

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
カネボウ・エヌエスシー㈱	福岡市中央区大手門3—7—9	810	(092)752　0024
コニシ㈱	〃　南区清水3—24—19	815	(092)551　1761
サンスター技研㈱	〃　博多区店屋町8—24　九勧日産ビル	812	(092)281　3581
三洋工業㈱	〃　博多区大字板付866	816	(092)581　3438
サンライズメイセイ㈱	福岡県宗像郡福間町字長引3464　桜井ビル	811-32	(0940)43　2254
昭石化工㈱	福岡市博多区綱場町2—2　福岡第１ビル	812	(092)291　0008
信越化学工業㈱	〃　中央区天神1—12—20　日之出東京海上ビル	810	(092)781　2782
世界長㈱	〃　博多区博多駅東2—8—26　第３白水駅東ビル	812	(092)474　5582
セメダイン㈱	〃　中央区大手門1—9—22　大手門ビル	810	(092)741　7188
テイパ化工㈱	大阪市東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328　1118
東芝シリコーン㈱	福岡市中央区長浜1—1—1　ＫＢＣビル８Ｆ	810	(092)781　8071
日本シーカ㈱	〃　博多区博多駅東３丁目11—14　第３ムカイビル	812	(092)472　1684
日本添加剤工業㈱	大阪市西区江戸堀1—5—13　大阪新日本会館ビル	550	(06) 443　6231
日立化成ポリマー㈱	福岡市中央区天神1—14—16　三栄ビル	810	(092)712　4243
保土谷建材工業㈱	〃　中央区大名2—9—2　福岡共栄火災ビル４階	810	(092)751　3506
ヨコハマゴム工業品九州販売㈱	〃　中央区薬院1—7—4	810	(092)711　8541

2. 賛助会員

(1) 日本シーリング工業会賛助会員　24

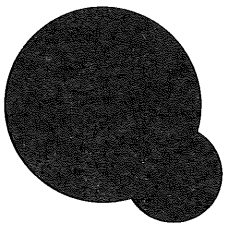
会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業㈱	東京都千代田区有楽町1—1—2　日比谷三井ビル	100	(03)3507　2957
㈱井上製作所東京支店	〃　渋谷区渋谷3—25—10　小池ビル201	150	(03)3407　4331
㈱小野田	〃　台東区上野5—15—14　御徒町ＣＹビル８Ｆ	110	(03)3837　0965
化研マテリアル㈱	〃　港区西新橋3—8—1　第２鈴丸ビル	105	(03)3436　3011
鐘淵化学工業㈱	〃　港区元赤坂1—3—12　赤坂センタービル	107	(03)3479　9675
㈱菅野製作所	〃　北区志茂3—3—26	115	(03)3903　3140
光栄商事㈱	〃　練馬区上石神井1—20—6　第３光栄ビル	177	(03)3928　5811
㈱昭和丸筒	大阪市北区堂島浜1—4—19　日土地堂島ビル８Ｆ	530	(06) 345　3751
白石カルシウム㈱	〃　北区同心2—10—5	530	(06) 358　1181
白石工業㈱	東京都中央区日本橋茅場町1—11—3　岡本ビル	103	(03)3639　5066
㈱新和商会	〃　荒川区西日暮里2—24—14	116	(03)3803　1411
大進商工㈱	〃　北区東十条3—13—19	114	(03)3912　8447
㈱ダイフレックス	〃　千代田区平河町2—4—16　平河中央ビル	102	(03)3230　4311
タカビシ化学㈱	大阪市中央区平野町1—2—4	541	(06) 231　8751
㈳日本カーテンウォール工業会	東京都港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03)3409　6981
日本ソセー工業㈱	名古屋市南区南野1—99	457	(052)612　7321

日本バックアップ工業㈱	〃　中野区中央1—10—5	164	(03)3369　0215
日本ポリウレタン工業㈱	〃　港区虎ノ門1—2—8　虎ノ門琴平会館	105	(03)3508　0621
日本触媒化学工業㈱	東京都千代田区内幸町1—2—2　日比谷ダイビル	100	(03)3506　7553
野口興産㈱	〃　練馬区豊玉北2—10	176	(03)3994　5601
㈱野村事務所	〃　港区西新橋1—1—15　物産ビル別館	105	(03)3502　1468
日立化成工業㈱	〃　新宿区西新宿2—1—1　新宿三井ビル	163	(03)3346　3111
フヨー㈱	〃　墨田区業平5—5—6	130	(03)3626　3371
ミキスタ工業㈱	〃　中央区日本橋蠣殻町1—33—7	103	(03)3669　9471

(2)　日本シーリング工業会大阪支部賛助会員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱井上製作所大阪支店	大阪市淀川区三津屋南3—6—20	532	(06) 301　2637
栄光産業㈱	〃　淀川区宮原1—18—20	532	(06) 393　2511
大阪御国商事㈱	茨木市横江2—1—12	567	(0726)34　8214
鐘淵化学工業㈱	大阪市北区中の島3—2—4　朝日新聞ビル	530	(06) 226　5331
鐘工業㈱	〃　都島区高倉町1—11—12	534	(06) 921　4231
岸田資材工業㈱	神戸市兵庫区中道通り5—1—13	652	(078)575　2953
㈱旭栄	大阪市北区天神橋1—1—1　中塚ビル	530	(06) 354　0356
三省物産㈱	〃　中央区南船場4—1—9	542	(06) 252　5541
白石カルシウム㈱	〃　北区同心2—10—5	530	(06) 358　1181
白石工業㈱	兵庫県尼崎市元浜町4—78	660	(06) 417　3131
㈱ジャビコ	大阪市北区梅田2—4—9　サンケイビル本館	530	(06) 345　6871
竹原化学工業㈱	〃　北区梅田1—12—17　梅田ビル	530	(06) 343　0591
㈱野村事務所	〃　中央区南船場4—12—8　関西心斎橋ビル	542	(06) 243　0341
フヨー㈱	〃　淀川区宮原5—6—10	532	(06) 395　0201
㈱前田精市商店	〃　中央区内平野町1—3—2　万所ビル	540	(06) 942　7032
三国金属工業㈱	大阪府豊中市豊南町西4—7—20	561	(06) 332　0251
㈱宮崎	大阪市中央区平野町3—4—9	541	(06) 231　5891
モリシタ化学産業㈱	〃　天王寺区勝山通り1—6—7	543	(06) 771　3929
㈱山本製作所	〃　阿倍野区松崎町2—7—10	545	(06) 623　5170
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	〃　西区京町堀1—17—16　スミトー京町堀ビル	550	(06) 446　6701

未来へ、いい仕事。



●シーリング工事
●店舗＆リフォーム

建設大臣許可(般 63) 第9923号
一級建築士事務所東京都知事登録 第20035号
未来へ、いい仕事・・・
理建工業株式会社

●本社:130東京都墨田区太平4丁目22番4号　PHONE(03)3622-4081代表
●横浜営業所:220横浜市西区岡野2丁目15番8号　PHONE(045)313-1371代表

日本シーリング工事業協同組合連合会の歩み

山本　勇

私たちの団体略称は，日シ工連と呼称いたします。組織形態は全国を10地区にわけ，各地区に地区団体を置き，東京の本部において総括運営いたしております。目的は傘下会員各社の技能，技術のレベルアップを目指す教育情報事業の推進と，企業力安定のための団結力の醸成にあります。

昭和44年４月に，メーカー団体である日本シーリング工業会の施工部会より，施工業者のみの独立団体を結成誕生させ，爾来現今に至るまで，各地区団体の事業協同組合への改組を指導し，平成２年３月に至り，これが法人化を遂に完了致しました。同時に本部組織を事業協同組合連合会に改組致し，組織の体制作りを完成したわけであります。今後シーリング防水の重要性を益々認識し，シーリング管理士と防水技能士の養成と確保に努力し，お得意先各位の信頼にこたえるプロ作業員の育成に邁進致す所存でございます。

（日本シーリング工事業協同組合連合会会長）

完璧なるプロの仕事!!

スリーピー
P.P.P(3P)

·Perfect
·Professional
·Personal

優秀な技術管理(シーリング管理士)と
国家認定技能(シーリング防水技能士)
をもつ団体!!
シーリング防水施工の発注は
〝プロの集団〟右記団体会員へ

日本シーリング工事業協同組合連合会
本部 〒105 東京都港区浜松町１の11の11康進ビル４F
Tel.03(3432)5788　Fax.03(3459)9575

北海道地区　北海道シーリング工事業協同組合
住　所　〒060　札幌市中央区北2条東10－15－28
電　話　011(251)3364

東北地区　東北シーリング工事業協同組合
住　所　〒982　仙台市若林区中倉３－18－16
電　話　022(235)3218

関東地区　東日本シーリング工事業協同組合
住　所　〒135　東京都江東区深川２－15－23　小泉ビル
電　話　03(3641)9561

中部地区　中部シーリング工事業協同組合
住　所　〒460　名古屋市中区丸の内１－２－28　吉村ビル
電　話　052(201)7086

東海静岡地区　静岡県シーリング工事業協同組合
住　所　〒422　静岡市西島473－１
電　話　0542(83)9530

北陸地区　富山県シーリング工事業協同組合
住　所　〒930　富山市柳町４－９－１
電　話　0764(33)8966

近畿地区　関西シーリング工事業協同組合
住　所　〒541　大阪市中央区島町２－１－５　大阪府建団連会館
電　話　06(946)2226

中国地区　中国シーリング工事業協同組合
住　所　〒730　広島市中区八丁堀１－12　キョーリンビル
電　話　082(222)7578

四国地区　四国シーリング工事業協同組合
住　所　〒790　松山市二番町４－１－５　愛媛県建築士会館
電　話　0899(47)2300

九州地区　九州シーリング工事業協同組合
住　所　〒810　福岡市中央区桜坂２－１－３　荒川ビル
電　話　092(781)5660

日本シーリング工事業協同組合連合会

会　員　名　簿

本部・支部所在地

事　務　局	所　在　地	郵便番号	電話番号
本　部	東京都港区浜松町1—11—11　康進ビル４Ｆ	105	(03)3432　5738
北海道シーリング工事業協同組合	札幌市中央区北２条東10—15—28	060	(011)251　3364
東北シーリング工事業協同組合	仙台市若林区中倉3—18—16	982	(022)235　3218
東日本シーリング工事業協同組合	東京都江東区深川2—15—23　小泉ビル内	135	(03)3641　9561
静岡県シーリング工事業協同組合	静岡市西島473—1	422	(0542)83　9530
中部シーリング工事業協同組合	名古屋市中区丸の内1—2—28　吉村ビル４Ｆ	460	(052)201　7086
富山県シーリング工事業協同組合	富山市柳町4—1—9	930	(0764)33　8966
関西シーリング工事業協同組合	大阪市中央区島町2—1—5　大阪府建団連会館内	541	(06) 946　2226
中国シーリング工事業協同組合	広島市中区八丁堀1—12　キョーリンビル	730	(082)222　7578
四国シーリング工事業協同組合	松山市二番町4—1—5　愛媛県建築士会館５Ｆ	790	(0899)47　2300
九州シーリング工事業協同組合	福岡市中央区桜坂2—1—3　荒川ビル21号	810	(092)781　5660

1．北海道シーリング工事業協同組合員　40

会　社　名	所　在　地	郵便番号	電話番号
柏　工　建㈱	旭川市神楽岡６条３丁目	078	(0166)65　0121
㈱片岡コーキング	札幌市西区西野９条5—8—3	063	(011)664　1488
㈱カトウシーリング工業	〃　北区屯田４条8—1—5	001	(011)772　1381
㈲技研シール工業	室蘭市水元町45—2	050	(0143)45　1851
㈱北日本コーキング	苫小牧市しらかば町2—4—5	053	(0144)73　4697
熊　谷　興　業㈱	札幌市北区篠路９条3—5—6	002	(011)771　9381
㈱光　建　シ　ー　ル	〃　南区川沿１条2—4—7	005	(011)572　0820
㈱互建防水工業	帯広市西10条南11—2—6	080	(0155)25　5776
㈲札幌コーキング	札幌市豊平区月寒東２条20丁目	004	(011)851　3782
㈲サンコーシール	〃　北区新琴似６条14丁目	001	(011)762　2669
サ　ン　美　工㈲	旭川市北門町20丁目	070	(0166)52　3309
㈱スズケン興業	〃　東光５条6—188	078	(0166)31　8902
セイコー技建㈱	札幌市東区北34条東17—2—4	065	(011)783　2830
㈲第一コーキング工業	〃　白石区菊水１条２丁目	003	(011)812　9121
第　一　工　業㈱	北見市南町1—8—33	090	(0157)23　4155
㈲大協シーリング	札幌市北区新琴似12条１丁目	001	(011)756　2377
㈲滝川シーリング	滝川市朝日町西３丁目9—7	073	(0125)24　7406
㈱タケイチ工業	札幌市北区新川593—63	001	(011)764　2884
㈱武　田　建　商	旭川市神居６条８丁目	070	(0166)62　1140
㈱中央コーキング	札幌市豊平区西岡１条9—10—15	062	(011)854　0222
㈲トーケン工業	旭川市東２条南10—2—5	073-01	(01255)4　2843
道北シール工業㈱	〃　神居８条13—1—4	070	(0166)62　5088
㈲中井シール工業	札幌市厚別区厚別北２条2—10—1	004	(011)892　8868
中　田　工　業㈱	千歳市富丘1—18—3	066	(0123)23　3960
中林産業工販㈱	帯広市西17条北1—14	080	(0155)35　5511
㈱日　　研	札幌市豊平区平岸１条２丁目	062	(011)841　6101

函館イーシー工業㈱	函館市高松町129—29	042	(0138)59 5385
㈱馬場工業	〃 本通4—31—18	041	(0138)53 2260
㈱濱建	札幌市中央区北3条東5丁目	060	(011)261 5676
菱テイ東邦興業㈱	〃 北区篠路7条6—5—27	002	(011)772 3272
フタバ工業㈱	〃 中央区北2条東10丁目 すずかけビル	060	(011)231 0046
㈲プラスパー	〃 東区北36条東25丁目1—8	065	(011)786 6188
北星シール工業㈱	〃 白石区本通6丁目北28	003	(011)863 5226
㈲北斗美装工業	砂川市西3条北2丁目	073-01	(01255)2 2918
北洋コーキング㈱	札幌市白石区菊水上町2条3—52	003	(011)821 7947
北海道サン工業㈱	〃 中央区北2条東9丁目	060	(011)251 3648
北海道タイホー㈱	〃 東区北20条東2—15—41	065	(011)731 6351
北海防水工業㈱	旭川市新星町7—6	071	(0166)25 1854
北晄防水工業㈱	札幌市豊平区北野7条4—1—13	004	(011)882 5987
㈱山川興業	函館市榎本町14—1	042	(0138)57 1870
㈱ヤマト工業	札幌市豊平区美園1条6—1	062	(011)812 6347

2. 東北シーリング工事業協同組合員 40

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱旭シーリング	宮城県志田郡鹿島台宏長字深田4	989-41	(0229)56 3531
㈲旭日産業	仙台市青葉区下愛子字原4—1	989	(022)392 6122
㈱青葉エービーシー建販	〃 宮城野区小田原1丁目4—10	983	(022)257 1311
㈲遠藤シール工業	〃 太白区西多賀3—14—34	982	(022)245 2358
大島金属商事㈱	〃 宮城野区名掛丁8	980	(022)291 2288
㈲喜世シーリング商会	〃 青葉区三条町9—28	981	(022)275 0554
㈲進建シーリング工業	〃 若林区若林1—10—23	982	(022)286 1423
仙台高分子工業㈱	〃 太白区青山2—27—9	982	(022)229 5102
トップ工業㈱	〃 若林区新寺3—4—31	980	(022)257 5023
東北化研工業㈱	〃 若林区中倉3—18—16	982	(022)236 1802
㈱日昇工業	〃 宮城野区自由ヶ丘27—16	983	(022)251 5854
㈱久光商会	〃 太白区八木山本町2—32—18	982	(022)229 6560
㈲丸伊工業所	〃 泉区南光台南2—11—10	981-31	(022)252 1971
㈱丸本工業所	〃 宮城野区扇町1—3—6	983	(022)284 6662
㈲我妻工業所	〃 太白区鈎取3—4—13	982	(022)244 5544
㈲東北シール工業	〃 太白区袋原字台93—10	982	(022)241 1269
㈲明星シール工業	宮城県黒川郡富谷町富ケ丘4—20—8	981-33	(022)358 4551
㈲浜建工業	仙台市泉区南光台南2—1—26	981-31	(022)252 4521
郡山シーリング㈱	郡山市富久山町久保田字前田40—2	963	(0249)33 4212
㈱光信工業	いわき市下荒川字剃町32—43	970	(0246)28 1200
㈱郡山医療器製作所	郡山市大町2—16—17	963	(0249)32 1858
福島防水㈱	〃 鳴神120	963	(0249)51 5612
㈱氏家樹脂防水工業	福島県伊達郡桑折町大字南半田字鍛冶屋沢15	969-16	(0245)82 5056
㈲タダキシール工業	福島市吉倉字谷地48—1	960	(0245)46 5222
㈲渡辺防水	郡山市富田字下堰1—11	963	(0249)52 0553
㈲友和シール	いわき市内郷高坂町立野91—1	973	(0246)27 5616
㈲泉工業	盛岡市神子田町9—26	020	(0196)51 4726
㈱小山商店	〃 上堂1—19—9	020-01	(0196)46 9162
㈾小原商店	〃 高松2—13—10	020-01	(0196)62 3301
㈲コークシール工業	岩手県岩手郡滝沢村大字滝沢第11号地割字牧野林302—4	020-01	(0196)84 5311
㈱井村工業	青森市大字大矢沢字里見502	030	(0177)38 5042
㈲池田防水工業	八戸市新湊1—15—4	031	(0178)31 3246
㈲シーリングタナカ	三沢市大字三沢字下夕沢8—8	033	(0176)57 1643
桜シーリング工業	弘前市大字宮園4丁目16—13	036	(0172)35 3750
㈲栄防水工業社	八戸市湊町ホロキ長根34—2	031	(0178)33 2652
㈲興伸	青森市大字三内字里見86—13	030	(0177)82 5800
東北化工㈱	秋田県鹿角郡小坂町上谷地47—18	017	(0186)29 2349
㈲環清工業	湯沢市字祝田145—7	012	(0183)72 0038
㈱三国	秋田市土崎港相染町中谷地36—6	011	(0188)45 7576

山形防水㈲	山形市十日町１丁目1—24	990	(0236)31 2329

3. 東日本シーリング工事業協同組合員 65

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アルファ産業㈱	東京都港区浜松町1—11—11	105	(03)3432 5735
㈲石黒建材社	〃 杉並区阿佐谷北5—12—2	166	(03)3338 0905
㈱石田シール工事	新潟市下場新町20—12	950	(0252)76 5991
伊藤建材㈱	東京都台東区西浅草2—15—9	111	(03)3842 1431
井上建装㈱	〃 北区豊島2—20—13	114	(03)3919 9420
内倉工業㈱	〃 練馬区上石神井4—9—6	177	(03)3928 0386
木元工業㈱	埼玉県志木市下宗岡4—31—6	353	(0484)73 8851
協和シーリング工事㈱	栃木県宇都宮市若草町字宮の関2647—22	320	(0286)24 7072
㈱栗崎工業	東京都葛飾区西亀有2—56—6	124	(03)3620 4901
クニ化学防水㈱	〃 中野区中央1—51—6 クニ防水ビル	164	(03)3362 9321
グロリー防水工業㈱	〃 江戸川区春江町2—39—1	132	(03)3678 4512
京葉シール㈱	〃 墨田区緑4—13—8	130	(03)3631 0106
光栄工業㈱	〃 練馬区上石神井1—20—5	177	(03)3928 2271
㈱工業技術研究所	〃 文京区本郷2—12—6	113	(03)3811 4421
興進工業㈱	〃 新宿区西新宿8—14—19 小林第２ビル５Ｆ	160	(03)3363 8741
山栄興業㈱	〃 目黒区下目黒2—15—4	153	(03)5496 2560
三協防水㈱	〃 千代田区内神田3—4—9 上田ビル３Ｆ	101	(03)3251 6476
三和工業㈱	千葉県市川市相ノ川1—20—20	272-01	(0473)57 5153
㈱ジックス	東京都渋谷区代々木1—30—1 代々木パークビル４Ｆ	151	(03)3370 0121
㈱シーラント	〃 豊島区高野台3—37—33	177	(03)5393 0831
㈲新堂	〃 杉並区荻窪5—1—14 秋山ビル201号	167	(03)3392 8621
清起工業㈱	〃 昭島市玉川町5—15—17	196	(0425)46 5311
タイガー工業㈱	〃 品川区戸越5—17—13	142	(03)3783 0151
大栄建材㈱	〃 板橋区板橋3—30—5	173	(03)3964 1901
㈱大栄興業	〃 練馬区東大泉5—41—28	178	(03)3925 3106
㈲泰成工業	長野市青木島町大塚1053—3	381-22	(0262)86 4290
大和興業㈱	東京都渋谷区本町3—49—15 トプルーム新宿公園	151	(03)3375 3418
高萩興業㈱	〃 江戸川区西小岩5—4—11	133	(03)3650 5261
田代工業㈱	〃 練馬区大泉学園町5—17—23	177	(03)3925 0711
中央建材工業㈱	〃 中央区銀座7—14—3 安田松慶ビル	104	(03)3543 8106
東邦シール㈱	〃 文京区春日2—1—5	112	(03)3815 3047
㈱トーホー・テクニカ	〃 中央区新川1—5—19 茅場町第一長岡ビル２Ｆ	104	(03)3297 3861
㈱東邦レジナ	〃 練馬区中村北2—20—10	176	(03)3926 0007
㈱トミヨシ商会	〃 大田区南馬込5—33—7	143	(03)3775 2203
日本ビソー㈱外装工事部	〃 杉並区方南2—4—6	168	(03)3313 1281
日本防水工業㈱	〃 練馬区富士見台4—43—5	177	(03)3998 8721
パシフィック開発建工㈱	〃 港区新橋5—14—2 鈴工ビル２Ｆ	105	(03)3437 0720
平沢工業㈱	新潟県長岡市前島町237	940-11	(0258)23 1529
ビルコン㈱	東京都文京区千駄木3—42—5	113	(03)3823 6061
北斗工業㈱	埼玉県上福岡市大字駒林680	356	(0492)61 2398
細田工業㈱	東京都港区芝大門2—1—8	105	(03)3432 8731
㈱マコト	〃 台東区台東1—14—7 Ｂビレッヂ５Ｆ	110	(03)3834 6696
㈱マサル	〃 江東区佐賀1—9—14	135	(03)3643 5911
㈱マツダパラウォータ	〃 杉並区高円寺北3—31—15	166	(03)3330 9312
三矢興産㈱	〃 品川区戸越4—6—8	142	(03)3787 0360
㈱山形防水	〃 渋谷区幡ヶ谷2—21—1	151	(03)3377 3481
理建工業㈱	〃 墨田区太平4—22—4	130	(03)3622 4081
瀝青建材㈱	〃 千代田区神田佐久間町2—4	101	(03)3861 2706
レミントン工業㈱	埼玉県大宮市大和田町1—1500—2	330	(0486)83 0161
㈱アートシーリング	東京都渋谷区東2—27—4	150	(03)3406 7535
池田防水工業㈱	〃 江戸川区大杉1—8—14—202	132	(03)3655 6770
吉田建設工業㈱	〃 港区六本木6—9—12	106	(03)3403 0851

㈲トミタ	東京都東久留米市下里7—7—4	203	(0424)73 9237
永福産業㈱	〃 昭島市昭和町4—11—24	196	(0425)45 0053
㈱栄和シーリング工事	〃 調布市深大寺東町2—4—6	182	(0424)88 1654
㈲シグマ	〃 文京区本郷2—40—13	113	(03)3814 3704
㈱第一興産	〃 新宿区西新宿8—2—20	160	(03)3363 9918
拓友防水工業㈱	〃 新宿区新宿1—18—15	160	(03)3350 6252
武蔵工業㈱	〃 東大和市向原2—1047—4	189	(0425)64 5521
クリステル工業㈱	〃 中野区弥生町2—3—10	164	(03)3372 2451
タケダ工業㈱	〃 府中市新町1—45—10	183	(0423)64 0338
㈱藤光	〃 小平市天神町2—199—15	187	(0423)44 2811
シゲル工業㈱	〃 板橋区赤塚3—24—1	175	(03)3977 6161
五十嵐工業㈱	〃 葛飾区東金町5—21—5	125	(03)3608 9531
㈱エヌ・エスシーリング	神奈川県横浜市旭区市沢町870—76 旭日プラザー二俣川209	241	(045)352 1339

4. 静岡県シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
石渡産業㈱	沼津市神田町6—3	410	(0559)21 6061
㈲内田建工	静岡市丸子3—12—47	421-01	(0542)59 0603
㈲エーケン	〃 南379	420	(054)247 1251
大村商事㈲	静岡県榛原郡吉田町神戸3852—1	421-03	(0548)32 2486
掛川シーリング工業	掛川市下垂木2002—6	436-02	(0537)24 0283
㈲三信工業	静岡市曲金1—9—53	422	(0542)83 2180
㈱静岡コーキング工業	〃 西島473—1	422	(0542)81 1618
㈲清水シール工業	清水市横砂西町1—12	424	(0543)63 0915
㈱シンコー工業	〃 北脇新田328—1	424	(0543)46 7859
㈲新静シーリング	静岡市敷地2—18—18	422	(0542)37 2086
関シーリング工業	富士市天間1461—2	419-02	(0545)71 8518
大栄工業㈱	焼津市石脇上133—2	425	(0546)27 9400
㈲ツカコシ商工	浜松市白羽町2676	430	(0534)41 2273
㈱ナカムラシール	〃 市野町933—1	435	(0534)33 2434
㈲中村コーキング工業	掛川市家代49—1	436-02	(0537)23 1184
㈱西村工研	静岡市広野2—5—32	421-01	(0542)58 7537
㈲浜松シーリング工業	浜松市長鶴町177—1	435	(0534)64 3839
不二化成品㈱清水店	清水市鳥坂327	424	(0543)45 7281
㈱ヤグチ工業㈱	富士市伝法710—7	417	(0545)71 5656
和興建材工業㈱	浜松市向宿町212	430	(0534)65 1328

5. 中部シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈲あいさんプルーフ	津島市申塚町1—89	496	(0567)24 2004
愛知トヨタ興業㈱	名古屋市昭和区高辻6—8	466	(052)871 1651
㈲朝日コーキング	〃 西区八筋町347	452	(052)502 8935
㈲市川防水	小牧市大字北外山宮ノ腰56—1	485	(0568)72 0587
㈲岩田シーリング	一宮市文京2—9—11	491	(0586)71 5786
㈲ウォーター・プルーフ・エノキヤ	岐阜県益田郡下呂町小川1681—4	509-22	(05762)5 5033
㈲大久保コーキング	春日井市如意申町字丸山878—1	486	(0568)31 8775
㈲加藤防水工業	名古屋市名東区延珠町802	465	(052)771 6691
北川防水工業所	〃 中区新栄2—48—11	460	(052)241 7628
㈲共和防水工業	〃 昭和区鶴舞2—6—2	466	(052)882 2129
㈱三栄	〃 北区志賀本通2—24	462	(052)981 2134
㈲三栄コーキング	一宮市松降1—3—11	491	(0586)24 1840
三信建材工業㈱	豊橋市鴨田町52—1	440	(0532)45 8211
㈱志水化工	名古屋市西区稲生町3—37—1	451	(052)531 5295
㈱シリコーンエンジニア	〃 名東区上社3—103	465	(052)703 6181
㈱新和技建	名古屋市北区清水1—20—13	462	(052)951 9148

㈲第一防水	〃 中村区中村中町3—45	453	(052)482 1654
大信工業㈱	愛知県海部郡甚目寺町山の浦65	490-11	(052)442 5775
㈱高坂工業	名古屋市中村区五反城町4—31	453	(052)412 0857
隆志建工㈱	愛知県西春日井郡師勝町大字六ッ師500	481	(0568)21 0794
タナカ工業㈱	伊勢市上地町2677—1	516	(0596)23 3113
中央建材工業㈱	名古屋市千種区高見1—6—1	464	(052)761 6181
長陽装業㈲	長野県下伊那郡上郷町飯沼349—1	395	(0265)24 0378
㈱辻商会	東海市名和町八幡東49	476	(052)601 0071
津田硝子㈱	名古屋市天白区一ッ山1—2	468	(052)801 1195
㈱東海工事	豊橋市岩屋町字岩屋下33—13	440	(0532)62 7614
東海物産㈱	名古屋市千種区若水3—20—23	464	(052)721 2211
中村コーキング店	〃 昭和区車田町2—8	466	(052)731 5059
㈲名西商会	愛知県西春日井郡清洲町新清洲6—5—1	452	(052)409 4629
鍋林建工㈱	長野県松本市大手5—5—8	390	(0263)35 6422
日満防水工業㈱	犬山市字角池57—3	484	(0568)67 1810
㈱ノダキ	名古屋市西区名駅3—10—26	450-91	(052)561 4371
㈱ビルメン	〃 北区苗田町16	462	(052)901 1801
㈲フクイ	豊橋市東田町字西郷59	440	(0532)52 5156
フジ工業㈱	名古屋市北区石園町3—21	462	(052)991 4741
フルヤマズコーキング	一宮市北方町中島字中越27—10	493	(0586)86 5355
松村建工㈱	滋賀県愛知郡愛東町大字上中野983—2	527-01	(07494)6 1277
ムラセ工業㈱	名古屋市守山区小幡3—2—14	463	(052)791 4465
㈱名岐	岐阜市籔田3—63	500	(0582)73 2761
森建材商行	名古屋市西区松西町2—87	451	(052)562 1668
山新工業	土岐市旭ヶ丘47—34	509-54	(05725)9 4505
㈲山本コーキング	名古屋市北区浪打町1—37—53	462	(052)915 6275
㈱リノテック	〃 千種区新西2—3—6	464	(052)774 6621

6. 富山県シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
石動コーキング㈱	富山市柳町4—1—9	930	(0764)33 8966
丸協	〃 東中野町2—5—10	930	(0764)23 3754
北陸ビル防設㈱	〃 二口町71—5	939	(0764)21 6924
㈱日本ビルサービス	富山県砺波市三郎丸313	939-13	(07633)3 1202
サン・シーリング工業㈱	富山市飯野134	930	(0764)51 1511
㈱前田コーキング	高岡市細池533	933	(0766)21 4034
岡田コーキング工業	黒部市石田774—3	938	(0765)52 2896
堀越コーキング㈱	富山県射水郡下村加茂3686	933-02	(0766)59 2308
西野メンテナンス工業	〃 砺波市石丸240—8	931-13	(0763)33 2575
若林シーリング店	富山市大塚東205	930-01	(0764)36 6459

7. 関西シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
新和化工㈱	豊中市南桜塚2—1—101	560	(06) 843 0356
エマール工業㈱	大阪市住吉区山之内1—21—21	558	(06) 695 0751
大阪アルファ産業㈱	〃 淀川区西中島4—6—30 チサン第5ビル303	532	(06) 301 5235
㈱大阪シール	〃 北区天満4—11—16	530	(06) 352 2895
㈱大阪防水工業所	守口市梶町1—124—7	570	(06) 903 0016
大阪ユニロン㈱	大阪市福島区玉川2—11—21	553	(06) 448 2341
㈱勝友商会	神戸市東灘区青木5—18—23	658	(078)411 4418
㈱京都シール	京都市山科区音羽八ノ坪町34—15	607	(075)501 1100
共立産業㈱	大阪市中央区本町4—5—2 広和ビル	541	(06) 262 5845
神戸建設㈱	伊丹市荒牧字桑田60	664	(0727)81 5189
三大工業㈱	大阪市西区京町堀3—3—30 第2同盟ビル405号	550	(06) 443 2728
三幸物産㈱	大阪市住吉区万代3—5—9	558	(06) 671 2498

昌栄亀井㈱	尼崎市武庫之荘3—17—11	661	(06) 431 8429
㈱大一防水工業	大東市寺川2—1—1	574	(0720)71 8951
㈱大協建材	大阪市浪速区元町1—13—7　第3カネイチビル	556	(06) 649 4105
大信防水工業㈱	神戸市長田区西丸山町3—3—16	653	(078)642 3760
㈱東光商会	〃　東灘区岡本4—4—6	658	(078)453 2211
㈱東洋防水	大阪市阿倍野区文の里2—3—15	545	(06) 621 3741
㈱中出商会	神戸市兵庫区上沢通6—1—1	652	(078)511 4501
日建瀝青工業㈱	〃　兵庫区水木通8—2—7	652	(078)576 0851
日添工業㈱	大阪市北区天満4—3—9	556	(06) 357 8088
日本化成工業㈱	吹田市南金田1—4—46	564	(06) 385 3886
白洋建材㈱	大阪市都島区本通2—15—1	534	(06) 924 2536
㈲豊栄シール	堺市奥本町1—74	591	(0722)55 0338
㈱美作	守口市八雲西町4—69	570	(06) 991 0500
八尾コーキング	八尾市久宝寺5—4—31	581	(0729)92 3846
㈲吉川美装商事	滋賀県大津市中央3—2—2	520	(0775)24 8289
大阪工業㈱	大阪市西区南堀江3—13—11	550	(06) 531 4814
関西シーリング工業㈱	大阪府南河内郡太子町山田2673—1	583	(0721)98 0239
山陽シール工業㈱	姫路市八代宮前町18—15	670	(0792)97 0658
㈱特殊技研	大阪市北区末広町3—21　星和地所扇町ビル	530	(06) 315 0701
㈱関西住建	京都市伏見区石田大受町31—266	601-13	(075)571 0246
トシダ工業㈱	高槻市芝生町1—14—1	569	(0726)77 1536
ユニオン商事	大阪市西区靭本町3—1—6	550	(06) 445 0753
高橋シーリング	〃　旭区新森3—17—19	535	(06) 951 9585
山下防水建設㈱	大阪市中央区道頓堀2—3—24	542	(06) 211 0553
セキシュウ技研㈱	〃　東淀川区菅原2—11—35	533	(06) 326 1088
㈱天草シール	神戸市東灘区深江南町4—12—7	658	(078)451 0816
㈱高月商会	宝塚市伊子志2—13—12	655	(0797)72 5922
大和シール工業	大阪府南河内郡太子町春日135—2	583	(0721)98 1819
八鉱シーリングコンサルタント	神戸市須磨区妙法寺字牛の子999—28	654	(078)743 2455
ユニオン保全㈱	西宮市染殿町6—12—104	662	(0798)35 8800
㈲京阪防水	堺市小阪115—13	593	(0722)77 5180
㈱泉北特殊防水	〃　槇塚台2—16—24	590-01	(0722)91 4111
宝シール工業㈱	大阪市阿倍野区三明町1—10—9	545	(06) 629 0196
日栄化工㈱	尼崎市武庫之荘本町3—19—22	661	(06) 431 0819
㈲松山工業	堺市神石市之町11—4	590	(0722)65 1200
友田工業㈱	大阪市都島区都島中通3—3—6	534	(06) 921 0331
平木工業㈱	吹田市広芝町7—26　米澤ビル第6江坂	564	(06) 337 7585

8. 中国シーリング工事業協同組合員　28

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アイシン工業㈱	広島市西区楠木町3—6—9	733	(082)238 3883
アオケン㈱	〃　中区舟入幸町19—10	730	(082)292 3200
㈲朝日防水工業	松江市菅田町383	690	(0852)26 3735
㈱岩本商店	福山市曙町5—163—1	721	(0849)53 8798
烏城防水工業㈲	岡山市倉富494—34	703	(0862)77 0364
㈱占部防水工業	福山市御船町1—11—7	720	(0849)21 1458
㈲小野甚商店	岡山市丸の内1—13—13	700	(0862)25 4868
㈱川合防水商会	倉敷市早高118—1	710	(0864)28 4611
山陰シール工業	米子市両三柳165—4	783	(0859)32 2287
㈱サンゼオン	広島市西区中広町3—17—16	733	(082)291 1631
㈱三洋技研広島支店	〃　西区庚午南1—3—30	733	(082)271 9317
高橋工業㈱	福山市野上町1—11—8	720	(0849)21 2570
中国特殊防水産業㈲	広島市西区中広町3—11—9	733	(082)231 9958
中国冨士化工建設㈱	〃　東区矢賀1—5—52	732	(082)284 3117
㈱ツキタニ工業	広島県安芸郡府中町本町1—11—3	735	(082)282 7019
日化工材㈱	岡山市表町2—6—21	700	(0862)25 2021
ニッテイ㈱	新南陽市新田2—7—50	746	(0834)63 2532

日本シール工業㈱	広島市西区楠木町4—15—39	733	(082)238 7447
㈲肥田工業	〃 東区戸坂新町2—3—5	732	(082)229 3411
広島アルファ産業㈱	〃 西区中広町2—25—14	733	(082)293 6557
㈲フヂ防水工業	〃 佐伯区海老園2—11—17	731-51	(0829)22 9757
フジミ工業㈱	広島県安芸郡府中町大須3—7—14	735	(082)282 2201
豊永建材㈱	広島市東区光町2—14—34	732	(082)264 1223
マルエ商工	防府市大字牟礼4314—4	747	(0835)38 0273
㈱マルエス工業	広島市中区宝町8—26	730	(082)243 7474
丸福建材工業㈱	〃 中区吉島町12—18	730	(082)241 6666
㈱森本組	〃 西区中広町3—22—12	733	(082)291 2629
吉田シーリング工業	徳山市大字徳山字西粟坪7862—2	745	(0834)21 7077

9. 四国シーリング工事業協同組合員 46

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈲日本防水三島工業所	伊予三島市中央5—9—45	799-04	(0896)24 5174
㈲イヨ防水	川之江市川之江町古町1128	799-01	(0896)56 4124
錦海防水㈲	新居浜市西の土居町1—3—43	792	(0897)34 3333
東亜グラウト㈱新居浜四国支店	〃 菊本町2—13—48	792	(0897)34 7111
マルマストリグ㈱	今治市北宝来町4—2—5	794	(0898)32 5000
イケダ産業㈱	松山市久万の台189—1	791	(0899)25 5590
マルマストリグ㈱松山支店	〃 問屋町3—6	791	(0899)22 2121
㈱山本商会	〃 三番町7—8—1	790	(0899)31 6261
㈱日本防水松山工業所	〃 石手1—3—19	790	(0899)77 0998
岩田建材㈱	〃 南高井町1280—1	791-11	(0899)75 6700
大淵建工	〃 谷町甲179—10	791	(0899)78 2745
松山建工㈱	〃 福音寺町249—2	790	(0899)75 1590
㈲広栄商会	愛媛県伊予郡松前町浜781—8	791-31	(0899)84 3576
正和商事㈱	松山市一番町3—3—5	790	(0899)21 8161
㈲富士防水	〃 平和通り2—3—3	790	(0899)45 5401
㈲フクヤ建材	宇和島市高串1—468	798	(0895)24 2280
㈱シコクビル	松山市居相町450—4	790	(0899)58 1222
和研工業㈱	高松市松並町683	760	(0878)66 8122
古市断熱工業㈱	〃 宮脇町2—30—5	760	(0878)61 5034
大三工業㈱	〃 本町1—17	760	(0878)51 6811
マルヱ工業㈲	〃 福岡町2—13—22	760	(0878)21 8410
㈱日新建工	丸亀市田村町525	763	(0877)24 3535
四国日東工材㈱	香川県三豊郡高瀬町大字新名1913—1	767	(0875)72 5337
四国防水工業㈱	〃 香川郡香川町大野264—1	761-17	(0878)88 3555
㈱東亜応用化工	坂出市室町1—3—32	762	(0877)46 2185
新弘化建㈱	善通寺市弘田町768—5	765	(0877)63 0801
㈲大石防水工業	高松市屋島西町68—2	760	(0878)41 3690
㈲西部シール	丸亀市三条町上村13—16	763	(0877)28 8191
㈲高分子工材	高松市浜の町18—27	760	(0878)21 3010
四国ポリマー㈲	香川県綾歌郡飯山町上法軍寺326—5	762	(0877)98 3991
㈲フクシマ工業	高松市香西北町54—3	761	(0878)81 3366
㈱香川シール工業所	丸亀市垂水町3224—19	763	(0877)25 0171
㈲高知エバレヂン工業所	高知市南川添26—11	780	(0888)84 0571
岸防水工業㈲	〃 塩屋崎町2—10—35	780	(0888)32 7731
㈲高知防水センター	〃 神田吉野1829	780	(0888)31 7324
朝日産業㈱	〃 南の丸町2—1	780	(0888)33 2100
谷本商事㈱	〃 農人町5—17	780	(0888)82 6900
古市断熱工業㈱高知営業所	〃 薊野1073	780	(0888)45 0624
大三工業㈱高知支店	〃 一宮東光蓮寺2635—4	780	(0888)45 4800
㈲井上吹付塗装	高知県吾川郡伊野町枝川227—3	781-21	(0888)92 4670
徳島大三工業㈱	徳島市北矢三町1—2—61	770	(0886)31 4161
㈲ミツワ建産	〃 富田橋5—8	770	(0886)25 7585
徳島ゴーレックス工業㈱	徳島市川内町沖島612—1	771-01	(0886)65 3811

㈲ 中條防水工業所	〃 末広5—4—25	770	(0886)23 2564
㈲ 斉藤防水工業	〃 吉野本町6—9	770	(0886)22 2931
㈲ 坂口工業所	板野郡藍住町逆藤39—117	771-12	(0886)92 4729

10. 九州シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アイワ工業㈱	宮崎県東諸県郡高岡町大字高浜2573—1	880-22	(0985)82 1687
旭工業㈲	春日市若葉台西2—38—2	816	(092)573 5829
㈲ 岡村シーリング工事	福岡市南区清水1—8—65	815	(092)553 1881
九州特殊工事㈱	〃 博多区千代4—5—1	812	(092)611 0426
草野工業㈱	北九州市小倉北区霧ヶ丘1—5—11	802	(093)922 7631
㈲ クロキ工業	鹿児島市下福元町6567—23	891-01	(0992)61 5361
㈱ 佐藤防水	〃 郡元1—20—5	890	(0992)54 2704
三賀産業㈱	福岡市博多区博多駅前3—5—7 博多センタービル	812	(092)471 1355
㈲ サン技研	熊本市新土河原町78—2	860	(096)322 2661
しまだ工業㈱	北九州市小倉南区大字徳吉108—4	803-02	(093)452 0220
昭和日本化成㈱	福岡市西区野方3—1—8	819	(092)812 3311
㈱ 神栄工業	長崎市三川町800—40	852	(0958)46 0775
シンコー化成興業㈱	福岡市城南区別府6—3—6	814	(092)821 1546
㈱ 新日本樹脂化工	大野城市中20—4	816	(092)503 5070
須川防水工業	春日市一の谷3—149—2	816	(092)501 6101
大栄㈱	北九州市小倉北区西港町61—13	803	(093)571 4581
㈲ ダイシン産業	福岡市城南区別府2—15—41	814	(092)851 8722
テイパ化工九州販売㈱	〃 南区長丘5—11—20	815	(092)561 1675
㈲ 東亜シール	沖縄県北谷町桑江620—5	904-01	(0989)36 4148
㈲ 成建	熊本市健軍町2622—20	862	(096)367 3631
㈲ 日本シーラント工業所	筑紫野市二日市658—2	818	(092)928 1417
㈲ 野田工業所	福岡県大野城市仲畑1—9—17	816	(092)572 3859
博栄工業㈱	長崎市川平町1389—2	852	(0958)49 2232
橋口工業㈱	福岡県筑紫郡那珂川町片縄浦の原866—4	811-12	(092)952 1882
阪九産業㈱	長崎市竹の久保町11—7	852	(0958)62 3136
BJ工事㈱	那覇市前島2—14—18 松ビル	900	(0988)63 2164
福岡アルファ産業㈱	福岡市博多区博多駅前3—9—5 チサン博多ビル316号	812	(092)451 1073
南日本化成㈱	鹿児島市西別府町3116—53	890	(0992)82 8111
宮本産業㈱	福岡市早良区賀茂1—7—12	814-01	(092)862 3331
㈲ 睦シーリング工業	沖縄市明道1—4—8	904-21	(0989)37 9417
㈱ ムトウ	福岡市早良区昭代3—2—5	814	(092)851 0111

関連会社・団体一覧表

1) バックアップ材メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業㈱	東京都千代田区有楽町1—1—2　日比谷三井ビル	100	(03)3507　2957
化研マテリアル㈱	〃　江東区新木場1—17—6	136	(03)3521　7439
光栄加工㈱	〃　練馬区上石神井南町18—11	177	(03)3920　2671
㈱新和商会	〃　荒川区西日暮里2—24—14	116	(03)3803　1411
積水化学工業㈱	大阪市北区西天満2—4—4　堂島関電ビル	530	(06) 365　4306
大進商工㈱	東京都北区東十条3—13—9	114	(03)3912　8447
日本バックアップ工業㈱	〃　中野区中央1—10—5	164	(03)3369　0215
野口興産㈱	〃　練馬区豊玉北2—10	176	(03)3994　5601
日立化成工業㈱	〃　新宿区西新宿2—1—1　新宿三井ビル	163	(03)3346　3111
フヨー㈱	〃　墨田区業平5—5—6	130	(03)3626　3371

2) 施工用具メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
エムアンドケー㈱	名古屋市緑区大高町川添51	459	(052)621　3100
大竹工業㈱	東京都江戸川区江戸川6—40	134	(03)3878　7501
㈱菅野製作所	〃　北区志茂3—3—26	115	(03)3903　3140
巴工業㈱	〃　中央区日本橋3—9—2　第二丸善ビル	103	(03)3271　4075
日本ソセー工業㈱	名古屋市南区南野1—99	457	(052)612　7321
ミキスタ工業㈱	東京都中央区日本橋蠣殻町1—33—7	103	(03)3669　9471
㈱山本製作所	大阪市阿倍野区松崎町2—7—10	545	(06) 623　5170

3) 建材関連団体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
板硝子協会	東京都中央区丸の内3—3—1　新東京ビル４Ｆ	100	(03)3212　8631
ＡＬＣ協会	〃　千代田区神田須田町1—5　ディアマントビル	101	(03)5256　0431
㈶化学品検査協会	大阪市天王寺区堂ヶ芝町1—6—5	543	(06) 771　5157
㈶建材試験センター	東京都中央区日本橋小舟町1—3　太田ビル	103	(03)3664　9211
建築ガスケット協会	〃　港区西新橋2—2—10　三喜ビル	105	(03)3501　2906
コンクリートカーテンウォール工業会	〃　中央区日本橋2—10—2　第一ビル	103	(03)3273　6337
全国板硝子商工協同組合連合会	〃　千代田区神田神保町3—4　総合板硝子会館	101	(03)3262　6737
㈳日本カーテンウォール工業会	〃　港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03)3409　6981
日本乾式防火サイディング協会	〃　中央区銀座7—10—8　高橋ビル９Ｆ	104	(03)3571　1359
㈳日本建材産業協会	〃　港区新橋6—13—1　第３長谷川ビル	105	(03)3435　0571
日本建築仕上材工業会	〃　千代田区神田和泉町1—6　インターナショナルビル	101	(03)3861　3996
㈶日本建築センター	〃　港区虎ノ門3—2—2　第30森ビル	105	(03)3434　7161
㈶日本建築総合試験所	大阪府吹田市藤白台5—8—1	565	(06) 872　0391
㈳日本サッシ協会	東京都港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03)3409　3441
日本樹脂施工協同組合	〃　台東区台東1—12—11　青木ビル	110	(03)3831　6185
日本接着剤工業会	〃　千代田区内神田1—15—10　福島ビル	101	(03)3291　3303
㈳日本塗料工業会	〃　港区元赤坂1—5—26　東部ビル	107	(03)3408　7201
㈳プレハブ建築協会	〃　港区芝公園3—1—38　秀和芝公園３丁目ビル	105	(03)3431　1481

4) 防水団体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
全国防水工事業協会	東京都千代田区岩本町2—18—14　藤井第１ビル４Ｆ	101	(03)3865　4359

アスファルトルーフィング工業会	東京都千代田区岩本町3—11—13	101	(03)3862　8531
外壁補修工事業協同組合	〃　港区芝大門2—2—2　芝作ビル	105	(03)3344　2475
九州アスファルト工事業協同組合	福岡市中央区舞鶴2—8—2　村上ビル	810	(092)713　5263
合成高分子ルーフィング工業会	東京都中央区新川1—3—2　新東京ビル	104	(03)3552　8479
ゴムアスファルト防水工事業協同組合	〃　渋谷区代々木1—11—2	151	(03)3320　2020
常温アスファルト防水事業協同組合	〃　板橋区坂下3—29—11	174	(03)3558　0218
西部アスファルト工事業協同組合	大阪市西区江戸堀1—20—11　辻川ビル	550	(06)　445　1138
全国アスファルト工事業協同組合連合会	東京都中央区八重洲1—2—1　新呉服橋ビル	103	(03)3271　5797
全日本プレハブ建築防水協会	〃　渋谷区代々木1—11—2	151	(03)3320　2019
東部アスファルト工事業協同組合	〃　中央区八重洲1—2—1　新呉服橋ビル	103	(03)3271　5797
西日本建設防水協同組合	大阪市天王寺区餌差町7—6	543	(06)　762　4047
㈳　日本アスファルト同業会	東京都中央区八重洲1—2—1　新呉服橋ビル	103	(03)3271　2208
日本ウレタン建材工業会	〃　港区芝浦1—14—7　朝日ビル701号	105	(03)3452　7852
日本外壁防水材工業会	〃　中央区八重洲2—8—5　三菱レイヨン㈱内	104	(03)3274　4621
㈳　日本薬液注入協会	〃　文京区後楽1—1—2　春日ビル	112	(03)3816　2681
東日本建設防水協同組合	〃　新宿区歌舞伎町2—1—2　北井ビル	160	(03)3200　3584

ビルを駆ける　フヨータイト　(熱線反射ガラス映像調整バックアップ材)

シーリング材
シリコーン1液2液　変成シリコーン
ポリサルファイド
ウレタン1液2液
アクリル　ブチル　油性

バックアップ材
角型　丸棒　超硬質　特殊形状
ゴムグレイジングロープ
マスキングテープ
他副資材

物流機能更に充実

★防水吹付材・エポキシ注入材
★エポキシライニング材・防水塗床材
★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入

フヨー株式会社
本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel.03(3626)3371(代)
大　阪　支　店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel. 06(395)0201(代)
仙台営業所/〒982仙台市太白区富沢3-28-30 Tel.022(244)4911(代)
横浜営業所/〒248横浜市保土ヶ谷区東川島町62-1 Tel.045(373)7234

「シーリング技術管理士」に関する規約

（平成２年10月11日改訂）

第 1 条　（目　的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり，水密，気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ，設計･施工を通じた技術の向上に併せて，業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条　（職　務）

シーリング技術管理士（以下技術管理士という）は，シーリング工事に関して，防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，技術指導を通し技術普及を行い，シーリング工事の品質向上に努める。

第 3 条　（技術管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第２条に基づき，講習ならびに検定試験を毎年１回実施し，これを受講し試験に合格した者を工業会は技術管理士として認定する。

第 4 条　（受験資格）

受験資格者は工業会々員会社に所属する者，および会員会社が推薦し理事会が承認した者とする。ただし施工会社に所属する者は除く。

技術管理士の受験資格は次の通りとする。

イ．年齢22歳以上の者

ロ．実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者，ただし中学卒業者はその限りではない

学　歴		経験年数
大学卒業	普通	2年
	専門	1年
高専卒業	普通	3年
	専門	2年
短大卒業	普通	3年
	専門	2年
高校卒業	普通	5年
	専門	3年
中学卒業	普通	7年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

第 5 条　（資格の更改）

技術管理士は４年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間１年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し，次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング技術管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は，その資格は取消される。

第 6 条　（証明書の返却）

技術管理士が所属する会社を退職する場合は，速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条　（証明書の再交付申請）

第6条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は，改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条　（証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合，工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条　（禁止事項）

シーリング技術管理士はシーリング管理士不在の施工会社に名義貸しをする事を禁止する。

違反の疑いがある時には，日シ工会長，日シ工協組連会長がそれぞれ任命した者が調査し，本条に違反したことが証拠で明白となった場合には両会長名で違反者の所属会社の代表者に厳重注意すると共に違反者の資格を取消す。

第 10 条　（資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は技術管理士の資格を取消すことができる。

1．第2条に定める職務の遂行が困難になった場合

2．刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合

3．名義貸しを行った場合

4．その他技術管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 11 条　（その他の事項）

前各条の他，運営上必要な細部事項については別に定める。

「シーリング管理士」に関する規約

（平成2年10月11日改訂）

第 1 条　（目　的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり，水密，気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ，設計･施工を通じた技術の向上に併せて，業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条　（職　務）

シーリング管理士（以下管理士という）は，現場施工能力を有し，かつ防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，シーリング工事に於て技術指導及び施工管理を行い高品質で経済的（トータルコスト）な施工を行うための指導的役割を果たす。

第 3 条　（管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第2条に基づき，講習ならびに検定試験を毎年1回実施し，これを受講し試験に合格した者を工業会は管理士として認定する。

第 4 条　（受験資格）

受験資格者は日本シーリング工事業協同組合連合会（以下日シ工協組連という）会員会社に所属し，人格識見を有する者で，所属する会社代表者の推薦を必要とする。

管理士の受験資格条件は次の通りとする。

イ．年齢22歳以上の者

ロ．実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者，ただし中学卒業者はその限りではない

学歴		経験年数
大学卒業	普通	2年
	専門	1年
高専卒業	普通	3年
	専門	2年
短大卒業	普通	3年
	専門	2年
高校卒業	普通	5年
	専門	3年
中学卒業	普通	7年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

ハ．ゴンドラ運転の特別教育修了証所持者であること

第 5 条　（資格の更改）

管理士は4年毎に資格の更改を行う。ただしこの間1年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し，次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。

資格を停止された者はシーリング管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。

原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は，その資格は取消される。

第 6 条　（証明書の返却）

管理士が所属する会社を退職する場合は，速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条　（証明書の再交付申請）

第6条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は，改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条　（証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合，工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条　（資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は管理士の資格を取り消すことができる。

1．第2条に定める職務の遂行が困難になった場合

2．刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合

3．その他管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条　（その他の事項）

前各条の他，運営上必要な細部事項については別に定める。

IT'S JUST SEALANT !

JIS A 5758 許可番号576247
フジチオコール
液状**ポリサルファイド**をベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追随し、日光、油薬品等によく耐えます。

JIS A 5758 許可番号488016
ユーゼット103
ウレタンエラストマーの特性を活して、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

JIS A 5758 許可番号 576247
メトリック
変成シリコーンポリマーをベースに耐熱性，耐久性は抜群，経済性や施工条件に対して許容度を高めた総合性能バランスの良さが大きな特徴のシーリング材です。

アクリルエマルションをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。
アクリルエース
JIS A 5758 許可番号580120

乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のパテ状にした**油性コーキング**材です。
エバーシール
JIS A 5751 許可番号573101

昭和シェル石油㈱グループ
昭石化工株式会社
〒151 東京都渋谷区代々木1-11-2
TEL 03 (3320)2005

■札幌出張所 TEL 011(251)7912
■仙台営業所 TEL 022(267)5319
■東京営業所 TEL 03(3320)2013
■新潟営業所 TEL 025(225)2331
■名古屋営業所 TEL 052(231)6568
■金沢事務所 TEL 0762(22)4911
■大阪営業所 TEL 06 (341)6395
■広島営業所 TEL 082(283)9226
■福岡営業所 TEL 092(291)0008

● 屋上防水工事
● 補修，改修工事
● シーリング工事
● ライニング工事

責任施工

●防水及補修全般
結露防止・改修工事
●赤外線建物診断
●漏水現場診断・施工設計

全国外壁補修工事業協同組合連合会理事
中国シーリング工事業協同組合員
全日アスファルト防水事業協同組合員
小野田リフリート工法技術組合員
日本エムテイ樹脂工事業協同組合員
ＴＶＳ赤外線建物診断研究会会員
サンスター会会員

株式会社サンゼオン
〒733 広島市西区中広町３丁目17－16
TEL 082-291-1631㈹　FAX 082-291-1739

使いやすさと信頼性の調和　タイルメントの充てん剤

S-100（シリコーン系）
S-200（変成シリコーン系）
S-300（ウレタン系）
S-500（アクリル系）
S-700（油性系）
S-101（シリコーン系）
S-202LM（変成シリコーン系）
S-303LM（ウレタン系）
S-600（ブチルゴム系）
アクリルコーク ジャンボ（アクリル系）

株式会社 タイルメント
本社／〒453 名古屋市中村区宿跡町１の58　TEL(052)412-5300㈹　FAX(052)411-3516
■東京支店 ■大阪支店 ■名古屋支店 ■仙台営業所 ■福岡営業所 ■広島営業所 ■札幌営業所 ■横浜営業所 ■北陸出張所

戸建住宅から
超高層ビルまで

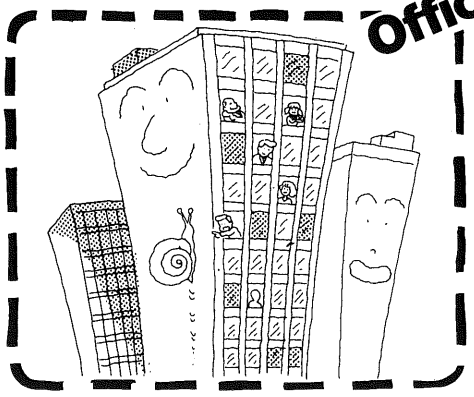
Kanebo-NSC Features & Benefits

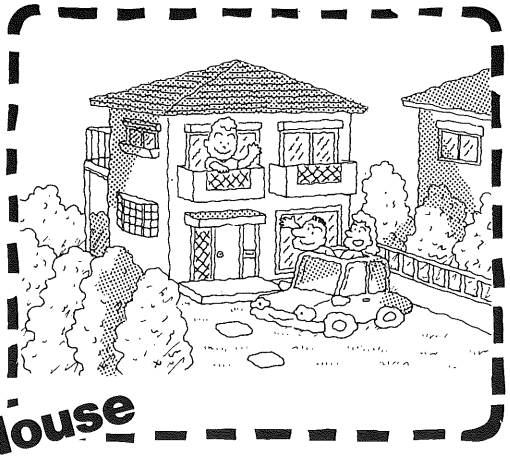
KBKシーリング工法

ビル・マンション・学校・工場等に
ベルエースシリーズ

（缶入りタイプ）

ベルエースMS	2成分形変成シリコーン系
ベルエースワン	1成分形変成シリコーン系（カートリッジタイプ）
ベルエースP-5000	2成分形ポリサルファイド系
ベルエースP-6000	2成分形ポリウレタン系
ベルエースP-4000	1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系
ベルエースP-3000	1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系

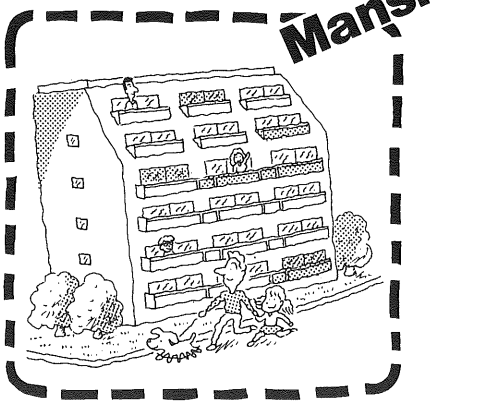


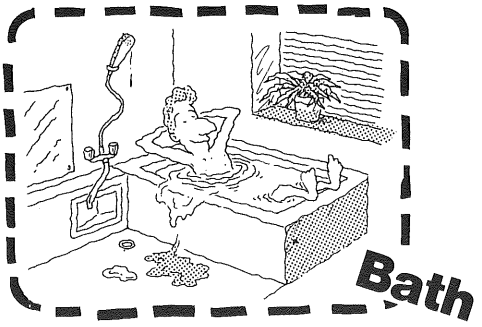


内装・設備・戸建住宅等に
デュアリボンシリーズ

（カートリッジタイプ）

デュアリボンMS	1成分形変成シリコーン系
デュアリボン6500	1成分形ポリウレタン系
デュアリボン4000	1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系
デュアリボン3000	1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系



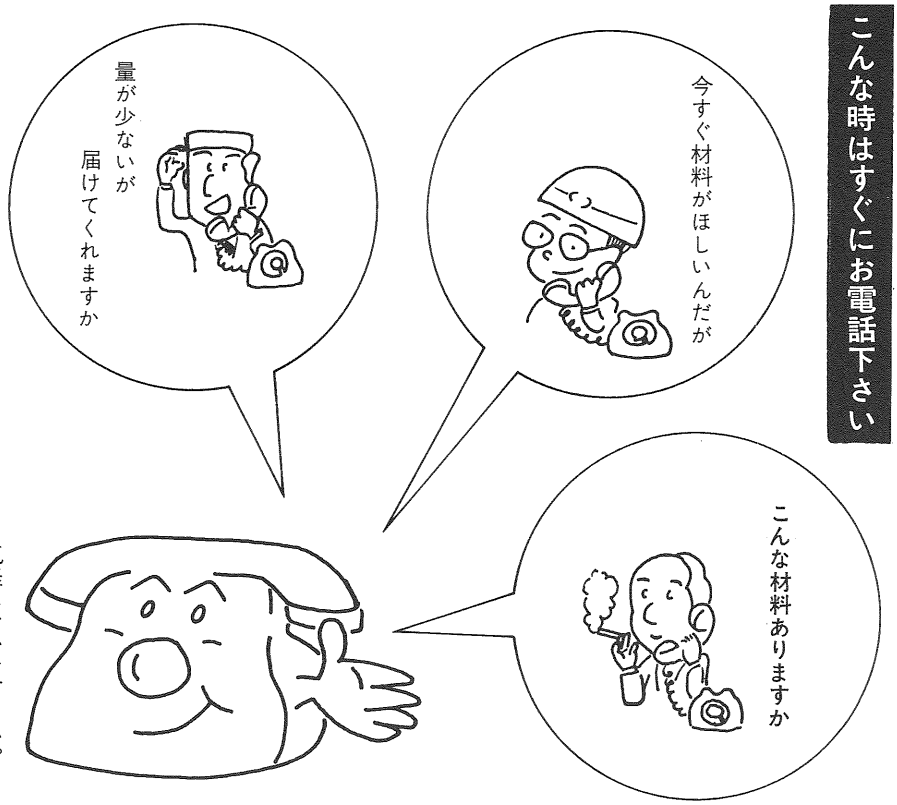


カネボウ・エヌエスシー株式会社

本社・大阪営業所	〒562 大阪府箕面市船場西1-6-5 カネボウ千里ビル	TEL (0727)28-4705	FAX (0727)28-3333
東京営業所	〒102 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル	TEL (03)3263-4701	FAX (03)3263-4705
名古屋営業所	〒450 名古屋市中村区名駅4-17-19 鐘紡ビル	TEL (052)583-8606	FAX (052)583-8608
広島出張所	〒733 広島市中区舟入幸町6-11 サンケイ・ハイム	TEL (082)234-9822	FAX (082)234-9823
福岡出張所	〒810 福岡市中央区大手門3-7-19	TEL (092)715-5378	FAX (092)752-0024
四国出張所	〒760 香川県高松市木太町8区4062-4	TEL (0878)66-2287	FAX (0878)66-2296

7日会のメンバーは安心して使っていただける製品をサービスを添えてお届けします。

こんな時はすぐにお電話下さい



建築用シーリング材・防水材・関連製品の御用命は当会メンバーに

東日本シーリング工事業協同組合協力店会

7　日　会

化研マテリアル㈱	〒105 東京都港区西新橋3－8－1（第2鈴丸ビル）	TEL 03(3436)3011
共成㈱	〒104 東京都中央区新川1－25－11	TEL 03(3552)2031
光栄商事㈱	〒177 東京都練馬区上石神井1－20－6	TEL 03(3928)5811
野口興産㈱	〒176 東京都練馬区豊玉北2－16－1	TEL 03(3994)5601
フヨー㈱	〒130 東京都墨田区業平5－5－6	TEL 03(3626)3371
東京ハマタイト㈱	〒108 東京都港区芝浦2－13－7 宇徳田町ビル	TEL 03(3769)3111

シーリング技術管理士名簿

610名

会社名	氏名
愛知住宅工業㈱	瀬ノ上正一
㈲アイワ工業	白地幸男
㈲アクト	村田治男
旭硝子コートアンドレジン㈱	古谷健一
アサヒボンド工業㈱	徳田精久
㈱アジア建設資材	富田則行　樋口哲也 佐藤一郎
㈱阿部塗料店	宗延徳仁
井上喜㈱	勝尾明兼　田中猛仁 古賀俊男
潮物産㈱	竹浪博
㈱エービーシー商会	芥川慎一　仁多見憲二 磯部文男　小泉雅二 千葉隆一
栄光産業	町口敏之
オート化学工業㈱	高木紀英　笠原哲 塚田正博　森田栄一 伊藤彰彦　谷川邦彦 相原正伸　矢口義之 鈴木博
大分ＹＫＫ工業㈱	甲斐基介
奥羽ＹＫＫ工業㈱	阿部鉄勝
大阪御国商事㈱	吉村和弘
近江ＹＫＫ工業㈱	山田哲雄　藤井久和
オギノセメン㈱	加藤幹也
岡島トーヨーサッシ工業㈱	広瀬賢一
小野田エーエルシー㈱	服部貴久
化研マテリアル㈱	郷間隆一　泉勇太郎 斉藤栄治　熊田博幸
化成品通商㈱	長谷部豊
鐘工業㈱	越賀恒雄　柏木顕正
鐘淵化学工業㈱	萩原一男　藤田雅幸
カネボウ・エヌエスシー㈱	脇健答　渡辺敏幸 河端健二　羽土浩春 福富浩司
カネボウ化成㈱	森重幸雄
㈲木村硝子工務店	新開基晴
共信商事㈱	古田裕康
光栄商事㈱	内田勲　増田博文
コニシ㈱	河端次彦　谷口雅俊 勝又賢次　小林保夫 林信義　中野信二 井谷誠　加藤昭彦 小杉誠一　福永陽一 山崎一昭　赤松郷也 日下部悟　日向俊夫 秋山晶俊　田室浩一郎 森本武史　大山啓一
小林通商㈱	小林剛　遠藤研也
讃岐ＹＫＫ工業㈱	轟清
㈱サムラ	前田敏行
三協アルミニウム工業㈱	加納保　勘坂真司
サンスター技研㈱	花田健治　榎本教良 加川順一　田村耕三 平井孝典　水野隆司
三洋工業㈱	藤里稔　西野俊幸 小笠原利男　谷田部利夫 杉山博樹　斉藤健二 東洋　池田正博 中島芳夫　大物久夫 鈴木信久　竹本寛 浦川英明　辺田浩 土谷秀樹　宮下貢次 田中清晴　国見延也 三好陽　志賀芳勝 長尾賢　富永淳一 土嶺俊夫　庄子誠 遠藤直樹　木村光延 石岡庄厚　田向正行
サンライズメイセイ㈱	中村公士　藤本亮秀 梶山武夫　荻野耕造 宅哲郎　丸山均
滋賀トーヨーサッシ工業㈱	荒巻久雄
㈱ジェイ・シーサプライ	秋沢充敏
昭石化工㈱	富田健一　山田明宏 山田一洋　竹田和幸 佐山滋　豊田耕二 渡辺大　加賀見修由 大関守彦　星田篤 増子潔志　久田光男 大山隆　白倉晋 伊藤哲夫　浦山政成 木村公彦　塩垣紀明 加藤輝男　桜井喜代裕 広川康弘　神山光司 田村富夫
下田通商㈱	高山雅美　北村利晃
信越化学工業㈱	河野純一　小林勲 坂詰功晃　増田透 鎚水寿博　石坂和夫 佐藤和治　鳥屋幸男 浅見嘉信　布施雅己 西沢修　里二三夫 上田文雄　原沢健二 横塚貞治　上野隆夫 萩原隆　辻仁 中野昭弘　藤原武則 渡辺博　清水正浩 中島剛　山口時弘 粟田和宏

㈱新和技建	高田拓佶
㈱住ゴム産業	松本　智
住友ウォールシステム㈱	木村　充
㈱スリーボンド	勝野宣広　田村英明
世界長㈱	橋本剛一　中田豊隆
	松田修蔵　中村光男
	松井潤介　森本隆良
	坂口　茂　村上純一
	山崎健一　安藤政人
	田所和正　重永真二
	中村章一　本多郁夫
	松本　剛　岡林正剛
	竹島康永
セメダイン㈱	小形考一　松田　豊
	松林日出男　峰岸清志
	後藤　均　熊谷建基
	川辺征善　川端　博
	安斉忠男　五味秀樹
	中田欽也　新村由行
	池谷勝巳　大給近尚
	辻野末次　鳥巣幸雄
	木下雅智　佐々木清信
	大友考夫　阿部祐輔
	山口　修　供田良憲
	藤原靖博　川井一郎
	杉浦條二　鈴木快典
	水野政幸　外山昭夫
セントラル硝子㈱	大下淳宏　刀根定司
㈱大豊工業所	茄子川俊
ダイイチ	武藤正裕
㈱タイルメント	河合　敦　小島健市
	明石憲二　米沢富夫
大和ハウス工業㈱	本田純司
㈲高倉アルミ工業	高倉健一郎
中国ＹＫＫ工業㈱	小村匡正
テイパ化工㈱	上田　武　北野真一
	山崎保充　堀河哲雄
	関野士郎　小倉　臻
	杉中　肇　市川益己
	井口幸一　上田正行
	八友　聡　岸　憲孝
	中牟田修　藤原良次
	金坂康司
東京ハマタイト㈱	河野　実　石飛俊二
	長谷川浩　羽原吉雄
	井部才輝　庄田　守
	細田新也　五十嵐稔一
	鶴野孝一　高橋総一郎
	永野　勇
㈱東郊産業	岸　三治　船越　力
	早川秀樹　木村英之
	山本浩一
東芝シリコーン㈱	斉藤　修　渡辺修二
	小笠原義治　小野部盛雄
	清水千之　篠沢一義
	細川　清　大工園昭二
	高井直人　安藤秀秋
	吉川敏夫　仲野英樹
	神崎　聖　下屋敷恵治
	浜砂岩男　福島通人
	大木直也　横川　健
	山本　治　金子啓之
	大神田裕司　上野雄一
	岸上浩二　町田孝夫
	吉村純一　森田要一
	大和俊夫　安西正吉
	飯島宏義　渡辺純一郎
	松岡春光　森　勝美
	米沢正流　井上浩二
	飯田恭之
㈱東北協和工商	菅原久志
トーヨーサッシ㈱	大久保克春　金子英昭
	石井良光　渡辺和基
	菅原　昇　高村博之
	尾田幸正　長沢広章
	岡　和雄　土屋勝広
	鈴木章芳　永田浩光
	鈴木　誠　野田浩正
	泉　烈男
東洋商事㈱	三浦　清
東洋ビルサッシ㈱	河口達也
東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	市橋弘雄　笠井慎年
	沢村直文　椎名健介
	久野二郎　広田正行
	空本　宏　吉水　毅
	山田孝男　田中孝次
	伊比輝男　小田喜幸
	米谷敏夫　木原克己
	菅沼紀之　高木忠雄
	藤井秀一　土橋善雄
	奏泉寺利春　内田広之
	岩下恵一　立岡道広
	石田忠雄　近藤秀俊
	鈴木輝幸　須原　勇
	斉藤　馨　石川秀高
	高柳邦重　森　秀之
	川村直司　谷口　哲
	島田浩貴　黒田佳伸
東レチオコール㈱	窪　正一　佐藤　修二
	薮　穣　佐々木幸男
	岡村芳雄　藏本博義
	尾崎征洋　中島　暢
	岡島光洋
㈱トクハン	柳沼由夫　増田道夫
㈱西井塗料産業	山口良治　柴田英則
日東ポリマー工業㈱	与義守信　梅本州一
	谷岡博美　吉川敏郎
	梅本邦夫
日興化学工業㈱	篠田正巳　松村　博
	山崎信義　宍倉政男
ニッセイ技研㈱	岸原　淳　川崎隆実
㈱日東	笹ノ間充　大山　誠
日東化成工業㈱	紺木忠興
日東電工㈱	山口龍之助
日東電材㈱	加藤一美
日本アルミニウム建材㈱	松田　忠
㈱日本板硝子東海グレージング	平安国男
日本建鉄㈱	佐々木実　沢口雅之
日本シーカ㈱	古田春喜　阿部真久
	久保勝年　山内　誠
	山下正志
日本添加剤工業㈱	岡田安正　田中昭南
	土本高史
野口興産㈱	野口裕二　舟木保雄
	本村　力
日立化成ポリマー㈱	山室義行　中田勝哲
	竹本富夫　北川　進
	山中　明　古新居敦
	浜野幸市　立花豊松
	池田　勇　大園浩和
	所　克成　立畑茂樹
	浦田　聡
福岡トーヨーサッシ工業㈱	塩塚慶志　菊池正紀
	国崎　悟
福岡ＹＫＫ工業㈱	笹原信行　深堀圭介
	田中昭彦
フヨー㈱	山根高志　若山修一
	宮崎　進　荒喜一郎
	木山雅博　赤間正典
	加世敏雄
平山建材㈱	小池俊哉
保土谷化学工業㈱	山崎滝通

保土谷建材工業㈱	小嶋三郎　山内　節 生田正道　角田和也 三浦洋喜
㈱前田理工	池田和広　村中　等 三浦正文
前橋トーヨーサッシ工業㈱	佐々木　忠
松戸トーヨーサッシ工業㈱	野口　修　池田剛志
ミサワセラミックケミカル㈱	松尾一臣
㈲三河英建	太田　誠
水島ゴム工業品㈱	萩原昭文
三井東圧化学㈱	長久誠治
三菱化成工業㈱	関口高正
三星産業㈱	矢島克美
モリシタ化学産業㈱	宮下　孝　藤本啓之 足立慎治　鳥羽啓之 岸本　準
八代ＹＫＫ工業㈱	福原孝司
ヤマウチ㈱	梅野雅孝　山田　博 渡部高久
横浜ゴム㈱	鎌田正徳　塩田　実 森　輝明　斉藤昭博 岩田克博　仲宇佐隆一 飯島俊之　大島幸雄 佐々木雅大　高橋　明 森　博幸　古屋　博 石井伸一　芳賀康宏
ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱	中川仁公　大滝正已 陳岡達也　宮崎　敏 草刈正幾　岡本博行 佐藤新一　佐々木雅之 大野幸保　池田明紀 中井義徳
ヨコハマゴム工業品東北販売㈱	佐藤良正　梅津卓也 小山昌明　米沢忠芳
ヨコハマゴム工業品中部販売㈱	高森　寛　高木良知 中林秀樹　村上　修 鈴木伸治　大島幹生 鈴木憲人　佐藤達彦 松浦市郎　安部克也 斉藤利彦
ヨコハマゴム工業品東京販売㈱	佐野英一　松居幸男
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	大原光良　斉藤章徳
	西村龍夫　藤原利夫 萩原　優　深尾正美 沖　昌弘　大塚政幸 武田善史　横山雅彦 山田修司　二反田英史 正田和久　矢倉康次 米田隆典　稲井克久
ヨコハマゴム工業品中国販売㈱	井上哲二　河原和伸 吉田匡史　田辺賢二
ヨコハマゴム工業品九州販売㈱	渡辺英治　白藤　薫 井上嘉英　山本　東 野口幸信
㈱横山産業	荒尾外志夫
㈱横山商会	田原健治
吉田工業㈱	宮袋武裕　我妻道男 千原　淳　在塚　均 竹村正巳　山下康広 小鍛冶秀明　鹿野裕市 中　雅之　三井田満男 泉谷昇二　広野利昭 横谷　功　石川　真義 中山芳雄　小林幸男 栗木英明　伊藤　卓 南保宏樹　野崎勇一 東　高士　平山立夫 楠　利公　原橋信二 石川勝巳　宮島俊信
㈱吉田産業	熊谷隆良
㈱吉田産業青森	福津聖二　三上幸雄
㈱吉田産業久慈	下石畑信一
㈱吉田産業建材センター	下斗米勝彦　長谷川政弘
㈱吉田産業五所川原	今井秀男　玉川　武
㈱吉田産業水沢	千田正志
㈱吉田産業盛岡	吉岡一男
吉田商事㈱	和多田誠
ＹＫＫアーキテクチュアルプロダクツ㈱	岡谷　晃　桜井　隆 斉藤俊彦
㈱ＹＫＫ大分	秋月浩之
㈱ＹＫＫ埼玉	葉腾俊幸　増田　聡
㈱ＹＫＫ千葉	越川仁志　小川正広
㈱ＹＫＫ富山	水腰雅巳

シーリング管理士名簿

北海道地区　26名

会社名	氏名
㈱片岡コーキング	片岡京子
㈱カトウシーリング工業	佐藤信彦
㈲技研シール工業	村田　渉
㈱北日本コーキング	土田　武
㈱協栄シール	吉無田泰長　長島規夫
熊谷興業㈱	下井　守
佐藤研究所	佐藤和久
セイコー技建㈱	川原田義行
第一ブロック建設㈱	逵本秀雄
中田工業㈱	中田敬一
中林産業工販㈱	田中達美　宮沢浩二
中林防水工業㈱	石田誠二　根本　誠
函館イーシー工業㈱	安井久博　水島晴美
㈱馬場工業	馬場哲也
㈱濱建	泉川嘉教
フタバ工業㈱	山口正行
北洋コーキング㈱	小熊邦彦
北海コーキング㈱	平塚安弘
北海道タイホー㈱	鳴海忠義　長尾忠幸 斉藤　伸
北晄防水工業㈱	菊地　薫
㈲ヤマト工業	小山毅芳

東北地区　19名

会社名	氏名
㈲泉クリーナー	花村卓次
大島金属商事㈱	高橋卓孝
熊谷興業㈱	斎藤勇樹

㈱ 郡山医療器製作所	安斉国紀
㈲ 興伸総業	工藤秀二
郡山シーリング㈱	梅津祐一
桜シーリング工業	阿部賢一
㈲ シーリングタナカ	高橋栄一
東北化工㈱	高橋道弘
㈲ 東北シール工業	岩間鉄雄　大森　譲
㈱ 久光商会	久光雅之
㈱ 丸本工業所	本吉和康　千葉忠男
㈱ 三国	伊藤真太郎　斉藤智弥 菅原春男　大滝　徹
㈱ 我妻工業所	我妻貴司

東日本地区

116名

会社名	氏名
㈱ アートシーリング	工藤純二　佐藤勝美
アルファ産業㈱	山本　勇　奏　達也 宮代　博　加藤由之助 平沢達也
石黒建材社	石黒勝己
㈱ 石田シール工事	石田　実　鈴木隆男 田中義一　鈴木芳英
㈲ 環清工業	伊藤儀一
木元工業㈱	初鹿忠夫　田尻茂人
協和シーリング工事㈱	手塚　透
㈱ 栗崎工業	栗崎堅司
クリステル工業㈱	半田直人　吉岡諒伍
京葉シール㈱	木下　剛　吉田英治
光栄工業㈱	内田鴇鵜　川口正秀 和田　洋
㈱ 工業技術研究所	鈴木裕二　沢　賢造
興進工業㈱	五十嵐志郎　高宮昇二 小山忠夫　大坪徳夫
山栄興業㈱	宇山広道　柏瀬謙一 鶴田正行　上田稠身 宇山広之
㈱ ジックス	名倉　茂　松田英男 岩崎元廣
㈱ シーラント	安保正則
㈱ 第一興産	椙江裕二
タイガー工業㈱	堀　亨　田尻斌弘
大和興業㈱	斗成　隆
高萩興業㈱	佐藤正則
拓友防水工業㈱	大坪政博　平間　栄 飯塚安雄
中央建材工業㈱	渡辺昭悟
㈱ トーホ・テクニカ	広瀬忠夫　戸田　裕 深津富正　青山淳二 矢吹広史　本澤和雄 簗田耕一
㈱ トミヨシ商会	富岡勝人　富岡睦男
日本ビソー㈱	小松幹久　竹間由孝 加藤　重　浅倉康明 大谷信幸
平沢コーキング工業㈱	平沢敏男　勝視益明
ビルコン㈱	駒崎弘幸
㈱ 藤光	工藤幸男
北斗工業㈱	高橋和彦　大関　勉
㈱ マサル	操上弘昌　鈴木賢一
	宮川文雄　大辻勇七郎
	雪入　毅　塚本　弘
	佐藤義政　中沢文隆
	村山美二　斉藤誠一
	細谷英雄　小峰　茂
	坪山和幸　中島一三
	苅谷　純　平野正治
	林　徳行　小島卓三
	半野田重俊　大越清美
	村上孝行　田村良則
	狭間秀樹　塩田延明
	青山好一　操上悦郎
	根立和彦　山崎栄一郎
㈱ マツダパラウォータ	福山政隆　松田和彦 生出　正
㈱ 山形防水	竹内利三
理建工業㈱	木村正一　室井幸雄 戸張達士　関　浩士 金山信二　林　正実 西園克己　山本真一 芝田俊幸　幸本和史 野口共成　小井土英樹 北野喜文　水上拓哉
瀝青建材㈱	今井武義　村井　眞 村上富男

中部地区

70名

会社名	氏名
愛知トヨタ興業㈱	間瀬伸司　後藤伸一 大崎利行
朝日建物㈱	朝倉英心
㈲ 石原コーキング興業	紺谷俊志
石渡産業㈱	高村克己
石動コーキング㈱	仁村　孝　萱原　寛
㈲ 市川防水	市川文則
㈲ 大久保コーキング	水野久夫
大村商事㈲	大村盛雄
㈱ K B M	諸橋茂一　昇塚繁行
㈱ 栗原	栗原　眞　山下晴夫 原　友次　関　博夫 堀　忠夫　村　武和 松代敏一
㈱ サンエイ	菅谷敏行
㈱ 三栄	安藤時敬　沢田洋行 熊沢　実
㈲ 三信工業	繁田康博
三信建材工業㈱	石田敦則
山新工業㈱	加藤忠司
㈱ 静岡コーキング工業	堀川信昭　太田広道 石上正秋
㈱ 志水化工	清水茂喜
㈱ シリコーンエンジニア	匂坂良造
㈲ シンコー工業	新保喜美雄　田村　仁 新保文規
㈲ 新静シーリング	川口博史
㈲ ツカコシ商工	塚越　勲
津田硝子㈱	竹田正治
中央建材工業㈱	阿野田卓男　犬飼健一 橋本孝由　杉田好隆 野間　浩　馬場　弘 恵良泰之　稲垣　晃 甲斐　誠
㈱ 東海工事	勘解由信幸
㈲ 中村コーキング工業	中村勝則
㈱ ナカムラシール	中村　守

㈱ 日本ビルサービス	坂口 貢
㈲ 浜松シーリング工業	伊藤正智
北陸ビル防設 ㈱	田崎 隆
堀越コーキング ㈱	堀越飛行
㈱ ビル メン	守山彰治　清水洋紀 岡 穂　山嵜清孝
フジ工業 ㈱	河原昇一
㈲フルヤマズ・コーキング	古山広志
不二興業 ㈱	松本 勉　平井祐一
㈱ 前田コーキング	前田敏行
丸 協	見角 弘
ムラセ工業 ㈱	村瀬 守
㈲ 名西商会	加藤勇夫
㈲ 山本コーキング	高橋直史　五十住健二 幸島健二
㈲ 和興建材工業	大西康進　大石秀幸

関西地区

93名

会社名	氏名
㈲ 天草シール	岩崎弘敏　岩崎泰博 岩崎十代志　三石富夫 赤石 一　坂元雅彦 三村雄三
大阪アルファ産業 ㈱	内田勝久
大阪工業 ㈱	中田安信　長棟利彦
㈱ 大阪シール	阪井敏夫　薮田眞信
㈱ 大阪防水工業所	水口峰彦　野上條司 佐伯忠雄　塩谷昭文
大阪ユニロン ㈱	金山満昭
大芝建材 ㈱	中山親治
㈱ 勝友商会	田宮貞夫
㈱ 京都シール	竹田征司
共立産業 ㈱	木寺玄太
㈲ 京阪防水	蛎崎徳靖
三幸物産 ㈱	横谷興彦
三大工業 ㈱	大西利昭　小玉文士夫
昌栄亀井 ㈱	亀井一身　柳田 潔
新和化工 ㈱	溝渕 勇　重実俊憲
セキシュウ技研 ㈱	田中秀穂
㈱ 大一防水工業	上田正義　上田三郎
宝シール ㈱	上野幸二
㈱ 大協建材	安東延治　吉田 功 上西雅司　川井一哉 浅田政幸　小田義数 山田耕司　西薗恒夫 原田 敏
高月商会	高月春彦
㈱ 東光商会	志水利達　和田俊治 長江誠一　早平淳一 北野裕一　新藤詔三 板倉 保　土屋 智 田口敏夫
㈱ 東洋防水	谷口忠文　横道哲幸 村田康保　川畑裕之 沖浜臣人　大村幸美 畑中美佐男　石田 守 坂下公要　坂下芳春 加瀬治男　向井 正
㈱ 特殊技研	西山義雄
㈱ 中出商会	中出紘一
日本化成工業 ㈱	松下 実　三谷孝一 岡田良平　山村博司 岡田城治　山下雄治 岡田誠治　小森 勝 久保欣也　大平利久 赤埴桂司　福水昭公 江藤孝明　松下公俊 本郷建夫　畑中 豊
日添工業 ㈱	浅見和宏
白洋建材 ㈱	井上信夫　小阪幸治
八鉱シーリングコンサルタント	三木 拓　寺田盛雄
㈲ 豊栄シール	笹崎幹雄
㈱ 美 作	山越章良
八尾コーキング	中元幸弘
山下防水建設 ㈱	渡辺光穂
ユニオン商事	杉原良一
ユニオン保全 ㈱	後藤晋也

中国地区

28名

会社名	氏名
アイシン工業 ㈱	木村通伸
アオケン ㈱	月本満俊　秋山 吉 斉藤秀峰　油木孝士 江角善雄　石原洋邦
㈱ 岩本商店	川口智治
㈲ 烏城防水工業	原 俊之
㈱ 占部防水工業	内田 武　岡 和夫 檜木健史　佐無田良文
㈱ サンゼオン	佐々木守　佐々木淳 梅本祐二
㈲ 坂口工業所	中川恵司
シーリング工業 ㈱	小田野哲夫　林 利明
中国特殊防水産業 ㈲	海部信章
中国冨士化工建設 ㈱	今井浩成
㈱ ツキタニ工業	世羅敏則
ニッテイ ㈱	鈴木泰彦
広島アルファ産業 ㈱	狭間述史
豊永建材 ㈱	河野和壮
㈱ マルエス工業	小野田真治　庄司洋一
丸福建材工業 ㈱	長島隆良　多田 泉
㈱ ヤマザキ技販	山崎雅弘　松井良仁

四国地区

25名

会社名	氏名
朝日産業 ㈱	小川隆三
岸防水工業 ㈲	小松憲二
㈲ 高知エバレヂン工業	中野 宏
㈲ 高知防水センター	神崎保之
㈲ 高分子工材	益田憲司　松川光雄 山本武雄
㈲ 斉藤防水工業	坂東公夫
四国日東工材 ㈱	松岡直樹
㈱ シコクビル	中板勇二　梶原 響
四国ポリマー ㈲	森川弘己
㈲ 西部シール	丸浦正英
大三工業 ㈱	高橋講二
徳島ゴーレックス工業 ㈱	井川清文
徳島大三工業 ㈱	塩月辰男　鵜飼弘昭 中西浩見

㈱ 日本防水松山工業所	冨永幸雄
㈲ フクシマ工業	富井英利　福島康泰
古市断熱工業 ㈱	白坂吉友
マルエ工業 ㈲	市川利彦
㈲ ミツワ建産	上野　薫　高木雄一

九州地区　21名

会社名	氏名
㈲ クロキ工業	黒木　徹
㈱ 佐藤防水	佐藤良一
昭和日本化成 ㈱	吉川繁満　山嶺知行 嘉村　昇
㈱ 新日本樹脂化工	小野賢二
㈲ タイシン産業	楢原行雄
テイパ化工九州販売 ㈱	青野博文　永野光幸
㈲ 東亜シール	黒坂和豊
㈲ 野田工業所	諏訪憲雄
BJ工事 ㈱	下田敏彦
南日本化成 ㈱	柳橋国博　白坂和也 東　正博
宮本産業 ㈱	宮本宣博　原山裕次
㈱ ムート ウ	武藤　貞　瀧本英治 朝原義隆　古川泰志
㈲ 睦シーリング工業	上原　勇

変成シリコーン系2成分形シーリング材
ニッシーラー・MS
ポリサルファイド系2成分形シーリング材
ニッシール
ポリウレタン系2成分形シーリング材
ニッシーラー・ウレタン
ブチル系1成分形シーリング材
プレンシール
〈製造元〉
日興化学工業㈱
■〒135 東京都江東区白河4－9－5
■☎東京03（3642）7105～6・7155

建築用弾性
シーリング材

セメダイン
ポリシール1（ワン）

世界が認めた
パーマポール日本
で新登場!!

セメダイン「ポリシール1」は、変成ポリサルファイド系ポリマー（パーマポール®）を主成分とし日本触媒化学工業㈱と共同開発した1成分形建築用シーリング材です。空気中の酸素で硬化する特長を有し、バランスのとれた性能を保持することから、新しい1成分形シーリング材として今後の市場要求に対応する製品です。

特　長

●酸素硬化のため、寒冷地（－5℃）での硬化がOKです。●専用プライマー（MP2000）を使用することにより、油性コーキング材の打ち替え用途に最適です（1液タイプであるため、リフォームでは混合機を必要とせず、手軽な作業ができます）。●シール施工後の仕上塗材に対しては、ウレタン系と同程度の良好な密着性と非汚染性を有します。

用　途

●PC、SRC、RC、モルタル、ALCなどコンクリート目地シール。●各種サイディング材の内外装目地シール。●GRCなどのセメント2次製品類の目地シール。●石目地、タイル目地シール。●建築各種の金属建具まわり、配管まわりシール。●折板目地、カラ鉄板シール。●コンクリート系外壁リフォームの目地打替え、クラック補修。

接着剤とシーリング材の総合メーカー
セメダイン株式会社
〒141 東京都品川区東五反田4-5-9
☎(03)3442-1341

建築土木事業部

大阪支社　〒542 大阪市南区島之内1-15-14☎(06) 251-3555
名古屋支店　〒464 名古屋市千種区井上町34☎(052)781-3166
札幌営業所 ☎(011)261-1471　南関東営業所 ☎(045)314-9671　広島営業所 ☎(082)249-0941
仙台営業所 ☎(022)284-6167　静岡営業所 ☎(0542)52-3031　福岡営業所 ☎(092)741-7188
北関東営業所 ☎(0285)22-1291　金沢営業所 ☎(0762)51-3501

シーリング 編集後記

◆本誌「シーリング28号」を発行するに当り，本年程，巻頭の「業界展望」に広報委員一同頭を悩ましたことはかってありませんでした。シーリング業界の先行き動向はどうなるのか？我が国全体の産業動向はどうなるのか？円安はいつまで続くのか？他産業では決して好景気が続いているとは言えない面があり，建築業界は昨年，一昨年と同様な好調が続くのか？「業界展望」には5人の委員がもっともとまどった記事でした。

◆シーリング施工業者，物流業者の方々の人手不足も益々深刻さを増し，業界挙げて3K問題の改善を目指している。東シ協，関シ協，中部シ協の各理事長との対談の中でも，皆様異口同音にこの問題をもっとも気に掛けておられるようでした。

◆このような環境の中で，シーリング材全体では110.4%の前年伸び率を示しましたが，本年もまた2桁の伸びを望みたいものです。JISも改正作業に入っており，来年春頃にはお知らせ出来ると思います。

◆来年5月には「接着剤・シーラント国際会議」が京都で開催される予定で，当シーリング工業会も日本接着剤工業会と共催いたしますが，関係する各委員は夏頃より「多忙」という2文字が待っている事でしょう。「役に立つ広報誌」をモットーに倍旧のお引立てを願いつつ，学・官・材・販・工並びに需要家各位の御指導，御鞭撻を改めてお願い申し上げます。

平成3年4月20日

広報委員長　**小林茂之**
広報副委員長　**山内雅夫**
〃委員　**河端次彦**
〃委員　**藤原武則**
〃委員　**菅原弘之**

日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用，土木用シーリング工事の健全な発展と振興を計ることを目的として，昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し，賛助会員は原材料メーカーおよび取扱業者が加入しており，全国に支部を有する全国的組織であります。

事業

○シーリング管理士の養成
○日本シーリング工事業協同組合連合会と連携，材料および工事に対する信頼の確保
○技術資料の収集と情報の交換
○JIS，JASSへの協力
○市場調査，需要開発に関する調査研究

発行図書

○機関誌「シーリング」(年1回)
○シーリングニュース（年3回)
○建築用シーリング材とその正しい使い方
○シーリング材ハンドブック
○シーリング管理士テキスト

シーリング
SEALING
第28号　(第23巻・第28号)

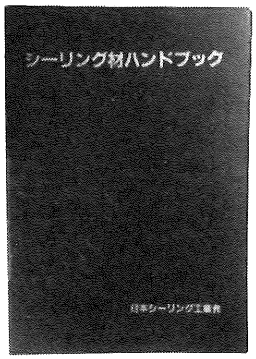
発　行／日本シーリング工業会
東京都千代田区外神田2—2—17（共同ビル）
TEL　03（3255）2841～2　FAX　03（3255）2183
編　集／日本シーリング工業会広報委員会
制作協力・広告／新　樹　社　東京都中央区銀座8—15—4
☎03（3542）9011(代)

平成3年4月15日印刷
平成3年4月20日発行
非　売　品
＜禁無断転載＞

刊行物のご案内

●詳細は▶日本シーリング工業会 ☎03(3255)2841～2

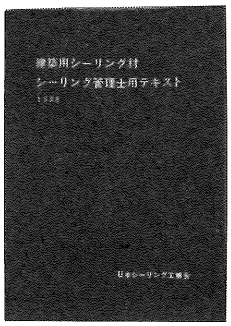
改定版・シーリング材ハンドブック



好評のシーリング材ハンドブックの改定版。JIS、JASS、建設省建築工事共通仕様など最新情報を随所に盛込んだシーリング材の案内書。シーリング材の特性と選び方に重点を置いた実用書として、誌面も解り易く見易い構成になっています。

頒布価格 1,000円

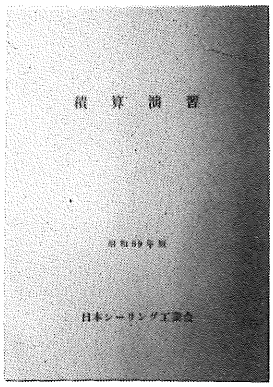
新・建築用シーリング材シーリング管理士用テキスト1988



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を目ざした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 4,500円

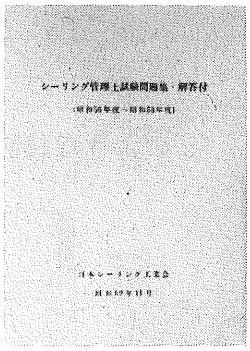
積算演習



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格 1,000円

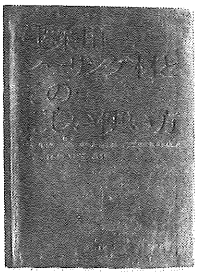
シーリング管理士試験問題集・解答付(60～62年度)



問題集として最近３年間(60～62年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 1,000円

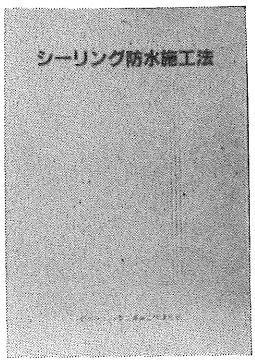
建築用シーリング材とその正しい使い方



わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工学博士の監修による、シーリング関係者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授、小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめわが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
(会員頒布価格 4,300円)
(消費税別途)

シーリング防水施工法 改定版



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛込み解り易く解説した実務参考書。内容は▷建築物の基礎知識▷シーリング防水の基礎知識▷良いシーリング防水工事▷良いシーリング防水工事のためのディテールシート▷故障と補修―の構成。

日本シーリング工事業団体連合会発行

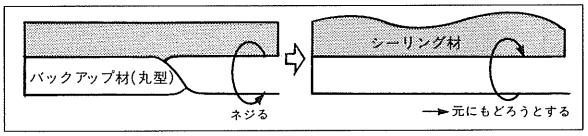
頒布価格 2,500円
(消費税別途)

(送料は別途申し受けます)

バックアップ材充填工具

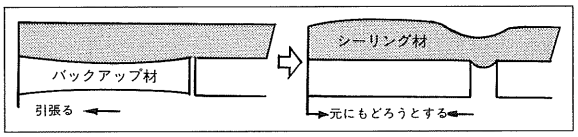
目地ローラー 目地郎

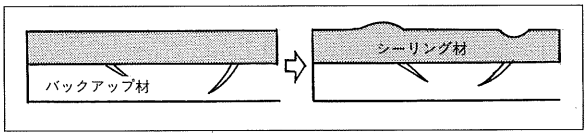
今までに



バックアップ材のネジレによる
シーリング材のうねり

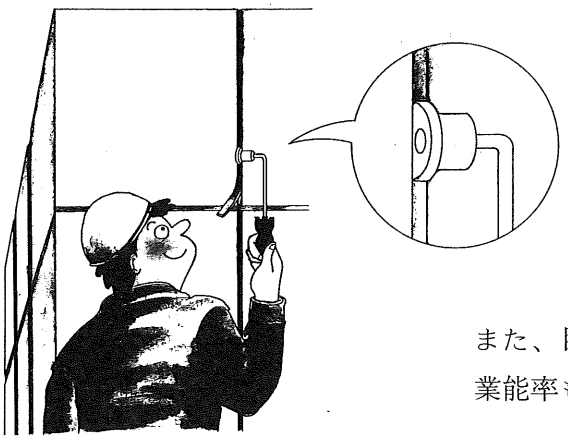
バックアップ材の引張による
つなぎ部分のへこみ





バックアップ材のキズによる
シーリング材のふくれやへこみ

このような経験はありませんか？



これからは！

目地郎でバックアップ材の充填を行うことで、ネジレ、引張り、キズ、などを防止できます。

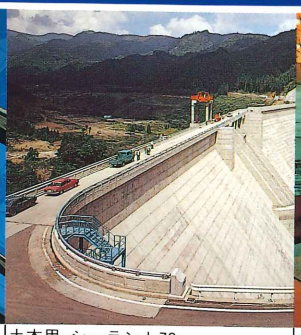
また、目地深さを設計どおり一定に保て、作業能率も大幅にアップすることが可能です。

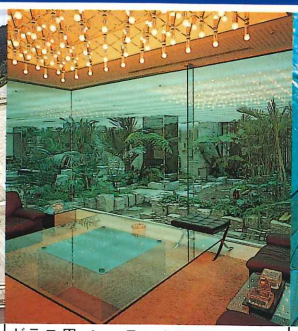
光栄商事株式会社

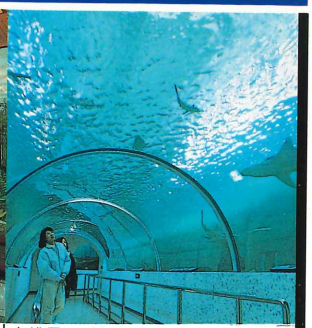
〒177 東京都練馬区上石神井１－20－６第３光栄ビル
TEL 03－3928－5811　　FAX 03－3928－5991

ShinEtsu 信越シリコーン

プラスチック用 シーラント72


土木用 シーラント70

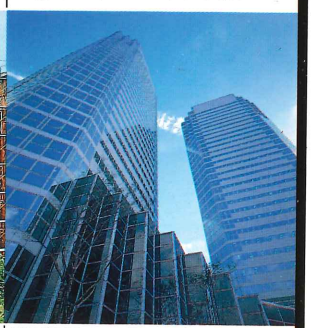

ガラス用 シーラント45

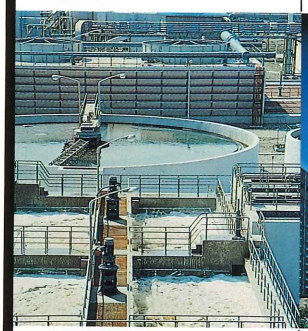

水槽用 マリンシーラントGX

SSG構法用 シーラント90

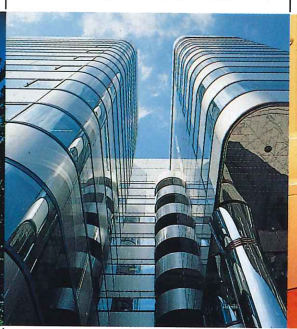
ガラス用 KE42

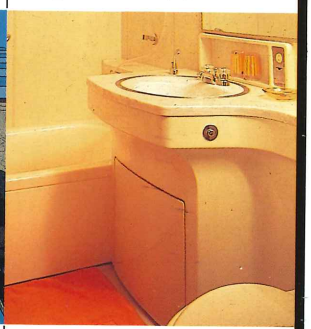
リフォーム用 シーラント79


超高層用 シーラント70


土木用 シーラント701

超高層用 シーラント70


SSG構法用 シーラント76


防カビ用 シーラント4588

信越シリコーンシーラント

耐久性能と実績。

信越シリコーンシーラントは、耐久性、耐候性、耐熱性、耐寒性などにすぐれた高性能弾性シーリング材です。 ほとんどの材料とよく接着し、一般住宅、超高層ビル、土木工事、水槽などの各種目地に幅広く使われています。

信越化学工業株式会社

〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 フジトシビル
シリコーン事業本部 国内営業第三部 (03)3256-3651
市場開発部 (03)3246-5191

大阪支店(06) 444-8226
名古屋支店(052)581-6515
福岡支店(092)781-2782
札幌営業所(011)221-6471
仙台営業所(022)264-2777
新潟営業所(025)247-3321
北陸営業所(0776)26-1551
長野営業所(0262)28-9104
北関東営業所(0273)63-2731
広島営業所(082)248-3931
高松営業所(0878)22-3613

SUNSTAR

動くビル

剛から柔へ——現代の建築構造が剛構造から柔構造（動くビル）へと変わったいま、シーリング材は建物の柔軟性や設計の自由性を支える重要な部材として、設計段階から慎重に検討されています。

サンスター技研は、シーリング材のリーディングメーカーとして、高度化・多様化する建築業界のニーズに、たゆまぬ研究開発と確かな実績でお応えしています。

● 日本を代表する数々の著名建築物で使用実績を誇るサンスター技研のシーリング材

● 東京都新庁舎　● 六本木アークヒルズ　● NEC本社ビル

● 幕張ワールドビジネスガーデン

耐候力と対応力に自信あり、
サンスターの
シーリング材。

建築用弾性シーリング材
ペンギンシール

サンスター技研株式会社

本　　社：大阪府高槻市明田町７番１号　TEL.0726(81)0351
東京支店：東京都港区六本木6-2-31（東京日産ビル）　TEL.03(5410)1710
名古屋支店：名古屋市千種区萱場２丁目４番７号　TEL.052(722)6815
大阪支店：大阪府高槻市明田町７番１号　TEL.0726(84)0600